

改正理由	一部改正	改正 現 行	備 考																																																										
	現 行	改 正																																																											
	<p>(9) 胴込・裏込コンクリート</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>パッケージコード</td> <td>CB226110</td> <td>施工単位</td> <td>m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">J 1</td> <td style="text-align: center;">J 2</td> <td style="text-align: center;">J 3</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">各 種</td> <td style="text-align: center;">ブロックの種類</td> <td style="text-align: center;">生コンクリート規格</td> <td style="text-align: center;">ラフテレーンクレーン 賃料補正係数</td> </tr> <tr> <td>①間知ブロック・緑化ブロック ②大型ブロック</td> <td style="text-align: center;">(表 5.3)</td> <td>①標準 ②標準以外 (実数入力)</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 本コードは、胴込・裏込コンクリートの材料ロスを含んでいるため、施工量は、ロス率を含まない数量を入力すること。                  2. J 1 条件で①を選択した場合は、J 3 条件は選択する必要はない。                  3. J 2 条件で⑤を選択した場合は、生コンクリート (Y-0210000) [円/㎡] を単価登録すること。                  4. コンクリートの夜間割増が必要な場合は、J 2 条件で⑥を選択し、コンクリート (Y-0210000) [円/㎡] に夜間割増額を考慮して単価登録すること。また、労務費調整係数も入力すること。                  5. 養生が必要な場合は、「第Ⅱ編第4章①コンクリート工」により別途計上する。                  6. ラフテレーンクレーンの賃料補正 (夜間補正) を行った場合は、労務費調整係数を入力すること。</p> <p>(10) 胴込・裏込材 (砕石)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>パッケージコード</td> <td>CB226120</td> <td>施工単位</td> <td>m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">J 1</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">J 2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">各 種</td> <td style="text-align: center;">ブロックの種類</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">胴込・裏込材規格</td> </tr> <tr> <td>①間知・平・連筋・緑化ブロック ②大型ブロック</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">(表 5.2)</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 本コードは、胴込・裏込材の材料ロスを含んでいるため、施工量は、ロス率を含まない数量を入力すること。                  2. J 2 条件で⑤を選択した場合は、砕石 (Y-0241000) [円/㎡] を単価登録すること。</p>	パッケージコード	CB226110	施工単位	m <sup>3</sup>	施工区分	入 力 条 件				J 1	J 2	J 3	各 種	ブロックの種類	生コンクリート規格	ラフテレーンクレーン 賃料補正係数	①間知ブロック・緑化ブロック ②大型ブロック	(表 5.3)	①標準 ②標準以外 (実数入力)	パッケージコード	CB226120	施工単位	m <sup>3</sup>	施工区分	入 力 条 件				J 1	J 2		各 種	ブロックの種類	胴込・裏込材規格		①間知・平・連筋・緑化ブロック ②大型ブロック	(表 5.2)		<p>→</p> <p>現行どおり</p>	<p>9) 胴込・裏込コンクリート</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>パッケージコード</td> <td>CB226110</td> <td>施工単位</td> <td>m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">J 1</td> <td style="text-align: center;">J 2</td> <td style="text-align: center;">J 3</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">各 種</td> <td style="text-align: center;">ブロックの種類</td> <td style="text-align: center;">ブロックの質量</td> <td style="text-align: center;">生コンクリート規格</td> </tr> <tr> <td>①間知ブロック・ 緑化ブロック ②大型ブロック</td> <td>①2,000kg/個以下 ②2,000kg/個超え</td> <td style="text-align: center;">(表 5.3)</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 本コードは、胴込・裏込コンクリートの材料ロスを含んでいるため、施工量は、ロス率を含まない数量を入力すること。                  2. J 1 条件で①を選択した場合は、J 2、4 条件は選択する必要はない。                  3. J 1 条件で②、J 2 条件で①を選択した場合は、J 4 条件は選択する必要はない。                  4. J 3 条件で⑤を選択した場合は、生コンクリート (Y-0210000) [円/㎡] を単価登録すること。                  5. コンクリートの夜間割増が必要な場合は、J 3 条件で⑥を選択し、コンクリート (Y-0210000) [円/㎡] に夜間割増額を考慮して単価登録すること。また、労務費調整係数も入力すること。                  6. 養生が必要な場合は、「第Ⅱ編第4章①コンクリート工」により別途計上する。                  7. ラフテレーンクレーンの賃料補正 (夜間補正) を行った場合は、労務費調整係数を入力すること。</p>	パッケージコード	CB226110	施工単位	m <sup>3</sup>	施工区分	入 力 条 件				J 1	J 2	J 3	各 種	ブロックの種類	ブロックの質量	生コンクリート規格	①間知ブロック・ 緑化ブロック ②大型ブロック	①2,000kg/個以下 ②2,000kg/個超え	(表 5.3)	<p>記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)</p>
パッケージコード	CB226110	施工単位	m <sup>3</sup>																																																										
施工区分	入 力 条 件																																																												
	J 1	J 2	J 3																																																										
各 種	ブロックの種類	生コンクリート規格	ラフテレーンクレーン 賃料補正係数																																																										
	①間知ブロック・緑化ブロック ②大型ブロック	(表 5.3)	①標準 ②標準以外 (実数入力)																																																										
パッケージコード	CB226120	施工単位	m <sup>3</sup>																																																										
施工区分	入 力 条 件																																																												
	J 1	J 2																																																											
各 種	ブロックの種類	胴込・裏込材規格																																																											
	①間知・平・連筋・緑化ブロック ②大型ブロック	(表 5.2)																																																											
パッケージコード	CB226110	施工単位	m <sup>3</sup>																																																										
施工区分	入 力 条 件																																																												
	J 1	J 2	J 3																																																										
各 種	ブロックの種類	ブロックの質量	生コンクリート規格																																																										
	①間知ブロック・ 緑化ブロック ②大型ブロック	①2,000kg/個以下 ②2,000kg/個超え	(表 5.3)																																																										
積算上の注意事項			(控え頁) 36/38																																																										

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																										
	<p style="text-align: center;">現 行</p> <p style="text-align: center;">表5.10 生コンクリート規格</p> <table border="1"> <tr> <th>生コンクリート規格</th> <th>入力番号</th> </tr> <tr> <td>18-8-25 (普通)</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>18-8-40 ( # )</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>18-8-25 (高炉)</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>18-8-40 ( # )</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>生コンクリート各種 (Y-0210000)</td> <td>⑤</td> </tr> </table> <p>(15) 天端コンクリート</p> <table border="1"> <tr> <td>パッケージコード</td> <td>CB226180</td> <td>施工単位</td> <td>m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">施工区分</td> <td colspan="2">入力条件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>J 1</td> <td>J 2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>生コンクリート規格</td> <td>養生工の種類</td> <td></td> </tr> <tr> <td>各 種</td> <td>(表 5.10)</td> <td>①一般養生 ②特殊養生(練炭) ③養生工なし</td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) 1. 本コードは、生コンクリートの材料ロスを含んでいるため、施工量は、ロス率を含まない数量を入力すること。 2. J 1条件で⑤を選択した場合は、生コンクリート (Y-0210000) [円/m<sup>3</sup>] を単価登録すること。 3. コンクリートの夜間割増が必要な場合は、J 1条件で⑤を選択し、コンクリート (Y-0210000) [円/m<sup>3</sup>] に夜間割増額を考慮して単価登録すること。また、労務費調整係数も入力すること。 4. 基礎砕石が必要な場合は、「第II編第2章②基礎・裏込砕石工」の基礎砕石 (CB221110) により別途計上する。</p> <p>(16) プレキャスト基礎ブロック</p> <table border="1"> <tr> <td>パッケージコード</td> <td>CB226220</td> <td>施工単位</td> <td>m</td> </tr> </table> <p>(17) プレキャスト基礎ブロック (材料費)</p> <table border="1"> <tr> <td>パッケージコード</td> <td>CB226221</td> <td>施工単位</td> <td>m</td> </tr> </table> <p>(注) プレキャスト基礎ブロック (連結金具を含む) (Y-0362000) [円/m] を単価登録すること。</p>	生コンクリート規格	入力番号	18-8-25 (普通)	①	18-8-40 ( # )	②	18-8-25 (高炉)	③	18-8-40 ( # )	④	生コンクリート各種 (Y-0210000)	⑤	パッケージコード	CB226180	施工単位	m <sup>3</sup>	施工区分	入力条件			J 1	J 2		生コンクリート規格	養生工の種類		各 種	(表 5.10)	①一般養生 ②特殊養生(練炭) ③養生工なし		パッケージコード	CB226220	施工単位	m	パッケージコード	CB226221	施工単位	m	<p style="text-align: center;">改 正 現 行</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>(15) 現場打小口止コンクリート</p> <table border="1"> <tr> <td>パッケージコード</td> <td>CR226190</td> <td>施工単位</td> <td>m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">施工区分</td> <td colspan="2">入力条件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>J 1</td> <td>J 2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>生コンクリート規格</td> <td>養生工の種類</td> <td></td> </tr> <tr> <td>各 種</td> <td>(表 5.10)</td> <td>①一般養生 ②特殊養生(練炭) ③養生工なし</td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) 1. 本コードは、生コンクリートの材料ロスを含んでいるため、施工量は、ロス率を含まない数量を入力すること。 2. J 1条件で⑤を選択した場合は、生コンクリート (Y-0210000) [円/m<sup>3</sup>] を単価登録すること。 3. コンクリートの夜間割増が必要な場合は、J 1条件で⑤を選択し、コンクリート (Y-0210000) [円/m<sup>3</sup>] に夜間割増額を考慮して単価登録すること。また、労務費調整係数も入力すること。 4. 基礎砕石が必要な場合は、「第II編第2章②基礎・裏込砕石工」の基礎砕石 (CB221110) により別途計上する。</p> <p>(16) 現場打横帯 (隔壁) コンクリート</p> <table border="1"> <tr> <td>パッケージコード</td> <td>CB226200</td> <td>施工単位</td> <td>m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">施工区分</td> <td colspan="2">入力条件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>J 1</td> <td>J 2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>生コンクリート規格</td> <td>養生工の種類</td> <td></td> </tr> <tr> <td>各 種</td> <td>(表 5.10)</td> <td>①一般養生 ②特殊養生(練炭) ③養生工なし</td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) 1. 本コードは、生コンクリートの材料ロスを含んでいるため、施工量は、ロス率を含まない数量を入力すること。 2. J 1条件で⑤を選択した場合は、生コンクリート (Y-0210000) [円/m<sup>3</sup>] を単価登録すること。 3. コンクリートの夜間割増が必要な場合は、J 1条件で⑤を選択し、コンクリート (Y-0210000) [円/m<sup>3</sup>] に夜間割増額を考慮して単価登録すること。また、労務費調整係数も入力すること。 4. 基礎砕石が必要な場合は、「第II編第2章②基礎・裏込砕石工」の基礎砕石 (CB221110) により別途計上する。</p> <p style="text-align: right;">→ 次頁へ移動</p>	パッケージコード	CR226190	施工単位	m <sup>3</sup>	施工区分	入力条件			J 1	J 2		生コンクリート規格	養生工の種類		各 種	(表 5.10)	①一般養生 ②特殊養生(練炭) ③養生工なし		パッケージコード	CB226200	施工単位	m <sup>3</sup>	施工区分	入力条件			J 1	J 2		生コンクリート規格	養生工の種類		各 種	(表 5.10)	①一般養生 ②特殊養生(練炭) ③養生工なし		<p style="text-align: center;">備 考</p> <p style="text-align: center;">記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)</p>
生コンクリート規格	入力番号																																																																												
18-8-25 (普通)	①																																																																												
18-8-40 ( # )	②																																																																												
18-8-25 (高炉)	③																																																																												
18-8-40 ( # )	④																																																																												
生コンクリート各種 (Y-0210000)	⑤																																																																												
パッケージコード	CB226180	施工単位	m <sup>3</sup>																																																																										
施工区分	入力条件																																																																												
	J 1	J 2																																																																											
	生コンクリート規格	養生工の種類																																																																											
各 種	(表 5.10)	①一般養生 ②特殊養生(練炭) ③養生工なし																																																																											
パッケージコード	CB226220	施工単位	m																																																																										
パッケージコード	CB226221	施工単位	m																																																																										
パッケージコード	CR226190	施工単位	m <sup>3</sup>																																																																										
施工区分	入力条件																																																																												
	J 1	J 2																																																																											
	生コンクリート規格	養生工の種類																																																																											
各 種	(表 5.10)	①一般養生 ②特殊養生(練炭) ③養生工なし																																																																											
パッケージコード	CB226200	施工単位	m <sup>3</sup>																																																																										
施工区分	入力条件																																																																												
	J 1	J 2																																																																											
	生コンクリート規格	養生工の種類																																																																											
各 種	(表 5.10)	①一般養生 ②特殊養生(練炭) ③養生工なし																																																																											
積算上の注意事項			<p style="text-align: right;">(控え頁)</p> <p style="text-align: right;">37 / 38</p>																																																																										

工 種	コンクリートブロック積(張)工
-----	-----------------

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																															
現	行	改 正	考																																															
	前頁から移動 →	<p>(147) 現場打天端コンクリート</p> <table border="1"> <tr> <td>パッケージコード</td> <td>CR226180</td> <td>施工単位</td> <td>m3</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入力条件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>J 1</td> <td colspan="2">J 2</td> </tr> <tr> <td>生コンクリート規格 (表 5.10)</td> <td colspan="2">養生工の種類 ①一般養生 ②特殊養生(練炭) ③養生工なし</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 本コードは、生コンクリートの材料ロスを含んでいるため、施工量は、ロス率を含まない数量を入力すること。 2. J 1 条件で⑤を選択した場合は、生コンクリート (Y-0210000) [円/m3] を単価登録すること。 3. コンクリートの夜間割増が必要な場合は、J 1 条件で⑤を選択し、コンクリート (Y-0210000) [円/m3] に夜間割増額を考慮して単価登録すること。また、労務費調整係数も入力すること。 4. 基礎砕石が必要な場合は、「第II編第2章②基礎・裏込砕石工」の基礎砕石 (CR221110) により別途計上する。</p> <p>(148) プレキャスト基礎ブロック</p> <table border="1"> <tr> <td>パッケージコード</td> <td>CB226220</td> <td>施工単位</td> <td>m</td> </tr> </table> <p>(149) プレキャスト基礎ブロック (材料費)</p> <table border="1"> <tr> <td>パッケージコード</td> <td>CB226221</td> <td>施工単位</td> <td>m</td> </tr> </table> <p>(注) プレキャスト基礎ブロック (連結金具を含む) (Y-0362000) [円/m] を単価登録すること。</p> <p>(20) プレキャスト小口止ブロック</p> <table border="1"> <tr> <td>パッケージコード</td> <td>CB226240</td> <td>施工単位</td> <td>m</td> </tr> </table> <p>(21) プレキャスト小口止ブロック (材料費)</p> <table border="1"> <tr> <td>パッケージコード</td> <td>CB226241</td> <td>施工単位</td> <td>m</td> </tr> </table> <p>(注) プレキャスト小口止ブロック (連結金具を含む) (Y-0388001) [円/m] を単価登録すること。</p> <p>(22) プレキャスト横帯 (隔壁) ブロック</p> <table border="1"> <tr> <td>パッケージコード</td> <td>CB226250</td> <td>施工単位</td> <td>m</td> </tr> </table> <p>(23) プレキャスト横帯 (隔壁) ブロック (材料費)</p> <table border="1"> <tr> <td>パッケージコード</td> <td>CB226251</td> <td>施工単位</td> <td>m</td> </tr> </table> <p>(注) プレキャスト横帯 (隔壁) ブロック (連結金具を含む) (Y-0389001) [円/m] を単価登録すること。</p> <p>(24) プレキャスト巻止ブロック</p> <table border="1"> <tr> <td>パッケージコード</td> <td>CB226260</td> <td>施工単位</td> <td>m</td> </tr> </table> <p>(25) プレキャスト巻止ブロック (材料費)</p> <table border="1"> <tr> <td>パッケージコード</td> <td>CB226261</td> <td>施工単位</td> <td>m</td> </tr> </table> <p>(注) プレキャスト巻止ブロック (連結金具を含む) (Y-0390001) [円/m] を単価登録すること。</p>	パッケージコード	CR226180	施工単位	m3	施工区分	入力条件			各 種	J 1	J 2		生コンクリート規格 (表 5.10)	養生工の種類 ①一般養生 ②特殊養生(練炭) ③養生工なし		パッケージコード	CB226220	施工単位	m	パッケージコード	CB226221	施工単位	m	パッケージコード	CB226240	施工単位	m	パッケージコード	CB226241	施工単位	m	パッケージコード	CB226250	施工単位	m	パッケージコード	CB226251	施工単位	m	パッケージコード	CB226260	施工単位	m	パッケージコード	CB226261	施工単位	m	記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
パッケージコード	CR226180	施工単位	m3																																															
施工区分	入力条件																																																	
各 種	J 1	J 2																																																
	生コンクリート規格 (表 5.10)	養生工の種類 ①一般養生 ②特殊養生(練炭) ③養生工なし																																																
パッケージコード	CB226220	施工単位	m																																															
パッケージコード	CB226221	施工単位	m																																															
パッケージコード	CB226240	施工単位	m																																															
パッケージコード	CB226241	施工単位	m																																															
パッケージコード	CB226250	施工単位	m																																															
パッケージコード	CB226251	施工単位	m																																															
パッケージコード	CB226260	施工単位	m																																															
パッケージコード	CB226261	施工単位	m																																															
積算上の注意事項			(控え頁) 38/38																																															

工 種	石積(張)工
-----	--------

改正理由	一部改正		改正 現行	
現 行	改 正			備 考
<p>2. 施 工 概 要            施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>(注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。</p> <p>図2-1 施工フロー</p>	<p>2. 施 工 概 要            施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>(注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。</p> <p>図2-1 施工フロー</p>			<p>記載の修正・削除            (歩掛改定に伴う)</p>
積算上の注意事項	<p>II-2-④-3</p>			<p>(控え頁)            1/8</p>

工 種	石積(張)工
-----	--------

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																
	<p>3. 施工パッケージ</p> <p>3-1 石積(練石)(複合)</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;"><b>表3.1 石積(練石)(複合) 積算条件区分一覧</b></p> <p style="text-align: right;">(積算単位：m<sup>2</sup>)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>石の種類</th> <th>直高</th> <th>胴込・裏込コンクリート規格</th> <th>裏込材規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>玉石</td> <td>(表 3.2)</td> <td>(表 3.3)</td> <td>(表 3.4)</td> </tr> <tr> <td>楕圓石</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、石積工における石材の設置、胴込・裏込コンクリートの打設、裏込材の設置、水抜パイプ(水抜き孔用吸出し防止材含む)の設置の他、コンクリートバケット損料、パイフレータ損料、電力に関する経費、締固め機械等の損料、油脂類の費用、搬付時の石材の微調整、吊上げ・吊下げ作業(石材、胴込材、裏込材等)、現場内小運搬(バケット作業)、振動コンパクタによる締固め作業等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、石積(張)(材料費)は含まない。</p> <p>2. 吸出し防止材を全面に設置する場合は、「第II編第2章⑩吸出し防止材設置工」により別途計上する。</p> <p>3. 石材の加工を行う場合は加工手間を別途計上する。</p> <p>4. 基礎コンクリート及び天端コンクリートは、「第II編第2章③コンクリートブロック積(張)工」による。</p> <p>5. 胴込・裏込コンクリート、裏込材の材料ロスを含む。標準ロス率は、胴込・裏込コンクリートが+0.16、裏込材が+0.18とする。</p> <p>6. 養生が必要な場合には、「第II編第4章①コンクリート工」による。</p> <p>7. 水抜きパイプ・吸出し防止材の材料費は、別途計上する。</p> <p style="text-align: center;"><b>表3.2 直高</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">直 高</td> <td>1.0m以上1.5m以下</td> </tr> <tr> <td>1.5mを超え2.0m以下</td> </tr> <tr> <td>2.0mを超え2.5m以下</td> </tr> <tr> <td>2.5mを超え3.0m以下</td> </tr> <tr> <td>3.0mを超え5.0m以下</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;"><b>表3.3 胴込・裏込コンクリート規格</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">胴込・裏込コンクリート規格</td> <td>18-8-25</td> </tr> <tr> <td>18-8-40</td> </tr> <tr> <td>19,5-8-40</td> </tr> <tr> <td>21-8-25</td> </tr> <tr> <td>18-8-25 (高炉)</td> </tr> <tr> <td>18-8-40 (高炉)</td> </tr> <tr> <td>19,5-8-40 (高炉)</td> </tr> <tr> <td>21-8-25 (高炉)</td> </tr> <tr> <td>各 種</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">II-2-④-4</p>	石の種類	直高	胴込・裏込コンクリート規格	裏込材規格	玉石	(表 3.2)	(表 3.3)	(表 3.4)	楕圓石				積算条件	区分	直 高	1.0m以上1.5m以下	1.5mを超え2.0m以下	2.0mを超え2.5m以下	2.5mを超え3.0m以下	3.0mを超え5.0m以下	積算条件	区分	胴込・裏込コンクリート規格	18-8-25	18-8-40	19,5-8-40	21-8-25	18-8-25 (高炉)	18-8-40 (高炉)	19,5-8-40 (高炉)	21-8-25 (高炉)	各 種	<p>4. 基礎コンクリート、小口止コンクリート、横帯(隔壁)コンクリート及び天端コンクリートは、「第II編第2章③コンクリートブロック積(張)工」による。</p>	<p>記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)</p>
石の種類	直高	胴込・裏込コンクリート規格	裏込材規格																																
玉石	(表 3.2)	(表 3.3)	(表 3.4)																																
楕圓石																																			
積算条件	区分																																		
直 高	1.0m以上1.5m以下																																		
	1.5mを超え2.0m以下																																		
	2.0mを超え2.5m以下																																		
	2.5mを超え3.0m以下																																		
	3.0mを超え5.0m以下																																		
積算条件	区分																																		
胴込・裏込コンクリート規格	18-8-25																																		
	18-8-40																																		
	19,5-8-40																																		
	21-8-25																																		
	18-8-25 (高炉)																																		
	18-8-40 (高炉)																																		
	19,5-8-40 (高炉)																																		
	21-8-25 (高炉)																																		
	各 種																																		
	積算上の注意事項			<p>(控え頁)</p> <p>2/8</p>																															

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																																																										
	現 行	改 正																																																																																																											
	<p style="text-align: center;">表3.4 裏込材規格</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">裏 込 材 規 格</td> <td>再生クラッシュヤラン RC=10</td> </tr> <tr> <td>再生クラッシュヤラン RC=60</td> </tr> <tr> <td>クラッシュヤラン C=10</td> </tr> <tr> <td>クラッシュヤラン C=60</td> </tr> <tr> <td></td> <td>各 種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">表3.5 石積(練石)(複合) 代表機材規格一覧</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <th></th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.28m<sup>3</sup> (平積 0.2m<sup>3</sup>) 1.7t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>石工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>再生クラッシュヤラン RC=10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>軽油 1.2号 バトルール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	積算条件	区分	裏 込 材 規 格	再生クラッシュヤラン RC=10	再生クラッシュヤラン RC=60	クラッシュヤラン C=10	クラッシュヤラン C=60		各 種		項目	表3.5 石積(練石)(複合) 代表機材規格一覧		備考		代表機材規格			機械	K1	バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.28m <sup>3</sup> (平積 0.2m <sup>3</sup> ) 1.7t 吊	賃料	K2	—		K3	—		労務	R1	普通作業員		R2	石工		R3	特殊作業員		R4	運転手(特殊)		材料	Z1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%		Z2	再生クラッシュヤラン RC=10		Z3	軽油 1.2号 バトルール給油		Z4	—		市場単価	S	—		<p>現行どおり</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">表3.5 石積(練石)(複合) 代表機材規格一覧</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <th></th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.28m<sup>3</sup> (平積 0.2m<sup>3</sup>) 1.7t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td><del>石工</del>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td><del>特殊作業員</del>石工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td><del>運転手(特殊)</del>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>再生クラッシュヤラン RC=40</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>軽油 <del>1.2号</del> バトルール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	表3.5 石積(練石)(複合) 代表機材規格一覧		備考		代表機材規格			機械	K1	バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.28m <sup>3</sup> (平積 0.2m <sup>3</sup> ) 1.7t 吊	賃料	K2	—		K3	—		労務	R1	普通作業員		R2	<del>石工</del> 運転手(特殊)		R3	<del>特殊作業員</del> 石工		R4	<del>運転手(特殊)</del> 特殊作業員		材料	Z1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%		Z2	再生クラッシュヤラン RC=40		Z3	軽油 <del>1.2号</del> バトルール給油		Z4	—		市場単価	S	—		<p>記載の変更</p>
積算条件	区分																																																																																																												
裏 込 材 規 格	再生クラッシュヤラン RC=10																																																																																																												
	再生クラッシュヤラン RC=60																																																																																																												
	クラッシュヤラン C=10																																																																																																												
	クラッシュヤラン C=60																																																																																																												
	各 種																																																																																																												
項目	表3.5 石積(練石)(複合) 代表機材規格一覧		備考																																																																																																										
	代表機材規格																																																																																																												
機械	K1	バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.28m <sup>3</sup> (平積 0.2m <sup>3</sup> ) 1.7t 吊	賃料																																																																																																										
	K2	—																																																																																																											
	K3	—																																																																																																											
労務	R1	普通作業員																																																																																																											
	R2	石工																																																																																																											
	R3	特殊作業員																																																																																																											
	R4	運転手(特殊)																																																																																																											
材料	Z1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%																																																																																																											
	Z2	再生クラッシュヤラン RC=10																																																																																																											
	Z3	軽油 1.2号 バトルール給油																																																																																																											
	Z4	—																																																																																																											
市場単価	S	—																																																																																																											
項目	表3.5 石積(練石)(複合) 代表機材規格一覧		備考																																																																																																										
	代表機材規格																																																																																																												
機械	K1	バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.28m <sup>3</sup> (平積 0.2m <sup>3</sup> ) 1.7t 吊	賃料																																																																																																										
	K2	—																																																																																																											
	K3	—																																																																																																											
労務	R1	普通作業員																																																																																																											
	R2	<del>石工</del> 運転手(特殊)																																																																																																											
	R3	<del>特殊作業員</del> 石工																																																																																																											
	R4	<del>運転手(特殊)</del> 特殊作業員																																																																																																											
材料	Z1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%																																																																																																											
	Z2	再生クラッシュヤラン RC=40																																																																																																											
	Z3	軽油 <del>1.2号</del> バトルール給油																																																																																																											
	Z4	—																																																																																																											
市場単価	S	—																																																																																																											
II-2-④-5																																																																																																													
積算上の注意事項			(控え頁) 3/8																																																																																																										

工 種	石積(張)工
-----	--------

改正理由	一部改正	改正 現行																																	
現 行	改 正		備 考																																
<p>3-2 石張(複合) (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;"><b>表3.6 石張(複合) 積算条件区分一覧</b> (積算単位: m<sup>2</sup>)</p> <table border="1" data-bbox="365 491 875 608"> <thead> <tr> <th>構造区分</th> <th>玉石控</th> <th>胴込・裏込コンクリート規格</th> <th>裏込材の有無</th> <th>胴込・裏込材規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">練石</td> <td rowspan="2">(表 3.7)</td> <td rowspan="2">(表 3.3)</td> <td>有り</td> <td rowspan="2">(表 3.8)</td> </tr> <tr> <td>無し</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">空石</td> <td rowspan="2">(表 3.7)</td> <td rowspan="2">(表 3.3)</td> <td>有り</td> <td rowspan="2">(表 3.8)</td> </tr> <tr> <td>無し</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、石張工における石材の設置、胴込・裏込コンクリートの打設、胴込・裏込材の設置、水抜きパイプ(水抜き孔用吸出し防止材含む)の設置の他、コンクリートバケット損料、パイプレタ損料、電力に関する経費、締固め機械等の燃料、油脂類の費用、据付時の石材の微調整、吊上げ・吊下げ作業、(石材、胴込材、裏込材等)、現場内小運搬(バケット作業)、振動コンパクタによる締固め作業等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、石積(張)(材料費)は含まない。 2. 吸出し防止材を全面に設置する場合は、「第II編第2章⑦吸出し防止材設置工」により別途計上する。 3. 石材の加工を行う場合は加工手間を別途計上する。 4. 基礎コンクリート及び天端コンクリートは、「第II編第2章③コンクリートブロック積(張)工」による。 5. 胴込・裏込コンクリート、胴込・裏込材の材料ロスを含む。標準ロス率は、胴込・裏込コンクリートが+0.16、胴込・裏込材が+0.18とする。 6. 養生が必要な場合は、「第II編第4章①コンクリート工」による。 7. 水抜きパイプ・吸出し防止材の材料費は、別途計上する。</p> <p style="text-align: center;"><b>表3.7 玉石控</b></p> <table border="1" data-bbox="486 919 757 1038"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">玉石控</td> <td>25cm以上35cm以下</td> </tr> <tr> <td>30cm以上40cm以下</td> </tr> <tr> <td>35cm以上45cm以下</td> </tr> <tr> <td>40cm以上50cm以下</td> </tr> <tr> <td>45cm以上50cm以下</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;"><b>表3.8 胴込・裏込材規格</b></p> <table border="1" data-bbox="486 1075 757 1195"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">胴込・裏込材規格</td> <td>再生クラッシュヤラン RC=40</td> </tr> <tr> <td>再生クラッシュヤラン RC=80</td> </tr> <tr> <td>クラッシュヤラン C=40</td> </tr> <tr> <td>クラッシュヤラン C=80</td> </tr> <tr> <td>各 種</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">II-2-④-6</p>	構造区分	玉石控	胴込・裏込コンクリート規格	裏込材の有無	胴込・裏込材規格	練石	(表 3.7)	(表 3.3)	有り	(表 3.8)	無し	空石	(表 3.7)	(表 3.3)	有り	(表 3.8)	無し	積算条件	区分	玉石控	25cm以上35cm以下	30cm以上40cm以下	35cm以上45cm以下	40cm以上50cm以下	45cm以上50cm以下	積算条件	区分	胴込・裏込材規格	再生クラッシュヤラン RC=40	再生クラッシュヤラン RC=80	クラッシュヤラン C=40	クラッシュヤラン C=80	各 種	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>4. 基礎コンクリート、小口止コンクリート、横帯(隔壁)コンクリート及び天端コンクリートは、「第II編第2章③コンクリートブロック積(張)工」による。</p>	<p style="text-align: center;">記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)</p>
構造区分	玉石控	胴込・裏込コンクリート規格	裏込材の有無	胴込・裏込材規格																															
練石	(表 3.7)	(表 3.3)	有り	(表 3.8)																															
			無し																																
空石	(表 3.7)	(表 3.3)	有り	(表 3.8)																															
			無し																																
積算条件	区分																																		
玉石控	25cm以上35cm以下																																		
	30cm以上40cm以下																																		
	35cm以上45cm以下																																		
	40cm以上50cm以下																																		
	45cm以上50cm以下																																		
積算条件	区分																																		
胴込・裏込材規格	再生クラッシュヤラン RC=40																																		
	再生クラッシュヤラン RC=80																																		
	クラッシュヤラン C=40																																		
	クラッシュヤラン C=80																																		
	各 種																																		
積算上の注意事項			(控え頁) 4/8																																

改正理由	一部改正	改正 <hr/> 現行																																																																													
現	行	改	正																																																																												
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;"><b>表3.9 石積(張合) 代表機材規格一覧</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.8m<sup>3</sup>(平積0.6m<sup>3</sup>) 吊能力2.9t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 石工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 再生クラッシュヤラン RC-10</td> <td>裏込材が有りの場合</td> </tr> <tr> <td>Z3 軽油1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-3 石積(張) (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;"><b>表3.10 石積(張) 積算条件区分一覧</b> (積算単位: m<sup>2</sup>)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>積張の区分</th> <th>構造区分</th> <th>石の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">積工</td> <td rowspan="2">練石</td> <td>玉石</td> </tr> <tr> <td>雑割石</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">張工</td> <td rowspan="2">練石</td> <td>玉石</td> </tr> <tr> <td>雑割石</td> </tr> <tr> <td>空石</td> <td>玉石</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、石積(張)工における石材の設置、据付時の石材の微調整、水抜パイプ(水抜き孔用吸出し防止材含む)の設置、吊上げ・吊下げ作業(石材、胴込材、裏込材等)、現場内小運搬(バケット作業)等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、石積(張)(材料費)は含まない。 2. 吸出し防止材を全面に設置する場合は、「第II編第2章吸出し防止材設置工」により別途計上する。 3. 石材の加工を行う場合は加工手間を別途計上する。 4. 水抜きパイプ・吸出し防止材の材料費は、別途計上する。</p>		項目	代表機材規格	備考	機械	K1 バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> ) 吊能力2.9t	賃料	K2 -		K3 -		労務	R1 普通作業員		R2 石工		R3 運転手(特殊)		R4 土木一般世話役		材料	Z1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%		Z2 再生クラッシュヤラン RC-10	裏込材が有りの場合	Z3 軽油1.2号 バトロール給油		Z4 -		市場単価	S -		積張の区分	構造区分	石の種類	積工	練石	玉石	雑割石	張工	練石	玉石	雑割石	空石	玉石	<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;"><b>表3.9 石積(張合) 代表機材規格一覧</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.8m<sup>3</sup>(平積0.6m<sup>3</sup>) 吊能力2.9t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 <del>石工</del>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 <del>運転手(特殊)</del>石工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 再生クラッシュヤラン RC-10</td> <td>裏込材が有りの場合</td> </tr> <tr> <td>Z3 軽油 <del>1.2号</del> バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>		項目	代表機材規格	備考	機械	K1 バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> ) 吊能力2.9t	賃料	K2 -		K3 -		労務	R1 普通作業員		R2 <del>石工</del> 運転手(特殊)		R3 <del>運転手(特殊)</del> 石工		R4 土木一般世話役		材料	Z1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%		Z2 再生クラッシュヤラン RC-10	裏込材が有りの場合	Z3 軽油 <del>1.2号</del> バトロール給油		Z4 -		市場単価	S -		記載の変更
項目	代表機材規格	備考																																																																													
機械	K1 バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> ) 吊能力2.9t	賃料																																																																													
	K2 -																																																																														
	K3 -																																																																														
労務	R1 普通作業員																																																																														
	R2 石工																																																																														
	R3 運転手(特殊)																																																																														
	R4 土木一般世話役																																																																														
材料	Z1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%																																																																														
	Z2 再生クラッシュヤラン RC-10	裏込材が有りの場合																																																																													
	Z3 軽油1.2号 バトロール給油																																																																														
	Z4 -																																																																														
市場単価	S -																																																																														
積張の区分	構造区分	石の種類																																																																													
積工	練石	玉石																																																																													
		雑割石																																																																													
張工	練石	玉石																																																																													
		雑割石																																																																													
	空石	玉石																																																																													
項目	代表機材規格	備考																																																																													
機械	K1 バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> ) 吊能力2.9t	賃料																																																																													
	K2 -																																																																														
	K3 -																																																																														
労務	R1 普通作業員																																																																														
	R2 <del>石工</del> 運転手(特殊)																																																																														
	R3 <del>運転手(特殊)</del> 石工																																																																														
	R4 土木一般世話役																																																																														
材料	Z1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%																																																																														
	Z2 再生クラッシュヤラン RC-10	裏込材が有りの場合																																																																													
	Z3 軽油 <del>1.2号</del> バトロール給油																																																																														
	Z4 -																																																																														
市場単価	S -																																																																														
積算上の注意事項			(控え頁) 5/8																																																																												



改 正 理 由	一 部 改 正	改 正 現 行	備 考																																																																																																		
	現 行	改 正																																																																																																			
	<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;"><b>表3.11 石積(張) 代表機材規格一覧</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td rowspan="3">K1</td> <td>バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 山積 0.28m3 (平積 0.2m3) 吊能力 1.7t</td> <td>・賃料 ・積工の場合</td> </tr> <tr> <td>バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3) 吊能力 2.9t</td> <td>・賃料 ・張工の場合</td> </tr> <tr> <td>K2 K3</td> <td>— —</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>石工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-4 石積(張) (材料費) (1) 条件区分 石積(張) (材料費) における積算条件区分はない。 積算単位は、m<sup>2</sup>とする。 (注) 1. 石積(雑石) (複合) は、控長35cmのみ適用出来る。 2. 石張(複合) は、玉石のみ適用出来る。</p> <p>3-5 胴込・裏込コンクリート (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;"><b>表3.12 胴込・裏込コンクリート 積算条件区分一覧</b> (積算単位: m<sup>3</sup>)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>積張の区分</th> <th>胴込・裏込コンクリート規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>積工</td> <td>(表 3.3)</td> </tr> <tr> <td>張工</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、石積(張)工における胴込・裏込コンクリートの打設の他、コンクリートバケット損料、パイプレタ損料、電力に関する経費等、その施工に必要な全て機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 基礎コンクリート及び天端コンクリートは、「第II編第2章③コンクリートブロック積(張)工」による。 3. 胴込コンクリート量は、玉石の場合は面積に控長の1/3を、雑割石の場合は1/2を乗じたものとする。 4. 養生が必要な場合には、「第II編第4章①コンクリート工」による。 5. 胴込・裏込コンクリートの材料ロスを含む。(標準ロス率は、+0.16)</p> <p style="text-align: center;">II-2-④-8</p>	代表機材規格			備考	項目	代表機材規格		備考	機械	K1	バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 山積 0.28m3 (平積 0.2m3) 吊能力 1.7t	・賃料 ・積工の場合	バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3) 吊能力 2.9t	・賃料 ・張工の場合	K2 K3	— —	労務	R1	普通作業員		R2	石工		R3	運転手(特殊)		R4	土木一般世話役		材料	Z1	軽油 1.2号 バトロール給油		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		積張の区分	胴込・裏込コンクリート規格	積工	(表 3.3)	張工		<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;"><b>表3.11 石積(張) 代表機材規格一覧</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td rowspan="3">K1</td> <td>バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 山積 0.28m3 (平積 0.2m3) 吊能力 1.7t</td> <td>・賃料 ・積工の場合</td> </tr> <tr> <td>バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3) 吊能力 2.9t</td> <td>・賃料 ・張工の場合</td> </tr> <tr> <td>K2 K3</td> <td>— —</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td><del>運転手(特殊)</del></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td><del>運転手(特殊)</del> 石工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>軽油 <del>1.2号</del> バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	代表機材規格			備考	項目	代表機材規格		備考	機械	K1	バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 山積 0.28m3 (平積 0.2m3) 吊能力 1.7t	・賃料 ・積工の場合	バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3) 吊能力 2.9t	・賃料 ・張工の場合	K2 K3	— —	労務	R1	普通作業員		R2	<del>運転手(特殊)</del>		R3	<del>運転手(特殊)</del> 石工		R4	土木一般世話役		材料	Z1	軽油 <del>1.2号</del> バトロール給油		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		記載の変更
代表機材規格			備考																																																																																																		
項目	代表機材規格		備考																																																																																																		
機械	K1	バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 山積 0.28m3 (平積 0.2m3) 吊能力 1.7t	・賃料 ・積工の場合																																																																																																		
		バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3) 吊能力 2.9t	・賃料 ・張工の場合																																																																																																		
		K2 K3	— —																																																																																																		
労務	R1	普通作業員																																																																																																			
	R2	石工																																																																																																			
	R3	運転手(特殊)																																																																																																			
	R4	土木一般世話役																																																																																																			
材料	Z1	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																			
	Z2	—																																																																																																			
	Z3	—																																																																																																			
	Z4	—																																																																																																			
市場単価	S	—																																																																																																			
積張の区分	胴込・裏込コンクリート規格																																																																																																				
積工	(表 3.3)																																																																																																				
張工																																																																																																					
代表機材規格			備考																																																																																																		
項目	代表機材規格		備考																																																																																																		
機械	K1	バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 山積 0.28m3 (平積 0.2m3) 吊能力 1.7t	・賃料 ・積工の場合																																																																																																		
		バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3) 吊能力 2.9t	・賃料 ・張工の場合																																																																																																		
		K2 K3	— —																																																																																																		
労務	R1	普通作業員																																																																																																			
	R2	<del>運転手(特殊)</del>																																																																																																			
	R3	<del>運転手(特殊)</del> 石工																																																																																																			
	R4	土木一般世話役																																																																																																			
材料	Z1	軽油 <del>1.2号</del> バトロール給油																																																																																																			
	Z2	—																																																																																																			
	Z3	—																																																																																																			
	Z4	—																																																																																																			
市場単価	S	—																																																																																																			
積算上の注意事項			記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)																																																																																																		
			(控え頁) 6/8																																																																																																		

改正理由	一部改正	改正 <hr/> 現行																																																																									
現 行		改 正																																																																									
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;"><b>表3.13 胴込・裏込コンクリート 代表機材規格一覧</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.28m<sup>3</sup>(平積0.2m<sup>3</sup>) 吊能力1.7t</td> <td>・賃料 ・積工の場合</td> </tr> <tr> <td>バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.8m<sup>3</sup>(平積0.6m<sup>3</sup>) 吊能力2.9t</td> <td>・賃料 ・張工の場合</td> </tr> <tr> <td>K2 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 軽油 1.2号 バトル給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S —</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-6 裏込材(クラッシュラン)</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;"><b>表3.14 裏込材(クラッシュラン) 積算条件区分一覧</b> (積算単位: m<sup>3</sup>)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>積張の区分</th> <th>裏込材規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>積工</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">(表3.4)</td> </tr> <tr> <td>張工</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、石積(張)工における裏込材(クラッシュラン)の設置の他、締固め機械等の損料、油脂類の費用、振動コンパクタによる締固め作業等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 空石張の胴込材の量は、面積に玉石の径長の1/3を乗じたものとする。 3. 裏込材の材料ロスを含む。(標準ロス率は、+0.18)</p>		項目	代表機材規格	備考	機械	K1 バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.28m <sup>3</sup> (平積0.2m <sup>3</sup> ) 吊能力1.7t	・賃料 ・積工の場合	バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> ) 吊能力2.9t	・賃料 ・張工の場合	K2 —		K3 —		労務	R1 普通作業員		R2 特殊作業員		R3 運転手(特殊)		R4 —		材料	Z1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%		Z2 軽油 1.2号 バトル給油		Z3 —		Z4 —		市場単価	S —		積張の区分	裏込材規格	積工	(表3.4)	張工	<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;"><b>表3.13 胴込・裏込コンクリート 代表機材規格一覧</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.28m<sup>3</sup>(平積0.2m<sup>3</sup>) 吊能力1.7t</td> <td>・賃料 ・積工の場合</td> </tr> <tr> <td>バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.8m<sup>3</sup>(平積0.6m<sup>3</sup>) 吊能力2.9t</td> <td>・賃料 ・張工の場合</td> </tr> <tr> <td>K2 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 軽油 <del>1.2号</del> バトル給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S —</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>		項目	代表機材規格	備考	機械	K1 バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.28m <sup>3</sup> (平積0.2m <sup>3</sup> ) 吊能力1.7t	・賃料 ・積工の場合	バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> ) 吊能力2.9t	・賃料 ・張工の場合	K2 —		K3 —		労務	R1 普通作業員		R2 特殊作業員		R3 運転手(特殊)		R4 —		材料	Z1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%		Z2 軽油 <del>1.2号</del> バトル給油		Z3 —		Z4 —		市場単価	S —		記載の変更
項目	代表機材規格	備考																																																																									
機械	K1 バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.28m <sup>3</sup> (平積0.2m <sup>3</sup> ) 吊能力1.7t	・賃料 ・積工の場合																																																																									
	バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> ) 吊能力2.9t	・賃料 ・張工の場合																																																																									
	K2 —																																																																										
K3 —																																																																											
労務	R1 普通作業員																																																																										
	R2 特殊作業員																																																																										
	R3 運転手(特殊)																																																																										
	R4 —																																																																										
材料	Z1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%																																																																										
	Z2 軽油 1.2号 バトル給油																																																																										
	Z3 —																																																																										
	Z4 —																																																																										
市場単価	S —																																																																										
積張の区分	裏込材規格																																																																										
積工	(表3.4)																																																																										
張工																																																																											
項目	代表機材規格	備考																																																																									
機械	K1 バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.28m <sup>3</sup> (平積0.2m <sup>3</sup> ) 吊能力1.7t	・賃料 ・積工の場合																																																																									
	バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> ) 吊能力2.9t	・賃料 ・張工の場合																																																																									
	K2 —																																																																										
K3 —																																																																											
労務	R1 普通作業員																																																																										
	R2 特殊作業員																																																																										
	R3 運転手(特殊)																																																																										
	R4 —																																																																										
材料	Z1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%																																																																										
	Z2 軽油 <del>1.2号</del> バトル給油																																																																										
	Z3 —																																																																										
	Z4 —																																																																										
市場単価	S —																																																																										
積算上の注意事項			(控え頁) 7/8																																																																								

改正理由	一部改正	改正 <hr/> 現行																																																																
現 行		改 正																																																																
備 考																																																																		
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;"><b>表3.15 裏込材(クラッシュラン) 代表機材規格一覧</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・ 排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.28m<sup>3</sup>(平積0.2m<sup>3</sup>) 吊能力1.7t</td> <td>・賃料 ・積工の場合</td> </tr> <tr> <td>K2 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 再生クラッシュラン RC-40</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S —</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		項目	代表機材規格	備考	機械	K1 バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・ 排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.28m <sup>3</sup> (平積0.2m <sup>3</sup> ) 吊能力1.7t	・賃料 ・積工の場合	K2 —		K3 —		労務	R1 普通作業員		R2 運転手(特殊)		R3 —		R4 —		材料	Z1 再生クラッシュラン RC-40		Z2 軽油 1.2号 バトロール給油		Z3 —		Z4 —		市場単価	S —		→	<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;"><b>表3.15 裏込材(クラッシュラン) 代表機材規格一覧</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・ 排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.28m<sup>3</sup>(平積0.2m<sup>3</sup>) 吊能力1.7t</td> <td>・賃料 ・積工の場合</td> </tr> <tr> <td>K2 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 再生クラッシュラン RC-40</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 軽油 <del>1.2号</del> バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S —</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格	備考	機械	K1 バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・ 排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.28m <sup>3</sup> (平積0.2m <sup>3</sup> ) 吊能力1.7t	・賃料 ・積工の場合	K2 —		K3 —		労務	R1 普通作業員		R2 運転手(特殊)		R3 —		R4 —		材料	Z1 再生クラッシュラン RC-40		Z2 軽油 <del>1.2号</del> バトロール給油		Z3 —		Z4 —		市場単価	S —		記載の変更
項目	代表機材規格	備考																																																																
機械	K1 バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・ 排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.28m <sup>3</sup> (平積0.2m <sup>3</sup> ) 吊能力1.7t	・賃料 ・積工の場合																																																																
	K2 —																																																																	
	K3 —																																																																	
労務	R1 普通作業員																																																																	
	R2 運転手(特殊)																																																																	
	R3 —																																																																	
	R4 —																																																																	
材料	Z1 再生クラッシュラン RC-40																																																																	
	Z2 軽油 1.2号 バトロール給油																																																																	
	Z3 —																																																																	
	Z4 —																																																																	
市場単価	S —																																																																	
項目	代表機材規格	備考																																																																
機械	K1 バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・ 排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.28m <sup>3</sup> (平積0.2m <sup>3</sup> ) 吊能力1.7t	・賃料 ・積工の場合																																																																
	K2 —																																																																	
	K3 —																																																																	
労務	R1 普通作業員																																																																	
	R2 運転手(特殊)																																																																	
	R3 —																																																																	
	R4 —																																																																	
材料	Z1 再生クラッシュラン RC-40																																																																	
	Z2 軽油 <del>1.2号</del> バトロール給油																																																																	
	Z3 —																																																																	
	Z4 —																																																																	
市場単価	S —																																																																	
II-2-④-10																																																																		
積算上の注意事項			(控え頁) 8/8																																																															

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																												
	<p style="text-align: center;">現 行</p> <p style="text-align: center;">表3.3 コンクリート規格</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th colspan="2">区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="18">コンクリート規格</td><td>21-8-25(20) (普通)</td><td>18-8-40(高炉)</td></tr> <tr><td>21-12-25(20) (普通)</td><td>18-12-40(高炉)</td></tr> <tr><td>24-8-25(20) (普通)</td><td>21-8-40(高炉)</td></tr> <tr><td>24-12-25(20) (普通)</td><td>21-12-40(高炉)</td></tr> <tr><td>27-8-25(20) (普通)</td><td>24-8-40(高炉)</td></tr> <tr><td>27-12-25(20) (普通)</td><td>24-12-40(高炉)</td></tr> <tr><td>18-8-10(普通)</td><td>21-8-25(早強)</td></tr> <tr><td>18-12-40(普通)</td><td>21-12-25(早強)</td></tr> <tr><td>21-8-10(普通)</td><td>24-8-25(早強)</td></tr> <tr><td>21-12-40(普通)</td><td>24-12-25(早強)</td></tr> <tr><td>24-8-10(普通)</td><td>18-8-25(高炉)</td></tr> <tr><td>24-12-40(普通)</td><td>18-12-25(高炉)</td></tr> <tr><td>21-8-25(20) (高炉)</td><td>各種</td></tr> <tr><td>21-12-25(20) (高炉)</td><td></td></tr> <tr><td>24-8-25(20) (高炉)</td><td></td></tr> <tr><td>24-12-25(20) (高炉)</td><td></td></tr> </tbody> </table>	積算条件	区分		コンクリート規格	21-8-25(20) (普通)	18-8-40(高炉)	21-12-25(20) (普通)	18-12-40(高炉)	24-8-25(20) (普通)	21-8-40(高炉)	24-12-25(20) (普通)	21-12-40(高炉)	27-8-25(20) (普通)	24-8-40(高炉)	27-12-25(20) (普通)	24-12-40(高炉)	18-8-10(普通)	21-8-25(早強)	18-12-40(普通)	21-12-25(早強)	21-8-10(普通)	24-8-25(早強)	21-12-40(普通)	24-12-25(早強)	24-8-10(普通)	18-8-25(高炉)	24-12-40(普通)	18-12-25(高炉)	21-8-25(20) (高炉)	各種	21-12-25(20) (高炉)		24-8-25(20) (高炉)		24-12-25(20) (高炉)		<p>現行どおり</p>									
積算条件	区分																																														
コンクリート規格	21-8-25(20) (普通)	18-8-40(高炉)																																													
	21-12-25(20) (普通)	18-12-40(高炉)																																													
	24-8-25(20) (普通)	21-8-40(高炉)																																													
	24-12-25(20) (普通)	21-12-40(高炉)																																													
	27-8-25(20) (普通)	24-8-40(高炉)																																													
	27-12-25(20) (普通)	24-12-40(高炉)																																													
	18-8-10(普通)	21-8-25(早強)																																													
	18-12-40(普通)	21-12-25(早強)																																													
	21-8-10(普通)	24-8-25(早強)																																													
	21-12-40(普通)	24-12-25(早強)																																													
	24-8-10(普通)	18-8-25(高炉)																																													
	24-12-40(普通)	18-12-25(高炉)																																													
	21-8-25(20) (高炉)	各種																																													
	21-12-25(20) (高炉)																																														
	24-8-25(20) (高炉)																																														
	24-12-25(20) (高炉)																																														
		<p style="text-align: center;">改 正</p> <p style="text-align: center;">表3.4 小型擁壁 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2011年規制)] 山積0.45m<sup>3</sup>(平積0.35m<sup>3</sup>) 吊能力2.9t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力126MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油</td> <td>・特殊養生(ジェットヒータ)の場合 ・賃料</td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>型わく工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>灯油 白灯油 業務用 ミニローリー</td> <td>特殊養生(ジェットヒータ)の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2011年規制)] 山積0.45m <sup>3</sup> (平積0.35m <sup>3</sup> ) 吊能力2.9t		K 2	業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力126MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油	・特殊養生(ジェットヒータ)の場合 ・賃料	K 3	-		労務	R 1	普通作業員		R 2	型わく工		R 3	土木一般世話役		R 4	特殊作業員		材料	Z 1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%		Z 2	灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	特殊養生(ジェットヒータ)の場合	Z 3	軽油 1.2号 バトロール給油		Z 4	-		市場単価	S	-		
	項目	代表機材規格		備考																																											
機械	K 1	バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2011年規制)] 山積0.45m <sup>3</sup> (平積0.35m <sup>3</sup> ) 吊能力2.9t																																													
	K 2	業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力126MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油	・特殊養生(ジェットヒータ)の場合 ・賃料																																												
	K 3	-																																													
労務	R 1	普通作業員																																													
	R 2	型わく工																																													
	R 3	土木一般世話役																																													
	R 4	特殊作業員																																													
材料	Z 1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%																																													
	Z 2	灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	特殊養生(ジェットヒータ)の場合																																												
	Z 3	軽油 1.2号 バトロール給油																																													
	Z 4	-																																													
市場単価	S	-																																													
積算上の注意事項			<p>(控え頁)</p> <p>1/2</p>																																												

(2) 代表機材規格  
下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。

表3.4 小型擁壁 代表機材規格一覧

項目	代表機材規格		備考
機械	K 1	バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2011年規制)] 山積0.45m <sup>3</sup> (平積0.35m <sup>3</sup> ) 吊能力2.9t	
	K 2	業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力126MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油	・特殊養生(ジェットヒータ)の場合 ・賃料
	K 3	-	
労務	R 1	普通作業員	
	R 2	型わく工	
	R 3	土木一般世話役	
	R 4	特殊作業員	
材料	Z 1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%	
	Z 2	灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	特殊養生(ジェットヒータ)の場合
	Z 3	軽油 1.2号 バトロール給油	
	Z 4	-	
市場単価	S	-	

(2) 代表機材規格  
下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。

表3.4 小型擁壁 代表機材規格一覧

項目	代表機材規格		備考
機械	K 1	バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2011年規制)] 山積0.45m <sup>3</sup> (平積0.35m <sup>3</sup> ) 吊能力2.9t	
	K 2	業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力126MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油	・特殊養生(ジェットヒータ)の場合 ・賃料
	K 3	-	
労務	R 1	<del>普通作業員</del> 型わく工	
	R 2	<del>型わく工</del> 普通作業員	
	R 3	土木一般世話役	
	R 4	<del>特殊作業員</del> 運転手(特殊)	
材料	Z 1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%	
	Z 2	灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	特殊養生(ジェットヒータ)の場合
	Z 3	軽油 <del>1.2号</del> バトロール給油	
	Z 4	-	
市場単価	S	-	

記載の変更

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																
	現 行	改 正																																																	
	<p>3-2 重方式擁壁 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;"><b>表3.5 重方式擁壁 積算条件区分一覧</b> (積算単位: m3)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>擁壁平均高さ</th> <th>コンクリート規格</th> <th>基礎砕石の有無</th> <th>均しコンクリートの有無</th> <th>養生工の種類</th> <th>圧送管延長距離区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8">1.0m を超え 2.0m 未満</td> <td rowspan="8">(表 3.3)</td> <td rowspan="4">無し</td> <td rowspan="2">無し</td> <td>一般養生</td> <td rowspan="8">(表 3.6)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(練炭・ジェットホー)</td> </tr> <tr> <td>養生工無</td> </tr> <tr> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">有り</td> <td rowspan="2">無し</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(練炭・ジェットホー)</td> </tr> <tr> <td>養生工無</td> </tr> <tr> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">2.0m 以上 5.0m 以下</td> <td rowspan="8">(表 3.3)</td> <td rowspan="4">無し</td> <td rowspan="2">無し</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(練炭・ジェットホー)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットホー養生</td> </tr> <tr> <td>養生工無</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">有り</td> <td rowspan="2">無し</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(練炭・ジェットホー)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットホー養生</td> </tr> <tr> <td>養生工無</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">有り</td> <td rowspan="2">無し</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(練炭・ジェットホー)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットホー養生</td> </tr> <tr> <td>養生工無</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">有り</td> <td rowspan="2">有り</td> <td rowspan="2">無し</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(練炭・ジェットホー)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットホー養生</td> </tr> <tr> <td>養生工無</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、重方式擁壁(擁壁平均高さ1.0mを超え5.0m以下)のコンクリート、型枠(はく離塗布及びクレン作業含む)、基礎材、均しコンクリート、一般足場(擁壁平均高さが2m未満の場合)、手摺先行型枠組足場(擁壁平均高さが2m以上の場合)、目地材(ひび割れ誘発目地除く)、水抜きパイプ、吸出し防止材(点在)、養生(一般養生、特殊養生(練炭・ジェットホー)、仮囲い内ジェットホー養生)、圧送管の組立・撤去、ペーラインコンクリートの施工の他、権機械器具(コンクリートパイプレータ、工事用水中モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、シュート、ホッパ等)の損料、コンクリートポンプ車のホースの簡先作業等を行う機械付補助労務等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし化粧型枠は含まない。 2. コンクリートの材料ロスを含む。(標準ロス率は、+0.04) 3. 設計数量は、つま先版、突起を含む擁壁本体コンクリートの数量とする。 4. 化粧型枠については加算費用を、「第II編第4章コンクリート工②-1型枠工3-2化粧型枠」により別途計上すること。 5. ペーラインコンクリートの材料費については、「3-8ペーラインコンクリート(材料費)」により別途計上すること。</p> <p style="text-align: center;">II-2-⑤-7</p>	擁壁平均高さ	コンクリート規格	基礎砕石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分	1.0m を超え 2.0m 未満	(表 3.3)	無し	無し	一般養生	(表 3.6)	特殊養生(練炭・ジェットホー)	養生工無	一般養生	有り	無し	一般養生	特殊養生(練炭・ジェットホー)	養生工無	一般養生	2.0m 以上 5.0m 以下	(表 3.3)	無し	無し	一般養生	特殊養生(練炭・ジェットホー)	仮囲い内ジェットホー養生	養生工無	有り	無し	一般養生	特殊養生(練炭・ジェットホー)	仮囲い内ジェットホー養生	養生工無	有り	無し	一般養生	特殊養生(練炭・ジェットホー)	仮囲い内ジェットホー養生	養生工無	有り	有り	無し	一般養生	特殊養生(練炭・ジェットホー)	仮囲い内ジェットホー養生	養生工無	<p>現行どおり</p> <p>現行どおり</p>	記載の変更
擁壁平均高さ	コンクリート規格	基礎砕石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分																																														
1.0m を超え 2.0m 未満	(表 3.3)	無し	無し	一般養生	(表 3.6)																																														
				特殊養生(練炭・ジェットホー)																																															
			養生工無																																																
			一般養生																																																
		有り	無し	一般養生																																															
				特殊養生(練炭・ジェットホー)																																															
			養生工無																																																
			一般養生																																																
2.0m 以上 5.0m 以下	(表 3.3)	無し	無し	一般養生																																															
				特殊養生(練炭・ジェットホー)																																															
			仮囲い内ジェットホー養生																																																
			養生工無																																																
		有り	無し	一般養生																																															
				特殊養生(練炭・ジェットホー)																																															
			仮囲い内ジェットホー養生																																																
			養生工無																																																
有り	無し	一般養生																																																	
		特殊養生(練炭・ジェットホー)																																																	
	仮囲い内ジェットホー養生																																																		
	養生工無																																																		
有り	有り	無し	一般養生																																																
			特殊養生(練炭・ジェットホー)																																																
	仮囲い内ジェットホー養生																																																		
	養生工無																																																		
積算上の注意事項			(控え頁) 2/2																																																

工 種	場所打擁壁工(2)
-----	-----------

改正理由	一部改正	改正 現行																				
現 行	改 正	備 考																				
<p>⑤-2 場所打擁壁工(2)</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、場所打擁壁工(1)の適用範囲を外れた擁壁工(表1.1)のコンクリート打設に適用する。</p> <table border="1" data-bbox="369 539 862 619"> <caption>表1.1 場所打擁壁工(1)の適用範囲を外れた擁壁工</caption> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>重方式擁壁[擁壁平均高さ5mを超えるもの]</li> <li>もたれ式擁壁[擁壁平均高さ1mを超え3m未満のもの、あるいは8mを超えるもの]</li> <li>逆T型擁壁[擁壁平均高さ1mを超え3m未満のもの、あるいは10mを超えるもの]</li> <li>L型擁壁[擁壁平均高さ1mを超え3m未満のもの、あるいは7mを超えるもの]</li> <li>重方式擁壁、もたれ式擁壁、逆T型擁壁、L型擁壁以外の形式の現場打擁壁</li> </ul> </td> </tr> </table> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) コンクリート打設機械からの圧送管延長距離が280m以下の場合 (2) 圧送コンクリートのスランプ値が8~12cm、粗骨材の最大寸法が40mm以下の場合</p> <p>2. 施工パッケージ 2-1 コンクリート(場所打擁壁) (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <table border="1" data-bbox="376 798 855 1066"> <caption>表2.1 コンクリート(場所打擁壁) 積算条件区分一覧 (積算単位:n3)</caption> <thead> <tr> <th>生コンクリート規格</th> <th>養生工の種類</th> <th>圧送管延長距離区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">(表2.2)</td> <td rowspan="6">一般養生</td> <td>延長無し</td> </tr> <tr> <td>90m未満</td> </tr> <tr> <td>90m以上180m未満</td> </tr> <tr> <td>180m以上280m以下</td> </tr> <tr> <td>延長無し</td> </tr> <tr> <td>90m未満</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td> <td>90m以上180m未満</td> </tr> <tr> <td>180m以上280m以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">仮囲い内ジェットヒータ養生</td> <td>延長無し</td> </tr> <tr> <td>90m未満</td> </tr> <tr> <td>90m以上180m未満</td> </tr> <tr> <td>180m以上280m以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、場所打擁壁のコンクリート打設、ホースの筒先作業等を行う機械付補助労務、養生、圧送管組立・撤去、ベアラインコンクリートの施工の他、コンクリートパイプレタ損料及び電力に関する経費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. コンクリートの材料ロスを含む。(標準ロス率は、+0.02) 3. ベアラインコンクリートの材料費については、「第II編第2章⑤場所打擁壁工⑤-1場所打擁壁工(1)」3-9ベアラインコンクリート(材料費)により別途計上する。 4. 作業範囲(30m)を超えて圧送管を延長する場合は、超えた部分の延長距離を90m未満、90m以上180m未満、180m以上280m以下から該当する区分を選択する。 5. 擁壁平均高さは、擁壁の前面勾配あるいは背面勾配、天端幅、擁壁種類が同一の構造形式のブロックにて判断する。 6. 仮囲い内ジェットヒータ養生の場合は、足場費を「第II編第5章仮設工⑤-2雪寒仮囲い工」により別途計上する。</p> <p style="text-align: center;">II-2-⑤-22</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>重方式擁壁[擁壁平均高さ5mを超えるもの]</li> <li>もたれ式擁壁[擁壁平均高さ1mを超え3m未満のもの、あるいは8mを超えるもの]</li> <li>逆T型擁壁[擁壁平均高さ1mを超え3m未満のもの、あるいは10mを超えるもの]</li> <li>L型擁壁[擁壁平均高さ1mを超え3m未満のもの、あるいは7mを超えるもの]</li> <li>重方式擁壁、もたれ式擁壁、逆T型擁壁、L型擁壁以外の形式の現場打擁壁</li> </ul>	生コンクリート規格	養生工の種類	圧送管延長距離区分	(表2.2)	一般養生	延長無し	90m未満	90m以上180m未満	180m以上280m以下	延長無し	90m未満	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	90m以上180m未満	180m以上280m以下	仮囲い内ジェットヒータ養生	延長無し	90m未満	90m以上180m未満	180m以上280m以下	<p style="text-align: center;">現行どおり</p>	<p style="text-align: center;">記載の変更</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>重方式擁壁[擁壁平均高さ5mを超えるもの]</li> <li>もたれ式擁壁[擁壁平均高さ1mを超え3m未満のもの、あるいは8mを超えるもの]</li> <li>逆T型擁壁[擁壁平均高さ1mを超え3m未満のもの、あるいは10mを超えるもの]</li> <li>L型擁壁[擁壁平均高さ1mを超え3m未満のもの、あるいは7mを超えるもの]</li> <li>重方式擁壁、もたれ式擁壁、逆T型擁壁、L型擁壁以外の形式の現場打擁壁</li> </ul>																						
生コンクリート規格	養生工の種類	圧送管延長距離区分																				
(表2.2)	一般養生	延長無し																				
		90m未満																				
		90m以上180m未満																				
		180m以上280m以下																				
		延長無し																				
		90m未満																				
	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	90m以上180m未満																				
		180m以上280m以下																				
		仮囲い内ジェットヒータ養生	延長無し																			
			90m未満																			
			90m以上180m未満																			
			180m以上280m以下																			
積算上の注意事項			<p style="text-align: center;">(控え頁)</p> <p style="text-align: center;">1/1</p>																			



工 種	補強土壁工(帯鋼補強土壁, アンカー補強土壁, ジオテキスタイル補強土壁)
-----	---------------------------------------

改正理由	一部改正	改正 現行																																						
現 行	改 正	備 考																																						
<p>3-2 補強土壁壁面材 (材料費)</p> <p>(1) 条件区分 補強土壁壁面材 (材料費) における積算条件区分はない。 積算単位は、m<sup>2</sup>とする。 (注) 1. 帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁の材料費には、水平目地材、透水防砂材、等を含む。 2. ジオテキスタイル補強土壁 (二重壁タイプ) の材料費には、パネル付風部材、縦目地シート、吸出し防止材 (縦目地用)、壁面取付材及び簡易鋼製枠等を含む。</p> <p>3-3 補強材取付</p> <p>3-3-1 補強材取付 (帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁)</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;"><b>表3.3 補強材取付 積算条件区分一覧</b> (積算単位: m)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>工法区分</td></tr> <tr><td>帯鋼補強土壁</td></tr> <tr><td>アンカー補強土壁</td></tr> </table> <p>(注) 1. 上表は、補強土壁工 (帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁) の補強材の取付け、結合作業 (ボルト・ナット等による) の他、アンカー補強土壁におけるターンバックルの設置・調整等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費 (損料等を含む) を含む。ただし、補強材 (材料費) は含まない。 2. 補強材の材料費は別途計上する。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;"><b>表3.4 補強材取付(帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁) 代表機材規格一覧</b></p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1</td><td>—</td></tr> <tr><td>K 2</td><td>—</td></tr> <tr><td>K 3</td><td>—</td></tr> <tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1</td><td>普通作業員</td></tr> <tr><td>R 2</td><td>土木一般世話役</td></tr> <tr><td>R 3</td><td>特殊作業員</td></tr> <tr><td>R 4</td><td>—</td></tr> <tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1</td><td>—</td></tr> <tr><td>Z 2</td><td>—</td></tr> <tr><td>Z 3</td><td>—</td></tr> <tr><td>Z 4</td><td>—</td></tr> <tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td></tr> </tbody> </table> <p>3-3-2 補強材取付 (ジオテキスタイル補強土壁 (二重壁タイプ))</p> <p>(1) 条件区分 補強材取付 (ジオテキスタイル補強土壁 (二重壁タイプ)) における条件区分はない。 積算単位は、m<sup>2</sup>とする。 (注) 1. 上表は、補強土壁工 (ジオテキスタイル補強土壁) の補強材の取付け、結合作業の他、補強材取付に使用する杭、ハンマ、スコップ、バール等の費用、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費 (損料等を含む) を含む。ただし、補強材 (材料費) は含まない。 2. 補強材の材料費は別途計上する。</p> <p style="text-align: center;">II-2-⑦-4</p>	工法区分	帯鋼補強土壁	アンカー補強土壁	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1	—	K 2	—	K 3	—	労務	R 1	普通作業員	R 2	土木一般世話役	R 3	特殊作業員	R 4	—	材料	Z 1	—	Z 2	—	Z 3	—	Z 4	—	市場単価	S	—	<p style="text-align: center;">} 現行どおり</p> <p>3-3 補強材取付</p> <p>3-3-1 補強材取付 (帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁)</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;"><b>表3.3 補強材取付(帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁) 積算条件区分一覧</b> (積算単位: m)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>工法区分</td></tr> <tr><td>帯鋼補強土壁</td></tr> <tr><td>アンカー補強土壁</td></tr> </table> <p style="text-align: center;">} 現行どおり</p>	工法区分	帯鋼補強土壁	アンカー補強土壁	記載の変更	
工法区分																																								
帯鋼補強土壁																																								
アンカー補強土壁																																								
項目	代表機材規格	備考																																						
機械	K 1	—																																						
	K 2	—																																						
	K 3	—																																						
労務	R 1	普通作業員																																						
	R 2	土木一般世話役																																						
	R 3	特殊作業員																																						
	R 4	—																																						
材料	Z 1	—																																						
	Z 2	—																																						
	Z 3	—																																						
	Z 4	—																																						
市場単価	S	—																																						
工法区分																																								
帯鋼補強土壁																																								
アンカー補強土壁																																								
積算上の注意事項		(控え頁) 1/3																																						

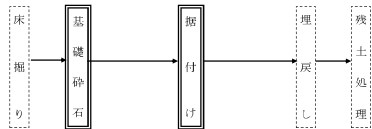
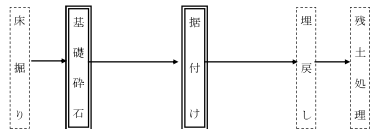
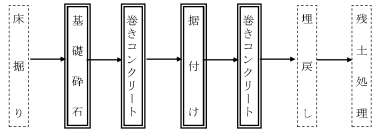
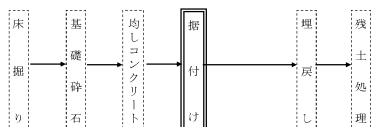
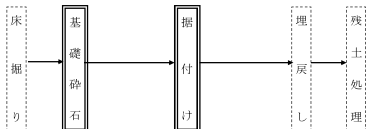


工 種	補強土壁工(帯鋼補強土壁, アンカー補強土壁, ジオテキスタイル補強土壁)
-----	---------------------------------------

改正理由	一部改正		改正	備考																																																												
	現	行	現 行																																																													
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p>表3.5 補強材取付(ジオテキスタイル補強土壁(二重壁タイプ)) 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>土木一般世話役</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>特殊作業員</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>3-4 補強材(材料費) 3-4-1 補強材(材料費)(帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁) (1) 条件区分 補強材(材料費)における積算条件区分はない。 積算単位は、mとする。 (注) 材料費には、アングル、ターンバックル、アンカープレート、連結部材、ボルト・ナット等を含む。</p> <p>3-4-2 補強材(材料費)(ジオテキスタイル補強土壁(二重壁タイプ)) (1) 条件区分 補強材(材料費)における積算条件区分はない。 積算単位は、m<sup>2</sup>とする。 (注) 連結金具等を含む。</p> <p style="text-align: center;">II-2-⑦-5</p>	項目	代表機材規格	備考	機械	K1	—	K2	—	K3	—	労務	R1	普通作業員	R2	土木一般世話役	R3	特殊作業員	R4	—	材料	Z1	—	Z2	—	Z3	—	Z4	—	市場単価	S	—	<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p>表3.5 補強材取付(ジオテキスタイル補強土壁(二重壁タイプ)) 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td><del>土木一般世話役</del>特殊作業員</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td><del>特殊作業員</del>土木一般世話役</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	項目	代表機材規格	備考	機械	K1	—	K2	—	K3	—	労務	R1	普通作業員	R2	<del>土木一般世話役</del> 特殊作業員	R3	<del>特殊作業員</del> 土木一般世話役	R4	—	材料	Z1	—	Z2	—	Z3	—	Z4	—	市場単価	S	—	<p style="text-align: center;">記載の変更</p>
	項目	代表機材規格	備考																																																													
機械	K1	—																																																														
	K2	—																																																														
	K3	—																																																														
労務	R1	普通作業員																																																														
	R2	土木一般世話役																																																														
	R3	特殊作業員																																																														
	R4	—																																																														
材料	Z1	—																																																														
	Z2	—																																																														
	Z3	—																																																														
	Z4	—																																																														
市場単価	S	—																																																														
項目	代表機材規格	備考																																																														
機械	K1	—																																																														
	K2	—																																																														
	K3	—																																																														
労務	R1	普通作業員																																																														
	R2	<del>土木一般世話役</del> 特殊作業員																																																														
	R3	<del>特殊作業員</del> 土木一般世話役																																																														
	R4	—																																																														
材料	Z1	—																																																														
	Z2	—																																																														
	Z3	—																																																														
	Z4	—																																																														
市場単価	S	—																																																														
積算上の注意事項		(控え頁) 2/3																																																														

改正理由	一部改正		改正	備考																																																																																										
	現	行	現 行																																																																																											
<p>3-5 まき出し・敷均し、締固め (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p><b>表3.6 まき出し・敷均し、締固め 積算条件区分一覧</b> (積算単位: m3)</p> <table border="1"> <tr><td>工法区分</td></tr> <tr><td>帯鋼補強土壁</td></tr> <tr><td>アンカー補強土壁</td></tr> <tr><td>ジオテキスタイル補強土壁(二重壁タイプ)</td></tr> </table> <p>(注) 1. 上表は、補強土壁工(帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁・ジオテキスタイル補強土壁(二重壁タイプ))のまき出し、敷均し、締固めの他、振動ローラ(舗装用・ハンドガイド式)、タンバの運転経費等の費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(賃料等を含む)を含む。 2. 施工量の範囲は、壁面上端までと補強材後部までの盛土を対象とする(参考図参照)。 3. 現場条件により表3.7に示す代表機械の規格により違い場合は、別途考慮する。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p><b>表3.7 まき出し・敷均し、締固め 代表機材規格一覧</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>バックホウ(クローラ型)[標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2014年規制)]山積0.5m3(平積0.4m3)吊能力2.9t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>振動ローラ(舗装用)[搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型(第3次基準値)]運転質量3~4t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	工法区分	帯鋼補強土壁	アンカー補強土壁	ジオテキスタイル補強土壁(二重壁タイプ)	項目	代表機材規格		備考	機械	K1	バックホウ(クローラ型)[標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2014年規制)]山積0.5m3(平積0.4m3)吊能力2.9t	賃料	K2	振動ローラ(舗装用)[搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型(第3次基準値)]運転質量3~4t	賃料	K3	—		労務	R1	運転手(特殊)		R2	普通作業員		R3	土木一般世話役		R4	特殊作業員		材料	Z1	軽油 1.2号 バトロール給油		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		<p>現行どおり</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p><b>表3.7 まき出し・敷均し、締固め 代表機材規格一覧</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>バックホウ(クローラ型)[標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2014年規制)]山積0.5m3(平積0.4m3)吊能力2.9t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>振動ローラ(舗装用)[搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型(第3次基準値)]運転質量3~4t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td><del>土木一般世話役</del>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td><del>特殊作業員</del>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>軽油 <del>1.2号</del> バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格		備考	機械	K1	バックホウ(クローラ型)[標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2014年規制)]山積0.5m3(平積0.4m3)吊能力2.9t	賃料	K2	振動ローラ(舗装用)[搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型(第3次基準値)]運転質量3~4t	賃料	K3	—		労務	R1	運転手(特殊)		R2	普通作業員		R3	<del>土木一般世話役</del> 特殊作業員		R4	<del>特殊作業員</del> 土木一般世話役		材料	Z1	軽油 <del>1.2号</del> バトロール給油		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		<p>記載の変更</p>
工法区分																																																																																														
帯鋼補強土壁																																																																																														
アンカー補強土壁																																																																																														
ジオテキスタイル補強土壁(二重壁タイプ)																																																																																														
項目	代表機材規格		備考																																																																																											
機械	K1	バックホウ(クローラ型)[標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2014年規制)]山積0.5m3(平積0.4m3)吊能力2.9t	賃料																																																																																											
	K2	振動ローラ(舗装用)[搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型(第3次基準値)]運転質量3~4t	賃料																																																																																											
	K3	—																																																																																												
労務	R1	運転手(特殊)																																																																																												
	R2	普通作業員																																																																																												
	R3	土木一般世話役																																																																																												
	R4	特殊作業員																																																																																												
材料	Z1	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																												
	Z2	—																																																																																												
	Z3	—																																																																																												
	Z4	—																																																																																												
市場単価	S	—																																																																																												
項目	代表機材規格		備考																																																																																											
機械	K1	バックホウ(クローラ型)[標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2014年規制)]山積0.5m3(平積0.4m3)吊能力2.9t	賃料																																																																																											
	K2	振動ローラ(舗装用)[搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型(第3次基準値)]運転質量3~4t	賃料																																																																																											
	K3	—																																																																																												
労務	R1	運転手(特殊)																																																																																												
	R2	普通作業員																																																																																												
	R3	<del>土木一般世話役</del> 特殊作業員																																																																																												
	R4	<del>特殊作業員</del> 土木一般世話役																																																																																												
材料	Z1	軽油 <del>1.2号</del> バトロール給油																																																																																												
	Z2	—																																																																																												
	Z3	—																																																																																												
	Z4	—																																																																																												
市場単価	S	—																																																																																												
<p>3-6 排水管敷設工 排水管敷設工を施工する場合は、「第II編第2章④-1 排水構造物工」暗渠排水管により別途計上する。</p> <p>II-2-⑦-6</p>	<p>現行どおり</p>																																																																																													
積算上の注意事項				(控え頁) 3/3																																																																																										

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																																								
	現 行	改 正																																																																																									
<p>3-4 まき出し・敷均し、締固め</p> <p>(1) 条件区分 まき出し・敷均し、締固めに積算条件区分はない。 積算単位は、m<sup>3</sup>とする。</p> <p>(注) 1. ジオテキスタイルを用いた補強土壁工及び盛土補強工のまき出し、敷均し・締固め、水平排水材、腐厚管理材の設置の他、振動ローラ（ハンドガイド式）、タンバ及びランマの運転経費等、その施工に要する全ての費用を含む。ただし、水平排水材、腐厚管理材及び盛土材の材料費は含まない。</p> <p>2. 水平排水材、腐厚管理材の材料費は別途計上する。</p> <p>3. ジオテキスタイル工1段当りのまき出し厚さ及び締固め回数に関係なく適用する。</p> <p>4. ジオテキスタイル盛土工範囲（図3-1参考図参照）の盛土材については、必要に応じて別途計上する。</p> <p>5. 現場発生土の粒径処理等が必要な場合は、別途計上する。</p> <p>(2) 代表機勞材規格 下表機勞材は、当該施工パッケージで使用されている機勞材の代表的な規格である。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <caption>表3.4 まき出し・敷均し、締固め 代表機勞材規格一覧</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機勞材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">機械</td> <td>K1</td> <td>バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（2011年規制）〕山積0.5m<sup>3</sup>（平積0.4m<sup>3</sup>）</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>振動ローラ（舗装用）〔搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型（第3次基準値）〕運転質量 3～4t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">勞務</td> <td>R2</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>運転手（特殊）</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-5 ジオテキスタイル（材料費）</p> <p>(1) 条件区分 ジオテキスタイル（材料費）に積算条件区分はない。 積算単位は、m<sup>2</sup>とする。</p> <p>(注) 施工量は、巻込み部、重ね合わせ等を含んだジオテキスタイル必要面積を計上する。</p> <p>3-6 排水管敷設工 排水管敷設工を施工する場合は、「第II編第2章⑨-1 排水構造物工」暗渠排水管により別途計上する。</p>	項目	代表機勞材規格		備考	機械	K1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（2011年規制）〕山積0.5m <sup>3</sup> （平積0.4m <sup>3</sup> ）	賃料	K2	振動ローラ（舗装用）〔搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型（第3次基準値）〕運転質量 3～4t	賃料	K3	—		R1	普通作業員		勞務	R2	特殊作業員		R3	土木一般世話役		R4	運転手（特殊）		材料	Z1	軽油 1.2号 バトロール給油		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		<p>現行どおり</p> <p>→</p> <p>現行どおり</p>	<p>(2) 代表機勞材規格 下表機勞材は、当該施工パッケージで使用されている機勞材の代表的な規格である。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <caption>表3.4 まき出し・敷均し、締固め 代表機勞材規格一覧</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機勞材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">機械</td> <td>K1</td> <td>バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（2011年規制）〕山積0.5m<sup>3</sup>（平積0.4m<sup>3</sup>）</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>振動ローラ（舗装用）〔搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型（第3次基準値）〕運転質量 3～4t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td><del>普通作業員</del>運転手（特殊）</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">勞務</td> <td>R2</td> <td><del>特殊作業員</del>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td><del>土木一般世話役</del>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td><del>運転手（特殊）</del>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>軽油 <del>4.2号</del> バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機勞材規格		備考	機械	K1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（2011年規制）〕山積0.5m <sup>3</sup> （平積0.4m <sup>3</sup> ）	賃料	K2	振動ローラ（舗装用）〔搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型（第3次基準値）〕運転質量 3～4t	賃料	K3	—		R1	<del>普通作業員</del> 運転手（特殊）		勞務	R2	<del>特殊作業員</del> 普通作業員		R3	<del>土木一般世話役</del> 特殊作業員		R4	<del>運転手（特殊）</del> 土木一般世話役		材料	Z1	軽油 <del>4.2号</del> バトロール給油		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		<p>記載の変更</p>
項目	代表機勞材規格		備考																																																																																								
機械	K1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（2011年規制）〕山積0.5m <sup>3</sup> （平積0.4m <sup>3</sup> ）	賃料																																																																																								
	K2	振動ローラ（舗装用）〔搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型（第3次基準値）〕運転質量 3～4t	賃料																																																																																								
	K3	—																																																																																									
	R1	普通作業員																																																																																									
勞務	R2	特殊作業員																																																																																									
	R3	土木一般世話役																																																																																									
	R4	運転手（特殊）																																																																																									
	材料	Z1	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																								
Z2		—																																																																																									
Z3		—																																																																																									
Z4		—																																																																																									
市場単価	S	—																																																																																									
項目	代表機勞材規格		備考																																																																																								
機械	K1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（2011年規制）〕山積0.5m <sup>3</sup> （平積0.4m <sup>3</sup> ）	賃料																																																																																								
	K2	振動ローラ（舗装用）〔搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型（第3次基準値）〕運転質量 3～4t	賃料																																																																																								
	K3	—																																																																																									
	R1	<del>普通作業員</del> 運転手（特殊）																																																																																									
勞務	R2	<del>特殊作業員</del> 普通作業員																																																																																									
	R3	<del>土木一般世話役</del> 特殊作業員																																																																																									
	R4	<del>運転手（特殊）</del> 土木一般世話役																																																																																									
	材料	Z1	軽油 <del>4.2号</del> バトロール給油																																																																																								
Z2		—																																																																																									
Z3		—																																																																																									
Z4		—																																																																																									
市場単価	S	—																																																																																									
II-2-⑧-4																																																																																											
積算上の注意事項			(控え頁) 1/1																																																																																								

改正理由	一部改正	改正 現行	備 考
	現 行	改 正	
	<p>(4) 管（函）渠型側溝、プレキャスト集水樹、プレキャストL型側溝、プレキャストマンホール</p>  <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 基礎砕石は、必要に応じて計上する。 3. プレキャスト集水樹は、蓋版の有無にかかわらず、本施工パッケージを適用出来る。</p> <p>(5) 鉄筋コンクリート台付管</p>  <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 基礎砕石の有無にかかわらず、本施工パッケージを適用出来る。</p> <p>(6) PC管</p>  <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 巻きコンクリートは、必要に応じて計上する。 3. 基礎砕石の有無にかかわらず、本施工パッケージを適用出来る。</p> <p>(7) コルゲートパイプ、コルゲートフレーム</p>  <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 基礎砕石、均しコンクリートは、必要に応じて計上する。</p> <p style="text-align: center;">II-2-⑩-4</p>	<p>(4) 管（函）渠型側溝、プレキャスト集水樹、プレキャストL型側溝、プレキャストマンホール</p> 	<p>記載の変更</p> <p>現行どおり</p>
積算上の注意事項			(控え頁) 1/6

改正理由	一部改正	改正 現 行	備 考																																																																						
現	行	改 正	備 考																																																																						
<p>3. 施工パッケージ</p> <p>3-1 ヒューム管 (B形管)</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;"><b>表3.1 ヒューム管(B形管) 積算条件区分一覧</b> (積算単位：m)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>管径</th> <th>固定基礎</th> <th>基礎碎石の有無</th> <th>規格</th> <th>生コンリート規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">据付</td> <td rowspan="6">(表 3.2)</td> <td rowspan="3">90° 巻き</td> <td rowspan="6">(表3.4)</td> <td>外圧管 1種</td> <td rowspan="6">(表3.5)</td> </tr> <tr> <td>外圧管 2種</td> </tr> <tr> <td>各種</td> </tr> <tr> <td>外圧管 1種</td> </tr> <tr> <td>外圧管 2種</td> </tr> <tr> <td>各種</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">180° 巻き</td> <td rowspan="3">—</td> <td rowspan="3">—</td> <td>外圧管 1種</td> </tr> <tr> <td>外圧管 2種</td> </tr> <tr> <td>各種</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">360° 巻き</td> <td rowspan="3">—</td> <td rowspan="3">—</td> <td>外圧管 1種</td> </tr> <tr> <td>外圧管 2種</td> </tr> <tr> <td>各種</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">(表 3.3)</td> <td rowspan="3">90° 巻き</td> <td rowspan="6">(表3.4)</td> <td rowspan="6">(表3.5)</td> <td>外圧管 1種</td> </tr> <tr> <td>外圧管 2種</td> </tr> <tr> <td>各種</td> </tr> <tr> <td>外圧管 1種</td> </tr> <tr> <td>外圧管 2種</td> </tr> <tr> <td>各種</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">180° 巻き</td> <td rowspan="3">—</td> <td rowspan="3">—</td> <td>外圧管 1種</td> </tr> <tr> <td>外圧管 2種</td> </tr> <tr> <td>各種</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">無し</td> <td rowspan="3">—</td> <td rowspan="3">—</td> <td>外圧管 1種</td> </tr> <tr> <td>外圧管 2種</td> </tr> <tr> <td>各種</td> </tr> <tr> <td>撤去</td> <td>(表 3.2) (表 3.3)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">据付・撤去</td> <td rowspan="2">(表 3.2) (表 3.3)</td> <td rowspan="2">—</td> <td rowspan="2">—</td> <td>外圧管 1種</td> <td rowspan="2">—</td> </tr> <tr> <td>外圧管 2種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>各種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、ヒューム管の設置、基礎碎石、鉄筋、ヒューム管の運搬距離 30m 程度までの現場内小運搬、コンクリートの 15m 以下の現場内小運搬、巻きコンクリート、型枠 (はく離材塗布及びびケレン作業を含む) の他、緊結用器具、コンクリートカット運転、目地モルタルの費用、ヒューム管損失分の費用、カットブレードの損耗費、レバーブロック損料等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費 (損料等を含む) を含む。</p> <p>2. 碎石、鉄筋、コンクリートの材料ロスを含む。標準ロス率は、鉄筋が+0.03、コンクリートが+0.06 とする。</p> <p>3. 基礎碎石の敷均し厚は、20 cm 以下を標準としており、これにより難い場合は別途考慮する。</p> <p>4. 基礎碎石は、材料の種類・規格にかかわらず適用出来る。</p> <p>5. 固定基礎無しは、基礎碎石を含まないため必要な場合は別途計上する。</p> <p>6. 撤去作業、据付・撤去作業は、ヒューム管のみを対象としている。</p> <p>7. コンクリートの養生は、一般養生及び特殊養生にかかわらず適用出来る。</p> <p>8. 基面整正は含まない。</p>		作業区分	管径	固定基礎	基礎碎石の有無	規格	生コンリート規格	据付	(表 3.2)	90° 巻き	(表3.4)	外圧管 1種	(表3.5)	外圧管 2種	各種	外圧管 1種	外圧管 2種	各種	180° 巻き	—	—	外圧管 1種	外圧管 2種	各種	360° 巻き	—	—	外圧管 1種	外圧管 2種	各種	(表 3.3)	90° 巻き	(表3.4)	(表3.5)	外圧管 1種	外圧管 2種	各種	外圧管 1種	外圧管 2種	各種	180° 巻き	—	—	外圧管 1種	外圧管 2種	各種	無し	—	—	外圧管 1種	外圧管 2種	各種	撤去	(表 3.2) (表 3.3)	—	—	—	—	据付・撤去	(表 3.2) (表 3.3)	—	—	外圧管 1種	—	外圧管 2種					各種		<p>現行どおり</p>	<p>記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)</p>
作業区分	管径	固定基礎	基礎碎石の有無	規格	生コンリート規格																																																																				
据付	(表 3.2)	90° 巻き	(表3.4)	外圧管 1種	(表3.5)																																																																				
				外圧管 2種																																																																					
				各種																																																																					
		外圧管 1種																																																																							
		外圧管 2種																																																																							
		各種																																																																							
	180° 巻き	—	—	外圧管 1種																																																																					
				外圧管 2種																																																																					
				各種																																																																					
	360° 巻き	—	—	外圧管 1種																																																																					
				外圧管 2種																																																																					
				各種																																																																					
(表 3.3)	90° 巻き	(表3.4)	(表3.5)	外圧管 1種																																																																					
				外圧管 2種																																																																					
				各種																																																																					
	外圧管 1種																																																																								
	外圧管 2種																																																																								
	各種																																																																								
180° 巻き	—	—	外圧管 1種																																																																						
			外圧管 2種																																																																						
			各種																																																																						
無し	—	—	外圧管 1種																																																																						
			外圧管 2種																																																																						
			各種																																																																						
撤去	(表 3.2) (表 3.3)	—	—	—	—																																																																				
据付・撤去	(表 3.2) (表 3.3)	—	—	外圧管 1種	—																																																																				
				外圧管 2種																																																																					
				各種																																																																					
積算上の注意事項	II-2-10-5		(控え頁) 2/6																																																																						

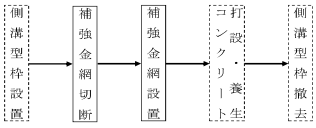
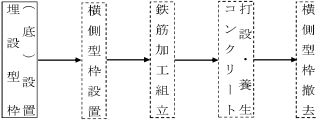
改 正 理 由	一 部 改 正	改 正 現 行	備 考																																																																																																																							
現	行	改	正																																																																																																																							
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;"><b>表3.6 ヒューム管(B形管) 代表機材規格一覧</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)]25t吊 バックホウ(クローラ型)[標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第1次基準値)] 山積0.45m3(平積0.35m3)吊能力2.9t</td> <td>・貨料 ・管径が1,100~1,350mmの場合  管径が200~1,000mmの場合</td> </tr> <tr> <td>K 2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 型わく工</td> <td>作業区分が据付で、固定基礎が有りの場合</td> </tr> <tr> <td>R 3 運転手(特殊)</td> <td>上記以外の場合</td> </tr> <tr> <td>R 4 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="27">材料</td> <td>Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径200mm×長さ2,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が200mmの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径250mm×長さ2,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が250mmの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径300mm×長さ2,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が300mmの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径350mm×長さ2,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が350mmの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径400mm×長さ2,430mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が400mmの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径450mm×長さ2,430mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が450mmの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径500mm×長さ2,430mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が500mmの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径600mm×長さ2,430mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が600mmの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径700mm×長さ2,430mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が700mmの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径800mm×長さ2,430mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が800mmの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径900mm×長さ2,430mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が900mmの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径1,000mm×長さ2,430mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が1,000mmの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径1,100mm×長さ2,430mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が1,100mmの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径1,200mm×長さ2,430mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が1,200mmの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径1,350mm×長さ2,430mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が1,350mmの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 2 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td> <td>作業区分が据付で、固定基礎が無い場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td>管径が200~1,000mmの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 4 鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13</td> <td>作業区分が据付で固定基礎が360°巻きの場合</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S 鉄筋工 加工・組立共 一般構造物</td> <td>作業区分が据付で固定基礎が360°巻きの場合</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">II-2-⑩-7</p>		項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)]25t吊 バックホウ(クローラ型)[標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第1次基準値)] 山積0.45m3(平積0.35m3)吊能力2.9t	・貨料 ・管径が1,100~1,350mmの場合  管径が200~1,000mmの場合	K 2 -		K 3 -		労務	R 1 普通作業員		R 2 型わく工	作業区分が据付で、固定基礎が有りの場合	R 3 運転手(特殊)	上記以外の場合	R 4 土木一般世話役		材料	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径200mm×長さ2,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が200mmの場合	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径250mm×長さ2,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が250mmの場合	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径300mm×長さ2,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が300mmの場合	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径350mm×長さ2,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が350mmの場合	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径400mm×長さ2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が400mmの場合	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径450mm×長さ2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が450mmの場合	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径500mm×長さ2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が500mmの場合	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径600mm×長さ2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が600mmの場合	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径700mm×長さ2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が700mmの場合	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径800mm×長さ2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が800mmの場合	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径900mm×長さ2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が900mmの場合	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径1,000mm×長さ2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が1,000mmの場合	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径1,100mm×長さ2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が1,100mmの場合	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径1,200mm×長さ2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が1,200mmの場合	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径1,350mm×長さ2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が1,350mmの場合	Z 2 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%	作業区分が据付で、固定基礎が無い場合	Z 3 軽油 1.2号 バトロール給油	管径が200~1,000mmの場合	Z 4 鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13	作業区分が据付で固定基礎が360°巻きの場合	市場単価	S 鉄筋工 加工・組立共 一般構造物	作業区分が据付で固定基礎が360°巻きの場合	<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;"><b>表3.6 ヒューム管(B形管) 代表機材規格一覧</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)]25t吊 バックホウ(クローラ型)[標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第1次基準値)] 山積0.45m3(平積0.35m3)吊能力2.9t</td> <td>・貨料 ・管径が1,100~1,350mmの場合  管径が200~1,000mmの場合</td> </tr> <tr> <td>K 2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 型わく工</td> <td>作業区分が据付で、固定基礎が有りの場合</td> </tr> <tr> <td>R 3 運転手(特殊)</td> <td>上記以外の場合</td> </tr> <tr> <td>R 4 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="27">材料</td> <td>Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径200mm×長さ2,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が200mmの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径250mm×長さ2,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が250mmの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径300mm×長さ2,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が300mmの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径350mm×長さ2,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が350mmの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径400mm×長さ2,430mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が400mmの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径450mm×長さ2,430mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が450mmの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径500mm×長さ2,430mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が500mmの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径600mm×長さ2,430mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が600mmの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径700mm×長さ2,430mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が700mmの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径800mm×長さ2,430mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が800mmの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径900mm×長さ2,430mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が900mmの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径1,000mm×長さ2,430mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が1,000mmの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径1,100mm×長さ2,430mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が1,100mmの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径1,200mm×長さ2,430mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が1,200mmの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径1,350mm×長さ2,430mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が1,350mmの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 2 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td> <td>作業区分が据付で、固定基礎が無い場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3 軽油 <del>1.2号</del> バトロール給油</td> <td>管径が200~1,000mmの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 4 鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13</td> <td>作業区分が据付で固定基礎が360°巻きの場合</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S 鉄筋工 加工・組立共 一般構造物</td> <td>作業区分が据付で固定基礎が360°巻きの場合</td> </tr> </tbody> </table>		項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)]25t吊 バックホウ(クローラ型)[標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第1次基準値)] 山積0.45m3(平積0.35m3)吊能力2.9t	・貨料 ・管径が1,100~1,350mmの場合  管径が200~1,000mmの場合	K 2 -		K 3 -		労務	R 1 普通作業員		R 2 型わく工	作業区分が据付で、固定基礎が有りの場合	R 3 運転手(特殊)	上記以外の場合	R 4 土木一般世話役		材料	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径200mm×長さ2,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が200mmの場合	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径250mm×長さ2,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が250mmの場合	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径300mm×長さ2,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が300mmの場合	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径350mm×長さ2,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が350mmの場合	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径400mm×長さ2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が400mmの場合	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径450mm×長さ2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が450mmの場合	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径500mm×長さ2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が500mmの場合	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径600mm×長さ2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が600mmの場合	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径700mm×長さ2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が700mmの場合	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径800mm×長さ2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が800mmの場合	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径900mm×長さ2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が900mmの場合	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径1,000mm×長さ2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が1,000mmの場合	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径1,100mm×長さ2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が1,100mmの場合	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径1,200mm×長さ2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が1,200mmの場合	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径1,350mm×長さ2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が1,350mmの場合	Z 2 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%	作業区分が据付で、固定基礎が無い場合	Z 3 軽油 <del>1.2号</del> バトロール給油	管径が200~1,000mmの場合	Z 4 鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13	作業区分が据付で固定基礎が360°巻きの場合	市場単価	S 鉄筋工 加工・組立共 一般構造物	作業区分が据付で固定基礎が360°巻きの場合	記載の修正
項目	代表機材規格	備考																																																																																																																								
機械	K 1 ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)]25t吊 バックホウ(クローラ型)[標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第1次基準値)] 山積0.45m3(平積0.35m3)吊能力2.9t	・貨料 ・管径が1,100~1,350mmの場合  管径が200~1,000mmの場合																																																																																																																								
	K 2 -																																																																																																																									
	K 3 -																																																																																																																									
労務	R 1 普通作業員																																																																																																																									
	R 2 型わく工	作業区分が据付で、固定基礎が有りの場合																																																																																																																								
	R 3 運転手(特殊)	上記以外の場合																																																																																																																								
	R 4 土木一般世話役																																																																																																																									
材料	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径200mm×長さ2,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が200mmの場合																																																																																																																								
	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径250mm×長さ2,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が250mmの場合																																																																																																																								
	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径300mm×長さ2,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が300mmの場合																																																																																																																								
	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径350mm×長さ2,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が350mmの場合																																																																																																																								
	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径400mm×長さ2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が400mmの場合																																																																																																																								
	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径450mm×長さ2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が450mmの場合																																																																																																																								
	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径500mm×長さ2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が500mmの場合																																																																																																																								
	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径600mm×長さ2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が600mmの場合																																																																																																																								
	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径700mm×長さ2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が700mmの場合																																																																																																																								
	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径800mm×長さ2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が800mmの場合																																																																																																																								
	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径900mm×長さ2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が900mmの場合																																																																																																																								
	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径1,000mm×長さ2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が1,000mmの場合																																																																																																																								
	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径1,100mm×長さ2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が1,100mmの場合																																																																																																																								
	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径1,200mm×長さ2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が1,200mmの場合																																																																																																																								
	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径1,350mm×長さ2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が1,350mmの場合																																																																																																																								
	Z 2 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%	作業区分が据付で、固定基礎が無い場合																																																																																																																								
	Z 3 軽油 1.2号 バトロール給油	管径が200~1,000mmの場合																																																																																																																								
	Z 4 鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13	作業区分が据付で固定基礎が360°巻きの場合																																																																																																																								
	市場単価	S 鉄筋工 加工・組立共 一般構造物	作業区分が据付で固定基礎が360°巻きの場合																																																																																																																							
	項目	代表機材規格	備考																																																																																																																							
	機械	K 1 ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)]25t吊 バックホウ(クローラ型)[標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第1次基準値)] 山積0.45m3(平積0.35m3)吊能力2.9t	・貨料 ・管径が1,100~1,350mmの場合  管径が200~1,000mmの場合																																																																																																																							
		K 2 -																																																																																																																								
		K 3 -																																																																																																																								
	労務	R 1 普通作業員																																																																																																																								
		R 2 型わく工	作業区分が据付で、固定基礎が有りの場合																																																																																																																							
		R 3 運転手(特殊)	上記以外の場合																																																																																																																							
		R 4 土木一般世話役																																																																																																																								
材料	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径200mm×長さ2,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が200mmの場合																																																																																																																								
	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径250mm×長さ2,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が250mmの場合																																																																																																																								
	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径300mm×長さ2,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が300mmの場合																																																																																																																								
	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径350mm×長さ2,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が350mmの場合																																																																																																																								
	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径400mm×長さ2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が400mmの場合																																																																																																																								
	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径450mm×長さ2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が450mmの場合																																																																																																																								
	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径500mm×長さ2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が500mmの場合																																																																																																																								
	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径600mm×長さ2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が600mmの場合																																																																																																																								
	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径700mm×長さ2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が700mmの場合																																																																																																																								
	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径800mm×長さ2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が800mmの場合																																																																																																																								
	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径900mm×長さ2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が900mmの場合																																																																																																																								
	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径1,000mm×長さ2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が1,000mmの場合																																																																																																																								
	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径1,100mm×長さ2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が1,100mmの場合																																																																																																																								
	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径1,200mm×長さ2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が1,200mmの場合																																																																																																																								
	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形1種 径1,350mm×長さ2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が1,350mmの場合																																																																																																																								
	Z 2 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%	作業区分が据付で、固定基礎が無い場合																																																																																																																								
	Z 3 軽油 <del>1.2号</del> バトロール給油	管径が200~1,000mmの場合																																																																																																																								
	Z 4 鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13	作業区分が据付で固定基礎が360°巻きの場合																																																																																																																								
	市場単価	S 鉄筋工 加工・組立共 一般構造物	作業区分が据付で固定基礎が360°巻きの場合																																																																																																																							
	積算上の注意事項			(控え頁) 3 / 6																																																																																																																						

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正 現 行	備 考																																																																										
現	行	改 正	備 考																																																																										
<p>(2) 代表機材規格 下表機材材は、当該施工パッケージで使用されている機材材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;"><b>表3. 22 鉄筋コンクリート台付管 代表機材材規格一覧</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第2次基準値)〕25t吊 バックホウ(クローラ型)〔標準型・クレーン機能付・ 排出ガス対策型(第1次基準値)〕 山積0.45m3(平積0.35m3)吊能力2.9t</td> <td>・賃料 ・管径が900～1,200mmの場合  管径が200～800mmの場合</td> </tr> <tr> <td>K 2 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 運転手(特殊)</td> <td>管径が200～800mmの場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">材料</td> <td>鉄筋コンクリート台付管(バイコン台付管) 管径300mm×長さ2,000mm</td> <td>・1m当たり0.5本 ・作業区分が据付又は据付・撤去 で、管径が200～300mmの場合</td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート台付管(バイコン台付管) 管径450mm×長さ2,500mm</td> <td>・1m当たり0.4本 ・作業区分が据付又は据付・撤去 で、管径が350～500mmの場合</td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート台付管(バイコン台付管) 管径600mm×長さ2,500mm</td> <td>・1m当たり0.4本 ・作業区分が据付又は据付・撤去 で、管径が600～800mmの場合</td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート台付管(バイコン台付管) 管径1,000mm×長さ2,500mm</td> <td>・1m当たり0.4本 ・作業区分が据付又は据付・撤去 で、管径が900～1,200mmの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 2 軽油1.2号 バトロール給油</td> <td>管径が200～800mmの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S —</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		項目	代表機材材規格	備考	機械	K 1 ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第2次基準値)〕25t吊 バックホウ(クローラ型)〔標準型・クレーン機能付・ 排出ガス対策型(第1次基準値)〕 山積0.45m3(平積0.35m3)吊能力2.9t	・賃料 ・管径が900～1,200mmの場合  管径が200～800mmの場合	K 2 —		K 3 —		労務	R 1 普通作業員		R 2 土木一般世話役		R 3 特殊作業員		R 4 運転手(特殊)	管径が200～800mmの場合	材料	鉄筋コンクリート台付管(バイコン台付管) 管径300mm×長さ2,000mm	・1m当たり0.5本 ・作業区分が据付又は据付・撤去 で、管径が200～300mmの場合	鉄筋コンクリート台付管(バイコン台付管) 管径450mm×長さ2,500mm	・1m当たり0.4本 ・作業区分が据付又は据付・撤去 で、管径が350～500mmの場合	鉄筋コンクリート台付管(バイコン台付管) 管径600mm×長さ2,500mm	・1m当たり0.4本 ・作業区分が据付又は据付・撤去 で、管径が600～800mmの場合	鉄筋コンクリート台付管(バイコン台付管) 管径1,000mm×長さ2,500mm	・1m当たり0.4本 ・作業区分が据付又は据付・撤去 で、管径が900～1,200mmの場合	Z 2 軽油1.2号 バトロール給油	管径が200～800mmの場合	Z 3 —		Z 4 —		市場単価	S —		<p>(2) 代表機材規格 下表機材材は、当該施工パッケージで使用されている機材材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;"><b>表3. 22 鉄筋コンクリート台付管 代表機材材規格一覧</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第2次基準値)〕25t吊 バックホウ(クローラ型)〔標準型・クレーン機能付・ 排出ガス対策型(第1次基準値)〕 山積0.45m3(平積0.35m3)吊能力2.9t</td> <td>・賃料 ・管径が900～1,200mmの場合  管径が200～800mmの場合</td> </tr> <tr> <td>K 2 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 <del>土木一般世話役(特殊)</del></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 <del>特殊作業員(土木一般世話役)</del></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 <del>運転手(特殊)</del>・特殊作業員</td> <td>管径が200～800mmの場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">材料</td> <td>鉄筋コンクリート台付管(バイコン台付管) 管径300mm×長さ2,000mm</td> <td>・1m当たり0.5本 ・作業区分が据付又は据付・撤去 で、管径が200～300mmの場合</td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート台付管(バイコン台付管) 管径450mm×長さ2,500mm</td> <td>・1m当たり0.4本 ・作業区分が据付又は据付・撤去 で、管径が350～500mmの場合</td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート台付管(バイコン台付管) 管径600mm×長さ2,500mm</td> <td>・1m当たり0.4本 ・作業区分が据付又は据付・撤去 で、管径が600～800mmの場合</td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート台付管(バイコン台付管) 管径1,000mm×長さ2,500mm</td> <td>・1m当たり0.4本 ・作業区分が据付又は据付・撤去 で、管径が900～1,200mmの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 2 軽油 <del>1.2号</del> バトロール給油</td> <td>管径が200～800mmの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S —</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材材規格	備考	機械	K 1 ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第2次基準値)〕25t吊 バックホウ(クローラ型)〔標準型・クレーン機能付・ 排出ガス対策型(第1次基準値)〕 山積0.45m3(平積0.35m3)吊能力2.9t	・賃料 ・管径が900～1,200mmの場合  管径が200～800mmの場合	K 2 —		K 3 —		労務	R 1 普通作業員		R 2 <del>土木一般世話役(特殊)</del>		R 3 <del>特殊作業員(土木一般世話役)</del>		R 4 <del>運転手(特殊)</del> ・特殊作業員	管径が200～800mmの場合	材料	鉄筋コンクリート台付管(バイコン台付管) 管径300mm×長さ2,000mm	・1m当たり0.5本 ・作業区分が据付又は据付・撤去 で、管径が200～300mmの場合	鉄筋コンクリート台付管(バイコン台付管) 管径450mm×長さ2,500mm	・1m当たり0.4本 ・作業区分が据付又は据付・撤去 で、管径が350～500mmの場合	鉄筋コンクリート台付管(バイコン台付管) 管径600mm×長さ2,500mm	・1m当たり0.4本 ・作業区分が据付又は据付・撤去 で、管径が600～800mmの場合	鉄筋コンクリート台付管(バイコン台付管) 管径1,000mm×長さ2,500mm	・1m当たり0.4本 ・作業区分が据付又は据付・撤去 で、管径が900～1,200mmの場合	Z 2 軽油 <del>1.2号</del> バトロール給油	管径が200～800mmの場合	Z 3 —		Z 4 —		市場単価	S —		<p>→</p> <p style="text-align: center;">記載の変更</p>
項目	代表機材材規格	備考																																																																											
機械	K 1 ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第2次基準値)〕25t吊 バックホウ(クローラ型)〔標準型・クレーン機能付・ 排出ガス対策型(第1次基準値)〕 山積0.45m3(平積0.35m3)吊能力2.9t	・賃料 ・管径が900～1,200mmの場合  管径が200～800mmの場合																																																																											
	K 2 —																																																																												
	K 3 —																																																																												
労務	R 1 普通作業員																																																																												
	R 2 土木一般世話役																																																																												
	R 3 特殊作業員																																																																												
	R 4 運転手(特殊)	管径が200～800mmの場合																																																																											
材料	鉄筋コンクリート台付管(バイコン台付管) 管径300mm×長さ2,000mm	・1m当たり0.5本 ・作業区分が据付又は据付・撤去 で、管径が200～300mmの場合																																																																											
	鉄筋コンクリート台付管(バイコン台付管) 管径450mm×長さ2,500mm	・1m当たり0.4本 ・作業区分が据付又は据付・撤去 で、管径が350～500mmの場合																																																																											
	鉄筋コンクリート台付管(バイコン台付管) 管径600mm×長さ2,500mm	・1m当たり0.4本 ・作業区分が据付又は据付・撤去 で、管径が600～800mmの場合																																																																											
	鉄筋コンクリート台付管(バイコン台付管) 管径1,000mm×長さ2,500mm	・1m当たり0.4本 ・作業区分が据付又は据付・撤去 で、管径が900～1,200mmの場合																																																																											
	Z 2 軽油1.2号 バトロール給油	管径が200～800mmの場合																																																																											
	Z 3 —																																																																												
	Z 4 —																																																																												
市場単価	S —																																																																												
項目	代表機材材規格	備考																																																																											
機械	K 1 ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第2次基準値)〕25t吊 バックホウ(クローラ型)〔標準型・クレーン機能付・ 排出ガス対策型(第1次基準値)〕 山積0.45m3(平積0.35m3)吊能力2.9t	・賃料 ・管径が900～1,200mmの場合  管径が200～800mmの場合																																																																											
	K 2 —																																																																												
	K 3 —																																																																												
労務	R 1 普通作業員																																																																												
	R 2 <del>土木一般世話役(特殊)</del>																																																																												
	R 3 <del>特殊作業員(土木一般世話役)</del>																																																																												
	R 4 <del>運転手(特殊)</del> ・特殊作業員	管径が200～800mmの場合																																																																											
材料	鉄筋コンクリート台付管(バイコン台付管) 管径300mm×長さ2,000mm	・1m当たり0.5本 ・作業区分が据付又は据付・撤去 で、管径が200～300mmの場合																																																																											
	鉄筋コンクリート台付管(バイコン台付管) 管径450mm×長さ2,500mm	・1m当たり0.4本 ・作業区分が据付又は据付・撤去 で、管径が350～500mmの場合																																																																											
	鉄筋コンクリート台付管(バイコン台付管) 管径600mm×長さ2,500mm	・1m当たり0.4本 ・作業区分が据付又は据付・撤去 で、管径が600～800mmの場合																																																																											
	鉄筋コンクリート台付管(バイコン台付管) 管径1,000mm×長さ2,500mm	・1m当たり0.4本 ・作業区分が据付又は据付・撤去 で、管径が900～1,200mmの場合																																																																											
	Z 2 軽油 <del>1.2号</del> バトロール給油	管径が200～800mmの場合																																																																											
	Z 3 —																																																																												
	Z 4 —																																																																												
市場単価	S —																																																																												
II-2-⑩-19																																																																													
積算上の注意事項			(控え頁) 4/6																																																																										

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正 現 行	備 考																																																														
現	行	改 正	備 考																																																														
	<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;"><b>表3.27 プレキャストマンホール 代表機材規格一覧</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 バックホウ（クローラ型）〔標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型（第1次基準値）〕 山積0.45m<sup>3</sup>（平積0.35m<sup>3</sup>） 吊能力2.9t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 2 ー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3 ー</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 運転手（特殊）</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="6">材料</td> <td>Z 1 下記の材料を各1個ずつ組み合わせて1つの代表材料とする。 ・下水道用マンホールふたφ600mm浮上防止型かぎ付 T-25 ・調整リング 600×50 ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種（斜壁600×750×300mm） ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種（直壁750×300mm） ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種（管取付け壁750×600mm） ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種（底版）</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去、製品質量が2,000kg/基以下の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 2 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3 ー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4 ー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S ー</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 バックホウ（クローラ型）〔標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型（第1次基準値）〕 山積0.45m <sup>3</sup> （平積0.35m <sup>3</sup> ） 吊能力2.9t		K 2 ー		K 3 ー		労務	R 1 普通作業員		R 2 土木一般世話役		R 3 特殊作業員		R 4 運転手（特殊）		材料	Z 1 下記の材料を各1個ずつ組み合わせて1つの代表材料とする。 ・下水道用マンホールふたφ600mm浮上防止型かぎ付 T-25 ・調整リング 600×50 ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種（斜壁600×750×300mm） ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種（直壁750×300mm） ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種（管取付け壁750×600mm） ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種（底版）	作業区分が据付又は据付・撤去、製品質量が2,000kg/基以下の場合	Z 2 軽油 1.2号 バトロール給油		Z 3 ー		Z 4 ー		市場単価	S ー		<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;"><b>表3.27 プレキャストマンホール 代表機材規格一覧</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 バックホウ（クローラ型）〔標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型（第1次基準値）〕 山積0.45m<sup>3</sup>（平積0.35m<sup>3</sup>） 吊能力2.9t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 2 ー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3 ー</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 <del>特殊作業員（特殊）</del></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 <del>運転手（特殊）</del> 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="6">材料</td> <td>Z 1 下記の材料を各1個ずつ組み合わせて1つの代表材料とする。 ・下水道用マンホールふたφ600mm浮上防止型かぎ付 T-25 ・調整リング 600×50 ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種（斜壁600×750×300mm） ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種（直壁750×300mm） ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種（管取付け壁750×600mm） ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種（底版）</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去、製品質量が2,000kg/基以下の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 2 軽油 <del>1.2号</del> バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3 ー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4 ー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S ー</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 バックホウ（クローラ型）〔標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型（第1次基準値）〕 山積0.45m <sup>3</sup> （平積0.35m <sup>3</sup> ） 吊能力2.9t		K 2 ー		K 3 ー		労務	R 1 普通作業員		R 2 土木一般世話役		R 3 <del>特殊作業員（特殊）</del>		R 4 <del>運転手（特殊）</del> 特殊作業員		材料	Z 1 下記の材料を各1個ずつ組み合わせて1つの代表材料とする。 ・下水道用マンホールふたφ600mm浮上防止型かぎ付 T-25 ・調整リング 600×50 ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種（斜壁600×750×300mm） ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種（直壁750×300mm） ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種（管取付け壁750×600mm） ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種（底版）	作業区分が据付又は据付・撤去、製品質量が2,000kg/基以下の場合	Z 2 軽油 <del>1.2号</del> バトロール給油		Z 3 ー		Z 4 ー		市場単価	S ー		記載の変更
項目	代表機材規格	備考																																																															
機械	K 1 バックホウ（クローラ型）〔標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型（第1次基準値）〕 山積0.45m <sup>3</sup> （平積0.35m <sup>3</sup> ） 吊能力2.9t																																																																
	K 2 ー																																																																
	K 3 ー																																																																
労務	R 1 普通作業員																																																																
	R 2 土木一般世話役																																																																
	R 3 特殊作業員																																																																
	R 4 運転手（特殊）																																																																
材料	Z 1 下記の材料を各1個ずつ組み合わせて1つの代表材料とする。 ・下水道用マンホールふたφ600mm浮上防止型かぎ付 T-25 ・調整リング 600×50 ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種（斜壁600×750×300mm） ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種（直壁750×300mm） ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種（管取付け壁750×600mm） ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種（底版）	作業区分が据付又は据付・撤去、製品質量が2,000kg/基以下の場合																																																															
	Z 2 軽油 1.2号 バトロール給油																																																																
	Z 3 ー																																																																
	Z 4 ー																																																																
	市場単価	S ー																																																															
	項目	代表機材規格	備考																																																														
機械	K 1 バックホウ（クローラ型）〔標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型（第1次基準値）〕 山積0.45m <sup>3</sup> （平積0.35m <sup>3</sup> ） 吊能力2.9t																																																																
	K 2 ー																																																																
	K 3 ー																																																																
労務	R 1 普通作業員																																																																
	R 2 土木一般世話役																																																																
	R 3 <del>特殊作業員（特殊）</del>																																																																
	R 4 <del>運転手（特殊）</del> 特殊作業員																																																																
材料	Z 1 下記の材料を各1個ずつ組み合わせて1つの代表材料とする。 ・下水道用マンホールふたφ600mm浮上防止型かぎ付 T-25 ・調整リング 600×50 ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種（斜壁600×750×300mm） ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種（直壁750×300mm） ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種（管取付け壁750×600mm） ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種（底版）	作業区分が据付又は据付・撤去、製品質量が2,000kg/基以下の場合																																																															
	Z 2 軽油 <del>1.2号</del> バトロール給油																																																																
	Z 3 ー																																																																
	Z 4 ー																																																																
	市場単価	S ー																																																															
	積算上の注意事項			(控え頁) 5/6																																																													



改正理由	一部改正	改 正 <hr/> 現 行																																																																																				
現 行		改 正																																																																																				
		備 考																																																																																				
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;"><b>表3.30 PC管 代表機材規格一覧</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">機械</td> <td>トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕4.9t 吊</td> <td>・賃料 ・管径が600mmの場合</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕16t 吊</td> <td>・賃料 ・管径が700mm～1,350mmの場合</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕20t 吊</td> <td>・賃料 ・管径が1,500mm～1,650mmの場合</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕25t 吊</td> <td>・賃料 ・管径が1,800mmの場合</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕35t 吊</td> <td>・賃料 ・作業区分が撤去、管径が2,000mmの場合</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>バックホウ(クローラ型)〔標準型・排出ガス対策型(2011年規制)〕山積0.8m<sup>3</sup>(平積0.6m<sup>3</sup>)</td> <td>・賃料 ・作業区分が据付の場合</td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>バックホウ(クローラ型)〔標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2011年規制)〕山積0.8m<sup>3</sup>(平積0.6m<sup>3</sup>) 吊能力2.9t</td> <td>・賃料 ・管径が1,350mm～1,800mm、固定基礎が180°巻きの場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 型わく工</td> <td>固定基礎が有る場合</td> </tr> <tr> <td>R 3 運転手(特殊)</td> <td>上記以外の場合</td> </tr> <tr> <td>R 4 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td> <td>固定基礎が有る場合</td> </tr> <tr> <td>Z 2 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		項目	代表機材規格	備考	機械	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕4.9t 吊	・賃料 ・管径が600mmの場合	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕16t 吊	・賃料 ・管径が700mm～1,350mmの場合	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕20t 吊	・賃料 ・管径が1,500mm～1,650mmの場合	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕25t 吊	・賃料 ・管径が1,800mmの場合	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕35t 吊	・賃料 ・作業区分が撤去、管径が2,000mmの場合	K 2	バックホウ(クローラ型)〔標準型・排出ガス対策型(2011年規制)〕山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> )	・賃料 ・作業区分が据付の場合	K 3	バックホウ(クローラ型)〔標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2011年規制)〕山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> ) 吊能力2.9t	・賃料 ・管径が1,350mm～1,800mm、固定基礎が180°巻きの場合	労務	R 1 普通作業員		R 2 型わく工	固定基礎が有る場合	R 3 運転手(特殊)	上記以外の場合	R 4 土木一般世話役		材料	Z 1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%	固定基礎が有る場合	Z 2 軽油 1.2号 バトロール給油		Z 3		Z 4		市場単価	S		→	<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;"><b>表3.30 PC管 代表機材規格一覧</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">機械</td> <td>トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕4.9t 吊</td> <td>・賃料 ・管径が600mmの場合</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕16t 吊</td> <td>・賃料 ・管径が700mm～1,350mmの場合</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕20t 吊</td> <td>・賃料 ・管径が1,500mm～1,650mmの場合</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕25t 吊</td> <td>・賃料 ・管径が1,800mmの場合</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕35t 吊</td> <td>・賃料 ・作業区分が撤去、管径が2,000mmの場合</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>バックホウ(クローラ型)〔標準型・排出ガス対策型(2014年規制)〕山積0.8m<sup>3</sup>(平積0.6m<sup>3</sup>)</td> <td>・賃料 ・作業区分が据付の場合</td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>バックホウ(クローラ型)〔標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2011年規制)〕山積0.8m<sup>3</sup>(平積0.6m<sup>3</sup>) 吊能力2.9t</td> <td>・賃料 ・管径が1,350mm～1,800mm、固定基礎が180°巻きの場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 型わく工</td> <td>固定基礎が有る場合</td> </tr> <tr> <td>R 3 土木一般世話役</td> <td>上記以外の場合</td> </tr> <tr> <td>R 4 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td> <td>固定基礎が有る場合</td> </tr> <tr> <td>Z 2 軽油 <del>1.2号</del> バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格	備考	機械	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕4.9t 吊	・賃料 ・管径が600mmの場合	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕16t 吊	・賃料 ・管径が700mm～1,350mmの場合	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕20t 吊	・賃料 ・管径が1,500mm～1,650mmの場合	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕25t 吊	・賃料 ・管径が1,800mmの場合	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕35t 吊	・賃料 ・作業区分が撤去、管径が2,000mmの場合	K 2	バックホウ(クローラ型)〔標準型・排出ガス対策型(2014年規制)〕山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> )	・賃料 ・作業区分が据付の場合	K 3	バックホウ(クローラ型)〔標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2011年規制)〕山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> ) 吊能力2.9t	・賃料 ・管径が1,350mm～1,800mm、固定基礎が180°巻きの場合	労務	R 1 普通作業員		R 2 型わく工	固定基礎が有る場合	R 3 土木一般世話役	上記以外の場合	R 4 特殊作業員		材料	Z 1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%	固定基礎が有る場合	Z 2 軽油 <del>1.2号</del> バトロール給油		Z 3		Z 4		市場単価	S		記載の変更
項目	代表機材規格	備考																																																																																				
機械	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕4.9t 吊	・賃料 ・管径が600mmの場合																																																																																				
	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕16t 吊	・賃料 ・管径が700mm～1,350mmの場合																																																																																				
	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕20t 吊	・賃料 ・管径が1,500mm～1,650mmの場合																																																																																				
	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕25t 吊	・賃料 ・管径が1,800mmの場合																																																																																				
	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕35t 吊	・賃料 ・作業区分が撤去、管径が2,000mmの場合																																																																																				
K 2	バックホウ(クローラ型)〔標準型・排出ガス対策型(2011年規制)〕山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> )	・賃料 ・作業区分が据付の場合																																																																																				
K 3	バックホウ(クローラ型)〔標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2011年規制)〕山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> ) 吊能力2.9t	・賃料 ・管径が1,350mm～1,800mm、固定基礎が180°巻きの場合																																																																																				
労務	R 1 普通作業員																																																																																					
	R 2 型わく工	固定基礎が有る場合																																																																																				
	R 3 運転手(特殊)	上記以外の場合																																																																																				
	R 4 土木一般世話役																																																																																					
材料	Z 1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%	固定基礎が有る場合																																																																																				
	Z 2 軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																					
	Z 3																																																																																					
	Z 4																																																																																					
市場単価	S																																																																																					
項目	代表機材規格	備考																																																																																				
機械	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕4.9t 吊	・賃料 ・管径が600mmの場合																																																																																				
	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕16t 吊	・賃料 ・管径が700mm～1,350mmの場合																																																																																				
	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕20t 吊	・賃料 ・管径が1,500mm～1,650mmの場合																																																																																				
	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕25t 吊	・賃料 ・管径が1,800mmの場合																																																																																				
	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕35t 吊	・賃料 ・作業区分が撤去、管径が2,000mmの場合																																																																																				
K 2	バックホウ(クローラ型)〔標準型・排出ガス対策型(2014年規制)〕山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> )	・賃料 ・作業区分が据付の場合																																																																																				
K 3	バックホウ(クローラ型)〔標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2011年規制)〕山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> ) 吊能力2.9t	・賃料 ・管径が1,350mm～1,800mm、固定基礎が180°巻きの場合																																																																																				
労務	R 1 普通作業員																																																																																					
	R 2 型わく工	固定基礎が有る場合																																																																																				
	R 3 土木一般世話役	上記以外の場合																																																																																				
	R 4 特殊作業員																																																																																					
材料	Z 1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%	固定基礎が有る場合																																																																																				
	Z 2 軽油 <del>1.2号</del> バトロール給油																																																																																					
	Z 3																																																																																					
	Z 4																																																																																					
市場単価	S																																																																																					
積算上の注意事項	II-2-⑩-24		(控え頁) 6/6																																																																																			

改正理由	廃止	改正 現行								
現 行	改 正		備 考							
<p>⑩-2 排水構造物工(溶接金網及び埋設鋼板型枠)</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、溶接金網（現場打側溝蓋補強用）の設置作業、及び埋設鋼板型枠（現場打側溝蓋用）の設置作業に適用する。</p> <p>2. 施工概要 2-1 施工フロー 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>(1) 溶接金網（現場打側溝蓋補強用）設置</p>  <p>(2) 埋設鋼板型枠（現場打側溝蓋用）設置</p>  <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分である。</p> <p>3. 施工歩掛 3-1 溶接金網（現場打側溝蓋補強用）設置歩掛 溶接金網（現場打側溝蓋補強用）設置歩掛は次表を標準とする。 なお、本歩掛は、側溝上で蓋板を現場打ちする場合に蓋板内に補強のために入れる溶接金網の設置に適用する。</p> <p><b>表3.1 溶接金網(現場打側溝蓋補強用) 設置歩掛 (100㎡当り)</b></p> <table border="1" data-bbox="421 1058 824 1102"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td>0.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、側溝幅 50 cm 程度の場合に適用する。 2. 現場内小運搬・切断は上記歩掛に含まれる。 3. 持上高が 2 m 以上の場合は別途考慮する。 4. 溶接金網の使用数量は次式とする。 使用数量 (㎡) = 設計数量 (㎡) × (1 + K<sub>1</sub>) ……式 3.1 K<sub>1</sub>: ロス率</p> <p><b>表3.2 ロス率(K<sub>1</sub>)</b></p> <table border="1" data-bbox="533 1254 745 1278"> <tr> <td>ロス率</td> <td>+0.05</td> </tr> </table> <p>II-2-⑩-35</p>	名 称	単 位	数 量	普通作業員	人	0.2	ロス率	+0.05	<p>削除</p>	<p>歩掛りの廃止</p>
名 称	単 位	数 量								
普通作業員	人	0.2								
ロス率	+0.05									
積算上の注意事項			<p>(控え頁)</p> <p>1/3</p>							

改正理由	廃止	改正 現行	備考																																																																																
	<p>3-2 埋設鋼板型枠（現場打側溝蓋用）設置歩掛 埋設鋼板型枠（現場打側溝蓋用）設置歩掛は次表を標準とする。 なお、本歩掛は、側溝上で蓋板を現場打ちする場合に、底型枠として支保工を使用しない埋設鋼板型枠の設置に適用する。</p> <p style="text-align: center;">(参考図)</p> <p style="text-align: center;">→ 削除</p> <p><b>表3.3 埋設鋼板型枠(現場打側溝蓋用)設置歩掛 (100㎡当り)</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td>0.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 現場内小運搬・切断は上記歩掛に含まれる。 2. 持上高が2m以上の場合は別途考慮する。 3. 鋼板型枠は厚さ1.2mm程度とし、使用数量は次式とする。 使用数量(㎡) = 設計数量(㎡) × (1 + K<sub>2</sub>) ……式3.2 K<sub>2</sub>: ロス率</p> <p style="text-align: center;"><b>表3.4 ロス率(K<sub>2</sub>)</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ロ ス 率</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>+0.05</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>4. 単 価 表</b></p> <p>(1) 溶接金網（現場打側溝蓋補強用）設置 100㎡当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>施 工 歩 掛 コー ド</th> <th>WB222920</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.2</td> <td></td> <td></td> <td>表3.1</td> </tr> <tr> <td>溶接金網</td> <td></td> <td>㎡</td> <td>105</td> <td></td> <td></td> <td>式3.1, 表3.2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 埋設鋼板型枠（現場打側溝蓋用）設置 100㎡当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>施 工 歩 掛 コー ド</th> <th>WB222930</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.7</td> <td></td> <td></td> <td>表3.3</td> </tr> <tr> <td>埋設鋼板型枠</td> <td></td> <td>㎡</td> <td>105</td> <td></td> <td></td> <td>式3.2, 表3.4</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">II-2-⑩-36</p>	名 称	単 位	数 量	普通作業員	人	0.7	ロ ス 率			+0.05	名 称	規 格	単 位	数 量	施 工 歩 掛 コー ド	WB222920	摘 要	普通作業員		人	0.2			表3.1	溶接金網		㎡	105			式3.1, 表3.2	諸 雑 費			1				計							名 称	規 格	単 位	数 量	施 工 歩 掛 コー ド	WB222930	摘 要	普通作業員		人	0.7			表3.3	埋設鋼板型枠		㎡	105			式3.2, 表3.4	諸 雑 費			1				計								歩掛りの廃止
名 称	単 位	数 量																																																																																	
普通作業員	人	0.7																																																																																	
ロ ス 率																																																																																			
	+0.05																																																																																		
名 称	規 格	単 位	数 量	施 工 歩 掛 コー ド	WB222920	摘 要																																																																													
普通作業員		人	0.2			表3.1																																																																													
溶接金網		㎡	105			式3.1, 表3.2																																																																													
諸 雑 費			1																																																																																
計																																																																																			
名 称	規 格	単 位	数 量	施 工 歩 掛 コー ド	WB222930	摘 要																																																																													
普通作業員		人	0.7			表3.3																																																																													
埋設鋼板型枠		㎡	105			式3.2, 表3.4																																																																													
諸 雑 費			1																																																																																
計																																																																																			
積算上の注意事項			(控え頁) 2/3																																																																																

工 種	排水構造物工(溶接金網及び埋設鋼板型枠)
-----	----------------------

改正理由	廃止	改正 現行		
現 行		改 正		備 考
	<p>5. 施工単価入力基準表</p> <p>(1) 溶接金網(現場打側溝蓋補強用)設置</p> <p>施工歩掛コード <input type="text" value="WB222920"/> 施工単位 <input type="text" value="㎡"/></p> <p>(注)1. 溶接金網単価(Y-0140000) [円/㎡] を単価登録すること。 2. 現場内小運搬・切断及び溶接金網材料のロス分を含む。</p> <p>(2) 埋設鋼板型枠(現場打側溝蓋用)設置</p> <p>施工歩掛コード <input type="text" value="WB222930"/> 施工単位 <input type="text" value="㎡"/></p> <p>(注)1. 材料費単価(Y-0800002) [円/㎡] を単価登録すること。 2. 現場内小運搬・切断及び埋設鋼板型枠のロス分を含む。</p> <p style="text-align: center;">II-2-⑩-37</p>	<p>削除</p>	<p>歩掛りの廃止</p>	
積算上の注意事項			<p>(控え頁)</p> <p>3/3</p>	

改正理由	一部改正	改 正 現 行	備 考																																																																	
現	行	改	正																																																																	
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;"><b>表3.6 現場打ち水路(本体) 代表機材規格一覧</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(2011年規制)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2 バックホウ(クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2011年規制)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3) 吊能力 2.9t</td> <td>・賃料 ・バックホウ(クレーン機能付)打設の場合</td> </tr> <tr> <td>K 3 業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30,100kcal/h)</td> <td>・賃料 ・特殊養生(ジェットヒータ)の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 型わく工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2 鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13</td> <td>鉄筋有りの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー</td> <td>特殊養生(ジェットヒータ)の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 4 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S 鉄筋工・加工・組立共 一般構造物</td> <td>鉄筋有りの場合</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(2011年規制)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	賃料	K 2 バックホウ(クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2011年規制)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3) 吊能力 2.9t	・賃料 ・バックホウ(クレーン機能付)打設の場合	K 3 業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30,100kcal/h)	・賃料 ・特殊養生(ジェットヒータ)の場合	労務	R 1 普通作業員		R 2 型わく工		R 3 土木一般世話役		R 4 特殊作業員		材料	Z 1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%		Z 2 鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13	鉄筋有りの場合	Z 3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	特殊養生(ジェットヒータ)の場合	Z 4 軽油 1.2号 バトロール給油		市場単価	S 鉄筋工・加工・組立共 一般構造物	鉄筋有りの場合		<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;"><b>表3.6 現場打ち水路(本体) 代表機材規格一覧</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(<del>2011</del>2014年規制)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2 バックホウ(クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2011年規制)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3) 吊能力 2.9t</td> <td>・賃料 ・バックホウ(クレーン機能付)打設の場合</td> </tr> <tr> <td>K 3 業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30,100kcal/h)</td> <td>・賃料 ・特殊養生(ジェットヒータ)の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 型わく工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2 鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13</td> <td>鉄筋有りの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー</td> <td>特殊養生(ジェットヒータ)の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 4 軽油 <del>1.2号</del> バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S 鉄筋工・加工・組立共 一般構造物</td> <td>鉄筋有りの場合</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型( <del>2011</del> 2014年規制)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	賃料	K 2 バックホウ(クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2011年規制)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3) 吊能力 2.9t	・賃料 ・バックホウ(クレーン機能付)打設の場合	K 3 業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30,100kcal/h)	・賃料 ・特殊養生(ジェットヒータ)の場合	労務	R 1 普通作業員		R 2 型わく工		R 3 土木一般世話役		R 4 特殊作業員		材料	Z 1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%		Z 2 鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13	鉄筋有りの場合	Z 3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	特殊養生(ジェットヒータ)の場合	Z 4 軽油 <del>1.2号</del> バトロール給油		市場単価	S 鉄筋工・加工・組立共 一般構造物	鉄筋有りの場合		<p>記載の変更</p>
項目	代表機材規格	備考																																																																		
機械	K 1 バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(2011年規制)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	賃料																																																																		
	K 2 バックホウ(クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2011年規制)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3) 吊能力 2.9t	・賃料 ・バックホウ(クレーン機能付)打設の場合																																																																		
	K 3 業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30,100kcal/h)	・賃料 ・特殊養生(ジェットヒータ)の場合																																																																		
労務	R 1 普通作業員																																																																			
	R 2 型わく工																																																																			
	R 3 土木一般世話役																																																																			
	R 4 特殊作業員																																																																			
材料	Z 1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%																																																																			
	Z 2 鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13	鉄筋有りの場合																																																																		
	Z 3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	特殊養生(ジェットヒータ)の場合																																																																		
	Z 4 軽油 1.2号 バトロール給油																																																																			
市場単価	S 鉄筋工・加工・組立共 一般構造物	鉄筋有りの場合																																																																		
項目	代表機材規格	備考																																																																		
機械	K 1 バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型( <del>2011</del> 2014年規制)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	賃料																																																																		
	K 2 バックホウ(クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2011年規制)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3) 吊能力 2.9t	・賃料 ・バックホウ(クレーン機能付)打設の場合																																																																		
	K 3 業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30,100kcal/h)	・賃料 ・特殊養生(ジェットヒータ)の場合																																																																		
労務	R 1 普通作業員																																																																			
	R 2 型わく工																																																																			
	R 3 土木一般世話役																																																																			
	R 4 特殊作業員																																																																			
材料	Z 1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%																																																																			
	Z 2 鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13	鉄筋有りの場合																																																																		
	Z 3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	特殊養生(ジェットヒータ)の場合																																																																		
	Z 4 軽油 <del>1.2号</del> バトロール給油																																																																			
市場単価	S 鉄筋工・加工・組立共 一般構造物	鉄筋有りの場合																																																																		
積算上の注意事項			(控え頁) 1/1																																																																	

工 種	排水構造物工(現場打ち集水桝・街渠桝(本体))
-----	-------------------------

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																
	<p style="text-align: center;">現 行</p> <p style="text-align: center;">表3.4 コンクリート打設工法</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> <tr> <td>コンクリート打設工法</td> <td>バックホウ(クレーン機能付)打設 人力打設</td> </tr> </table> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 現場打ち集水桝・街渠桝(本体) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(2011年規制)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2 バックホウ(クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2011年規制)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3) 吊能力 2.9t</td> <td>・賃料 ・バックホウ(クレーン機能付)打設の場合</td> </tr> <tr> <td>K3 業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126 MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油</td> <td>・賃料 ・特殊養生(ジェットヒータ)の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 型わく工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">材料</td> <td>Z1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 軽油 1.2号 バトル給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー</td> <td>特殊養生(ジェットヒータ)の場合</td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価 S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	積算条件	区分	コンクリート打設工法	バックホウ(クレーン機能付)打設 人力打設	項目	代表機材規格	備考	機械	K1 バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(2011年規制)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	賃料	K2 バックホウ(クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2011年規制)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3) 吊能力 2.9t	・賃料 ・バックホウ(クレーン機能付)打設の場合	K3 業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126 MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油	・賃料 ・特殊養生(ジェットヒータ)の場合	労務	R1 普通作業員		R2 型わく工		R3 土木一般世話役		R4 特殊作業員		材料	Z1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%		Z2 軽油 1.2号 バトル給油		Z3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	特殊養生(ジェットヒータ)の場合	Z4 -		市場単価 S -		<p style="text-align: center;">改 正</p> <p style="text-align: center;">表3.5 現場打ち集水桝・街渠桝(本体) 代表機材規格一覧</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 現場打ち集水桝・街渠桝(本体) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(2014年規制)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2 バックホウ(クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2011年規制)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3) 吊能力 2.9t</td> <td>・賃料 ・バックホウ(クレーン機能付)打設の場合</td> </tr> <tr> <td>K3 業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126 MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油</td> <td>・賃料 ・特殊養生(ジェットヒータ)の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 <del>普通作業員</del></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 <del>型わく工</del></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">材料</td> <td>Z1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 軽油 <del>1.2号</del> バトル給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー</td> <td>特殊養生(ジェットヒータ)の場合</td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価 S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格	備考	機械	K1 バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(2014年規制)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	賃料	K2 バックホウ(クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2011年規制)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3) 吊能力 2.9t	・賃料 ・バックホウ(クレーン機能付)打設の場合	K3 業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126 MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油	・賃料 ・特殊養生(ジェットヒータ)の場合	労務	R1 <del>普通作業員</del>		R2 <del>型わく工</del>		R3 土木一般世話役		R4 特殊作業員		材料	Z1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%		Z2 軽油 <del>1.2号</del> バトル給油		Z3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	特殊養生(ジェットヒータ)の場合	Z4 -		市場単価 S -		<p style="text-align: center;">備 考</p> <p style="text-align: center;">記載の変更</p>
積算条件	区分																																																																		
コンクリート打設工法	バックホウ(クレーン機能付)打設 人力打設																																																																		
項目	代表機材規格	備考																																																																	
機械	K1 バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(2011年規制)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	賃料																																																																	
	K2 バックホウ(クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2011年規制)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3) 吊能力 2.9t	・賃料 ・バックホウ(クレーン機能付)打設の場合																																																																	
	K3 業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126 MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油	・賃料 ・特殊養生(ジェットヒータ)の場合																																																																	
労務	R1 普通作業員																																																																		
	R2 型わく工																																																																		
	R3 土木一般世話役																																																																		
	R4 特殊作業員																																																																		
材料	Z1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%																																																																		
	Z2 軽油 1.2号 バトル給油																																																																		
	Z3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	特殊養生(ジェットヒータ)の場合																																																																	
	Z4 -																																																																		
	市場単価 S -																																																																		
項目	代表機材規格	備考																																																																	
機械	K1 バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(2014年規制)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	賃料																																																																	
	K2 バックホウ(クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2011年規制)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3) 吊能力 2.9t	・賃料 ・バックホウ(クレーン機能付)打設の場合																																																																	
	K3 業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126 MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油	・賃料 ・特殊養生(ジェットヒータ)の場合																																																																	
労務	R1 <del>普通作業員</del>																																																																		
	R2 <del>型わく工</del>																																																																		
	R3 土木一般世話役																																																																		
	R4 特殊作業員																																																																		
材料	Z1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%																																																																		
	Z2 軽油 <del>1.2号</del> バトル給油																																																																		
	Z3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	特殊養生(ジェットヒータ)の場合																																																																	
	Z4 -																																																																		
	市場単価 S -																																																																		
積算上の注意事項			(控え頁) 1/1																																																																

改正理由	一部改正		改正	備考																																																																											
	現	行	現行																																																																												
<p>5-3 諸雑費 諸雑費は、足場材（敷鉄板）賃料及び設置・撤去・移設、改良後の整地に要する費用、電力に関する経費等であり労務費、機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。 なお、変位低減型の場合は、諸雑費率に排土・排出土処理（現場内仮置き）に関する費用を含む。</p> <p style="text-align: center;"><b>表5.9 諸雑費率</b> (%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工 法</th> <th>杭 径</th> <th>打設長 L (m)</th> <th>諸 雑 費 率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">単 軸 施 工</td> <td>φ 800mm～φ 1,200mm</td> <td>3mを超え10m以下</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>φ 1,000mm～φ 1,600mm</td> <td>10mを超え30m以下</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>φ 1,800mm φ 2,000mm</td> <td>3mを超え27m以下</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>二 軸 施 工</td> <td>φ 1,000mm</td> <td>3mを超え40m以下</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">二 軸 施 工 ( 変 位 低 減 型 )</td> <td>φ 1,000mm</td> <td>3mを超え40m以下</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>φ 1,600mm</td> <td>3mを超え36m以下</td> <td>33</td> </tr> </tbody> </table> <p>5-4 スラリプラント現場内移設歩掛 スラリプラントを中心に施工位置が半径約100mを超える場合、又は同一現場内に施工箇所が2箇所以上ある等、スラリプラントを移設しなければならない場合は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;"><b>表5.10 スラリプラント現場内移設歩掛</b> (1回当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">単 軸 施 工</th> </tr> <tr> <th>二 軸 施 工</th> <th>二軸施工(変位低減型)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>2.9</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>1.4</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーン クレーン運転</td> <td>油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>1.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 移設するスラリプラントはスクルーコンベア、セメントサイロ、水槽、水中ポンプ、アジテータ、グラウトポンプ、スラリプラント制御盤及び発動発電機とする。 2. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。</p> <p>5-5 その他 (1) 次の条件等により攪拌翼が貫入出来ない場合は、バックホウによる先掘りを行うものとし、「第5編2章土工②土工」による。 1) 表層安定処理等を行った地盤 2) 表層に転石等が多い地盤 3) 表層に障害物等のある地盤 (2) 汚泥土の処分が必要な場合は、別途計上する。 (3) 注入材配合用水、機器洗浄等に用いる上水道等が必要な場合は、別途計上する。 (4) スラリ攪拌工は、特許を有する工法の場合もあるので、特許料が必要な場合は、別途計上する。</p>	工 法	杭 径	打設長 L (m)	諸 雑 費 率	単 軸 施 工	φ 800mm～φ 1,200mm	3mを超え10m以下	21	φ 1,000mm～φ 1,600mm	10mを超え30m以下	20	φ 1,800mm φ 2,000mm	3mを超え27m以下	31	二 軸 施 工	φ 1,000mm	3mを超え40m以下	26	二 軸 施 工 ( 変 位 低 減 型 )	φ 1,000mm	3mを超え40m以下	27	φ 1,600mm	3mを超え36m以下	33	名 称	規 格	単 位	単 軸 施 工		二 軸 施 工	二軸施工(変位低減型)	土木一般世話役		人		1.0	特殊作業員		〃		2.9	普通作業員		〃		1.4	ラフテレーン クレーン運転	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊	日		1.4	<p>5-3 諸雑費 諸雑費は、足場材（敷鉄板）賃料及び設置・撤去・移設、改良後の整地に要する費用、電力に関する経費等であり労務費、機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。 なお、変位低減型の場合は、諸雑費率に排土・排出土処理（現場内仮置き）に関する費用を含む。</p> <p style="text-align: center;"><b>表5.9 諸雑費率</b> (%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工 法</th> <th>杭 径</th> <th>打設長 L (m)</th> <th>諸 雑 費 率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">単 軸 施 工</td> <td>φ 800mm～φ 1,200mm</td> <td>3mを超え10m以下</td> <td><del>21</del>20</td> </tr> <tr> <td>φ 1,000mm～φ 1,600mm</td> <td>10mを超え30m以下</td> <td><del>20</del>18</td> </tr> <tr> <td>φ 1,800mm φ 2,000mm</td> <td>3mを超え27m以下</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>二 軸 施 工</td> <td>φ 1,000mm</td> <td>3mを超え40m以下</td> <td><del>26</del>23</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">二 軸 施 工 ( 変 位 低 減 型 )</td> <td>φ 1,000mm</td> <td>3mを超え40m以下</td> <td><del>27</del>26</td> </tr> <tr> <td>φ 1,600mm</td> <td>3mを超え36m以下</td> <td><del>33</del>31</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	工 法	杭 径	打設長 L (m)	諸 雑 費 率	単 軸 施 工	φ 800mm～φ 1,200mm	3mを超え10m以下	<del>21</del> 20	φ 1,000mm～φ 1,600mm	10mを超え30m以下	<del>20</del> 18	φ 1,800mm φ 2,000mm	3mを超え27m以下	31	二 軸 施 工	φ 1,000mm	3mを超え40m以下	<del>26</del> 23	二 軸 施 工 ( 変 位 低 減 型 )	φ 1,000mm	3mを超え40m以下	<del>27</del> 26	φ 1,600mm	3mを超え36m以下	<del>33</del> 31	<p style="text-align: center;">記載の修正</p>
工 法	杭 径	打設長 L (m)	諸 雑 費 率																																																																												
単 軸 施 工	φ 800mm～φ 1,200mm	3mを超え10m以下	21																																																																												
	φ 1,000mm～φ 1,600mm	10mを超え30m以下	20																																																																												
	φ 1,800mm φ 2,000mm	3mを超え27m以下	31																																																																												
二 軸 施 工	φ 1,000mm	3mを超え40m以下	26																																																																												
二 軸 施 工 ( 変 位 低 減 型 )	φ 1,000mm	3mを超え40m以下	27																																																																												
	φ 1,600mm	3mを超え36m以下	33																																																																												
名 称	規 格	単 位	単 軸 施 工																																																																												
			二 軸 施 工	二軸施工(変位低減型)																																																																											
土木一般世話役		人		1.0																																																																											
特殊作業員		〃		2.9																																																																											
普通作業員		〃		1.4																																																																											
ラフテレーン クレーン運転	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊	日		1.4																																																																											
工 法	杭 径	打設長 L (m)	諸 雑 費 率																																																																												
単 軸 施 工	φ 800mm～φ 1,200mm	3mを超え10m以下	<del>21</del> 20																																																																												
	φ 1,000mm～φ 1,600mm	10mを超え30m以下	<del>20</del> 18																																																																												
	φ 1,800mm φ 2,000mm	3mを超え27m以下	31																																																																												
二 軸 施 工	φ 1,000mm	3mを超え40m以下	<del>26</del> 23																																																																												
二 軸 施 工 ( 変 位 低 減 型 )	φ 1,000mm	3mを超え40m以下	<del>27</del> 26																																																																												
	φ 1,600mm	3mを超え36m以下	<del>33</del> 31																																																																												
積算上の注意事項				<p>(控え頁)</p> <p>1/3</p>																																																																											

改正理由	一部改正	改正 現 行	備 考																																																										
	現 行	改 正																																																											
	<p>(3) 機械運転単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">深層混合処理機 (スラリー式)</td> <td rowspan="4">表3.1</td> <td rowspan="4">機-18</td> <td>車軸</td> </tr> <tr> <td>運転労務数量→1.00</td> </tr> <tr> <td>燃料消費量→27.4kN・m →34 →110kw×1 20m →62 →110kw×1 30m →72 →90kw×2 →62</td> </tr> <tr> <td>機械損料数量→1.59</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">深層混合処理機 (スラリー式)</td> <td rowspan="4">表3.2, 表3.3</td> <td rowspan="4">機-18</td> <td>一軸</td> </tr> <tr> <td>運転労務数量→1.00</td> </tr> <tr> <td>燃料消費量→45kw×2 →35 →60kw×2 →38 →90kw×2 →56</td> </tr> <tr> <td>機械損料数量→1.59</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">深層混合処理機 (スラリー式) 変位低減型</td> <td rowspan="4">表3.2, 表3.3</td> <td rowspan="4">機-18</td> <td>一軸</td> </tr> <tr> <td>運転労務数量→1.00</td> </tr> <tr> <td>燃料消費量→45kw×2 →33 →60kw×2 →36 →75kw×2 →52 →90kw×2 →52 →L≧10m機 →53 →L≧20m機 →53 →L≧26m機 →66 →L≧36m機 →53</td> </tr> <tr> <td>機械損料数量→1.59</td> </tr> <tr> <td>スラリプラント</td> <td>表3.1~表3.3</td> <td>機-25</td> <td>機械損料数量→1.59</td> </tr> </tbody> </table>	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	深層混合処理機 (スラリー式)	表3.1	機-18	車軸	運転労務数量→1.00	燃料消費量→27.4kN・m →34 →110kw×1 20m →62 →110kw×1 30m →72 →90kw×2 →62	機械損料数量→1.59	深層混合処理機 (スラリー式)	表3.2, 表3.3	機-18	一軸	運転労務数量→1.00	燃料消費量→45kw×2 →35 →60kw×2 →38 →90kw×2 →56	機械損料数量→1.59	深層混合処理機 (スラリー式) 変位低減型	表3.2, 表3.3	機-18	一軸	運転労務数量→1.00	燃料消費量→45kw×2 →33 →60kw×2 →36 →75kw×2 →52 →90kw×2 →52 →L≧10m機 →53 →L≧20m機 →53 →L≧26m機 →66 →L≧36m機 →53	機械損料数量→1.59	スラリプラント	表3.1~表3.3	機-25	機械損料数量→1.59	<p>(3) 機械運転単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">深層混合処理機 (スラリー式)</td> <td rowspan="4">表3.1</td> <td rowspan="4">機-18</td> <td>車軸</td> </tr> <tr> <td>運転労務数量→1.00</td> </tr> <tr> <td>燃料消費量→27.4kN・m →<del>34</del><sup>3435</sup> →110kw×1 20m →<del>62</del><sup>6264</sup> →110kw×1 30m →<del>72</del><sup>7277</sup> →90kw×2 →<del>62</del><sup>6264</sup></td> </tr> <tr> <td>機械損料数量→1.59</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">深層混合処理機 (スラリー式)</td> <td rowspan="4">表3.2, 表3.3</td> <td rowspan="4">機-18</td> <td>二軸</td> </tr> <tr> <td>運転労務数量→1.00</td> </tr> <tr> <td>燃料消費量→45kw×2 →<del>35</del><sup>3537</sup> →60kw×2 →<del>38</del><sup>3840</sup> →90kw×2 →<del>56</del><sup>5658</sup></td> </tr> <tr> <td>機械損料数量→1.59</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">深層混合処理機 (スラリー式) 変位低減型</td> <td rowspan="4">表3.2, 表3.3</td> <td rowspan="4">機-18</td> <td>二軸</td> </tr> <tr> <td>運転労務数量→1.00</td> </tr> <tr> <td>燃料消費量→45kw×2 →<del>33</del><sup>3334</sup> →60kw×2 →<del>36</del><sup>3637</sup> →75kw×2 →<del>52</del><sup>5254</sup> →90kw×2 →<del>52</del><sup>5254</sup> →L≧10m機 →<del>53</del><sup>5355</sup> →L≧20m機 →<del>53</del><sup>5355</sup> →L≧26m機 →<del>66</del><sup>6672</sup> →L≧36m機 →<del>53</del><sup>5355</sup></td> </tr> <tr> <td>機械損料数量→1.59</td> </tr> <tr> <td>スラリプラント</td> <td>表3.1~表3.3</td> <td>機-25</td> <td>機械損料数量→1.59</td> </tr> </tbody> </table>	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	深層混合処理機 (スラリー式)	表3.1	機-18	車軸	運転労務数量→1.00	燃料消費量→27.4kN・m → <del>34</del> <sup>3435</sup> →110kw×1 20m → <del>62</del> <sup>6264</sup> →110kw×1 30m → <del>72</del> <sup>7277</sup> →90kw×2 → <del>62</del> <sup>6264</sup>	機械損料数量→1.59	深層混合処理機 (スラリー式)	表3.2, 表3.3	機-18	二軸	運転労務数量→1.00	燃料消費量→45kw×2 → <del>35</del> <sup>3537</sup> →60kw×2 → <del>38</del> <sup>3840</sup> →90kw×2 → <del>56</del> <sup>5658</sup>	機械損料数量→1.59	深層混合処理機 (スラリー式) 変位低減型	表3.2, 表3.3	機-18	二軸	運転労務数量→1.00	燃料消費量→45kw×2 → <del>33</del> <sup>3334</sup> →60kw×2 → <del>36</del> <sup>3637</sup> →75kw×2 → <del>52</del> <sup>5254</sup> →90kw×2 → <del>52</del> <sup>5254</sup> →L≧10m機 → <del>53</del> <sup>5355</sup> →L≧20m機 → <del>53</del> <sup>5355</sup> →L≧26m機 → <del>66</del> <sup>6672</sup> →L≧36m機 → <del>53</del> <sup>5355</sup>	機械損料数量→1.59	スラリプラント	表3.1~表3.3	機-25	機械損料数量→1.59	記載の修正
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																										
深層混合処理機 (スラリー式)	表3.1	機-18	車軸																																																										
			運転労務数量→1.00																																																										
			燃料消費量→27.4kN・m →34 →110kw×1 20m →62 →110kw×1 30m →72 →90kw×2 →62																																																										
			機械損料数量→1.59																																																										
深層混合処理機 (スラリー式)	表3.2, 表3.3	機-18	一軸																																																										
			運転労務数量→1.00																																																										
			燃料消費量→45kw×2 →35 →60kw×2 →38 →90kw×2 →56																																																										
			機械損料数量→1.59																																																										
深層混合処理機 (スラリー式) 変位低減型	表3.2, 表3.3	機-18	一軸																																																										
			運転労務数量→1.00																																																										
			燃料消費量→45kw×2 →33 →60kw×2 →36 →75kw×2 →52 →90kw×2 →52 →L≧10m機 →53 →L≧20m機 →53 →L≧26m機 →66 →L≧36m機 →53																																																										
			機械損料数量→1.59																																																										
スラリプラント	表3.1~表3.3	機-25	機械損料数量→1.59																																																										
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																										
深層混合処理機 (スラリー式)	表3.1	機-18	車軸																																																										
			運転労務数量→1.00																																																										
			燃料消費量→27.4kN・m → <del>34</del> <sup>3435</sup> →110kw×1 20m → <del>62</del> <sup>6264</sup> →110kw×1 30m → <del>72</del> <sup>7277</sup> →90kw×2 → <del>62</del> <sup>6264</sup>																																																										
			機械損料数量→1.59																																																										
深層混合処理機 (スラリー式)	表3.2, 表3.3	機-18	二軸																																																										
			運転労務数量→1.00																																																										
			燃料消費量→45kw×2 → <del>35</del> <sup>3537</sup> →60kw×2 → <del>38</del> <sup>3840</sup> →90kw×2 → <del>56</del> <sup>5658</sup>																																																										
			機械損料数量→1.59																																																										
深層混合処理機 (スラリー式) 変位低減型	表3.2, 表3.3	機-18	二軸																																																										
			運転労務数量→1.00																																																										
			燃料消費量→45kw×2 → <del>33</del> <sup>3334</sup> →60kw×2 → <del>36</del> <sup>3637</sup> →75kw×2 → <del>52</del> <sup>5254</sup> →90kw×2 → <del>52</del> <sup>5254</sup> →L≧10m機 → <del>53</del> <sup>5355</sup> →L≧20m機 → <del>53</del> <sup>5355</sup> →L≧26m機 → <del>66</del> <sup>6672</sup> →L≧36m機 → <del>53</del> <sup>5355</sup>																																																										
			機械損料数量→1.59																																																										
スラリプラント	表3.1~表3.3	機-25	機械損料数量→1.59																																																										
積算上の注意事項	II-2-⑩-20		(控え頁) 2/3																																																										



改正理由	一部改正	改正 現行																																																		
現 行		改 正																																																		
備 考																																																				
<p>7. 施工単価入力基準表 (1) スラリー攪拌工</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>W8223210</td> <td>施工単位</td> <td>本</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">人 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>J 1</td> <td>J 2</td> <td>J 3</td> <td>J 4</td> <td>J 5</td> <td>J 6</td> </tr> <tr> <td>施工方法及び杭径区分 (表7.1)</td> <td>改良断面 ①ラップ式 ②杭式</td> <td>杭径(φ) (mm) (実数入力) ※単軸 φ800mm～ φ1,200mm</td> <td>杭径(φ) (mm) (実数入力) ※単軸 φ1,000mm～ φ1,600mm</td> <td>打設長(L) (m) (実数入力) ※単軸 φ800mm～ φ1,200mm</td> <td>打設長(L) (m) (実数入力) ※単軸 φ1,000mm～ φ1,600mm</td> </tr> <tr> <td>J 7</td> <td>J 8</td> <td>J 9</td> <td>J 10</td> <td>J 11</td> <td>J 12</td> </tr> <tr> <td>打設長(L) (m) (実数入力) ※単軸 φ1,800mm, φ2,000mm</td> <td>打設長(L) (m) (実数入力) ※二軸 φ1,000mm</td> <td>打設長(L) (m) (実数入力) ※二軸 φ1,600mm</td> <td>杭 長(L) (m) (実数入力)</td> <td>杭長1m 当り改良材 使用量 (t/m) (実数入力)</td> <td>特許料 の有無 ①無 ②有</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 本コードには、改良材の材料ロスを含む。 2. J 1条件で①を選択した場合、J 2、J 4、J 6～J 9条件は選択出来ない。 3. J 1条件で②を選択した場合、J 2、J 3、J 5、J 7～J 9条件は選択出来ない。 4. J 1条件で③、④を選択した場合、J 2～J 6、J 8、J 9条件は選択出来ない。 5. J 1条件で⑤、⑥を選択した場合、J 2～J 7、J 9条件は選択出来ない。 6. J 1条件で⑦を選択した場合、J 3～J 8条件は選択出来ない。 7. 改良材単価 (Y-1600000) [円/t] を単価登録すること。 8. J 12条件で②を選択した場合は、特許料金 (Y-7550004) [円/m<sup>3</sup>] を単価登録すること。</p> <p>表7.1 施工方法及び杭径</p> <table border="1"> <tr> <td>施工方法及び杭径</td> <td>入力番号</td> </tr> <tr> <td>φ800mm～φ1,200mm, 3m&lt;L≤10m</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>φ1,000mm～φ1,600mm, 10m&lt;L≤30m</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>φ1,800mm, 3m&lt;L≤27m</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>φ2,000mm, 3m&lt;L≤27m</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>二軸施工 φ1,000mm, 3m&lt;L≤40m</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>二軸施工 φ1,000mm, 3m&lt;L≤40m</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>(変位低減型) φ1,600mm, 3m&lt;L≤36m</td> <td>⑦</td> </tr> </table>		施工歩掛コード	W8223210	施工単位	本	施工区分	人 力 条 件			各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6	施工方法及び杭径区分 (表7.1)	改良断面 ①ラップ式 ②杭式	杭径(φ) (mm) (実数入力) ※単軸 φ800mm～ φ1,200mm	杭径(φ) (mm) (実数入力) ※単軸 φ1,000mm～ φ1,600mm	打設長(L) (m) (実数入力) ※単軸 φ800mm～ φ1,200mm	打設長(L) (m) (実数入力) ※単軸 φ1,000mm～ φ1,600mm	J 7	J 8	J 9	J 10	J 11	J 12	打設長(L) (m) (実数入力) ※単軸 φ1,800mm, φ2,000mm	打設長(L) (m) (実数入力) ※二軸 φ1,000mm	打設長(L) (m) (実数入力) ※二軸 φ1,600mm	杭 長(L) (m) (実数入力)	杭長1m 当り改良材 使用量 (t/m) (実数入力)	特許料 の有無 ①無 ②有	施工方法及び杭径	入力番号	φ800mm～φ1,200mm, 3m<L≤10m	①	φ1,000mm～φ1,600mm, 10m<L≤30m	②	φ1,800mm, 3m<L≤27m	③	φ2,000mm, 3m<L≤27m	④	二軸施工 φ1,000mm, 3m<L≤40m	⑤	二軸施工 φ1,000mm, 3m<L≤40m	⑥	(変位低減型) φ1,600mm, 3m<L≤36m	⑦	<p>(注) 1. 本コードには、改良材の材料ロスを含<del>み</del>んでいるため、ロス率を含まない数量を入力すること。 2. J 1条件で①を選択した場合、J 2、J 4、J 6～J 9条件は選択出来ない。 3. J 1条件で②を選択した場合、J 2、J 3、J 5、J 7～J 9条件は選択出来ない。 4. J 1条件で③、④を選択した場合、J 2～J 6、J 8、J 9条件は選択出来ない。 5. J 1条件で⑤、⑥を選択した場合、J 2～J 7、J 9条件は選択出来ない。 6. J 1条件で⑦を選択した場合、J 3～J 8条件は選択出来ない。 7. 改良材単価 (Y-1600000) [円/t] を単価登録すること。 8. J 12条件で②を選択した場合は、特許料金 (Y-7550004) [円/m<sup>3</sup>] を単価登録すること。</p>	
施工歩掛コード	W8223210	施工単位	本																																																	
施工区分	人 力 条 件																																																			
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6																																														
	施工方法及び杭径区分 (表7.1)	改良断面 ①ラップ式 ②杭式	杭径(φ) (mm) (実数入力) ※単軸 φ800mm～ φ1,200mm	杭径(φ) (mm) (実数入力) ※単軸 φ1,000mm～ φ1,600mm	打設長(L) (m) (実数入力) ※単軸 φ800mm～ φ1,200mm	打設長(L) (m) (実数入力) ※単軸 φ1,000mm～ φ1,600mm																																														
J 7	J 8	J 9	J 10	J 11	J 12																																															
打設長(L) (m) (実数入力) ※単軸 φ1,800mm, φ2,000mm	打設長(L) (m) (実数入力) ※二軸 φ1,000mm	打設長(L) (m) (実数入力) ※二軸 φ1,600mm	杭 長(L) (m) (実数入力)	杭長1m 当り改良材 使用量 (t/m) (実数入力)	特許料 の有無 ①無 ②有																																															
施工方法及び杭径	入力番号																																																			
φ800mm～φ1,200mm, 3m<L≤10m	①																																																			
φ1,000mm～φ1,600mm, 10m<L≤30m	②																																																			
φ1,800mm, 3m<L≤27m	③																																																			
φ2,000mm, 3m<L≤27m	④																																																			
二軸施工 φ1,000mm, 3m<L≤40m	⑤																																																			
二軸施工 φ1,000mm, 3m<L≤40m	⑥																																																			
(変位低減型) φ1,600mm, 3m<L≤36m	⑦																																																			
積算上の注意事項		(控え頁) 3/3																																																		

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正 現 行	備 考															
現	行	改 正	備 考															
<p>5-1-3 1日当り施工本数 単管工法における1日当り施工本数は、次式による。</p> $N = \frac{60 \times H}{T_1} \times 2 \quad (4)$ <p>N : 2 (4) セット1日当り施工本数 (本/日) H : 単管工法設備の1日当り実作業時間で6.7時間とする。 T<sub>1</sub> : 1本当り施工時間 (min)</p> <p>5-1-4 諸雑費 単管工法の1本当り諸雑費は、付属機器固化材サイロ、集中プラントミキサ、工事中水モータポンプ、水槽(一般工用)、グラウト流量・圧力測定装置の損料及び電力に関する経費等の費用であり、労務費及び機械損料の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表5.7 単管工法の諸雑費率 (%)</caption> <tr> <td style="text-align: center;">諸 雑 費 率</td> <td style="text-align: center;">30</td> </tr> </table> <p>5-1-5 損耗材料費 (1) 削孔損耗材料費 単管工法の削孔損耗材料費は、ロッド、ロッドカップリング、メタルクラウン、スィベル等の費用を計上する。 (2) 注入損耗材料費 単管工法の注入損耗材料費は、モニター、ノズル、高圧ホース等の費用を計上する。</p> <p>5-2 二重管工法 5-2-1 1本当り施工時間 (T<sub>s</sub>) 二重管工法における1本当り施工時間は、次式による。 T<sub>s</sub> = T<sub>1</sub> + T<sub>2</sub> + T<sub>3</sub> + T<sub>4</sub> T<sub>s</sub> : 二重管工法1本当り施工時間 (min) T<sub>1</sub> : 機械準備時間 (min) T<sub>2</sub> : 削孔時間 (min) T<sub>3</sub> : 注入時間 (min) T<sub>4</sub> : 土被り部引き抜き時間 (min)</p> <p>(1) 機械準備時間 (T<sub>1</sub>) 機械準備時間は、機械移動、機械据付及び注入後の器具洗浄時間であり、25分とする。 (2) 削孔時間 (T<sub>2</sub>) ① 1,000mm以上2,000mm以下 T<sub>2</sub> = Σ (γ<sub>i</sub> × l<sub>i</sub>) γ<sub>i</sub> : 各土質毎の削孔の単位作業時間 (min/m) l<sub>i</sub> : 各土質毎の削孔長 (m)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表5.8 削孔の単位作業時間 (γ<sub>i</sub>) (min/m)</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">土 質</th> <th rowspan="2">レキ質土</th> <th colspan="2">砂 質 土</th> <th rowspan="2">粘 性 土</th> </tr> <tr> <th>N ≤ 30</th> <th>N &gt; 30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">γ<sub>i</sub></td> <td style="text-align: center;">45</td> <td style="text-align: center;">9</td> <td style="text-align: center;">13</td> <td style="text-align: center;">7</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. N : 各土質毎の削孔対象地盤の最大N値。 2. ロッド接続時間を含む。</p>	諸 雑 費 率	30	土 質	レキ質土	砂 質 土		粘 性 土	N ≤ 30	N > 30	γ <sub>i</sub>	45	9	13	7	<p style="text-align: center;">} 現行どおり</p> <p>5-1-4 諸雑費 単管工法の1本当り諸雑費は、付属機器固化材サイロ、集中プラントミキサ、工事中水モータポンプ、水槽(一般工用)、グラウト流量・圧力測定装置の損料及び電力に関する経費等の費用であり、労務費及び機械損料の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表5.7 単管工法の諸雑費率 (%)</caption> <tr> <td style="text-align: center;">諸 雑 費 率</td> <td style="text-align: center;">30</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">} 現行どおり</p>	諸 雑 費 率	30	<p>記載の修正</p>
諸 雑 費 率	30																	
土 質	レキ質土	砂 質 土		粘 性 土														
		N ≤ 30	N > 30															
γ <sub>i</sub>	45	9	13	7														
諸 雑 費 率	30																	
積算上の注意事項	II-2-⑩-27		(控え頁) 1/6															

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正 <hr/> 現 行	備 考																															
現	行	改 正	備 考																															
<p>5-2-4 諸雑費 二重管工法の1本当り諸雑費は、付属機器固化材サイロ、集中プラントミキサ、工事用水中モータポンプ、水槽(一般工用)、グラウト流量・圧力測定装置の損料及び電力に関する経費等の費用であり、労務費、機械賃料、機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表5.19 二重管工法の諸雑費率 (%)</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">諸 雑 費 率</th> <th colspan="2">抗 径</th> </tr> <tr> <th>1,000mm以上 2,000mm以下</th> <th>2,000mmを超え 3,000mm以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">28</td> <td style="text-align: center;">46</td> </tr> </tbody> </table> <p>5-2-5 損耗材料費 (1) 削孔損耗材料費 二重管工法の削孔損耗材料費は、スイベル、ロッド、モニター、超高压ホース、ビット等の費用を計上する。 (2) 注入損耗材料費 二重管工法の注入損耗材料費は、超高压ホース、耐圧ホース、二重管、スイベル、モニター、ノズル等の費用を計上する。</p> <p>5-3 三重管工法 5-3-1 1本当り削孔施工時間 (T<sub>3</sub>) 三重管工法における1本当り削孔施工時間は次式による。 T<sub>3</sub>=T<sub>1</sub>+T<sub>2</sub> T<sub>3</sub>: 三重管工法1本当り削孔時間 (min) T<sub>1</sub>: 機械準備時間 (min) T<sub>2</sub>: 削孔時間 (min)</p> <p>(1) 機械準備時間 (T<sub>1</sub>) 機械準備時間は、機械移動、機械据付時間であり、22分とする。 (2) 削孔時間 (T<sub>2</sub>) T<sub>2</sub>=Σ(γ<sub>i</sub>×θ<sub>i</sub>) γ<sub>i</sub>: 各土質毎の削孔の単位作業時間 (min/m) θ<sub>i</sub>: 各土質毎の削孔長 (m)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表5.20 削孔の単位作業時間(γ<sub>i</sub>) (min/m)</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">土 質</th> <th colspan="2">レキ質土</th> <th colspan="2">砂質土</th> <th rowspan="2">粘性土</th> </tr> <tr> <th>N≤50</th> <th>N&gt;50</th> <th>N≤50</th> <th>N&gt;50</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>γ<sub>i</sub></td> <td style="text-align: center;">38</td> <td style="text-align: center;">58</td> <td style="text-align: center;">24</td> <td style="text-align: center;">30</td> <td style="text-align: center;">18</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. N: 各土質毎の削孔対象地盤の最大N値。 2. ロッド接続時間を含む。</p> <p>5-3-2 1本当り注入施工時間 (T<sub>4</sub>) 三重管工法における1本当り注入施工時間は、次式による。 T<sub>4</sub>=T<sub>1</sub>+T<sub>2</sub>+T<sub>3</sub>+T<sub>4</sub> T<sub>4</sub>: 三重管工法1本当り注入時間 (min) T<sub>1</sub>: 機械準備時間 (min) T<sub>2</sub>: 注入準備時間 (min) T<sub>3</sub>: 注入時間 (min) T<sub>4</sub>: 土被り部引抜時間 (min)</p> <p style="text-align: center;">II-2-⑩-30</p>	諸 雑 費 率	抗 径		1,000mm以上 2,000mm以下	2,000mmを超え 3,000mm以下		28	46	土 質	レキ質土		砂質土		粘性土	N≤50	N>50	N≤50	N>50	γ <sub>i</sub>	38	58	24	30	18	<p>5-2-4 諸雑費 二重管工法の1本当り諸雑費は、付属機器固化材サイロ、集中プラントミキサ、工事用水中モータポンプ、水槽(一般工用)、グラウト流量・圧力測定装置の損料及び電力に関する経費等の費用であり、労務費、機械賃料、機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表5.19 二重管工法の諸雑費率 (%)</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">諸 雑 費 率</th> <th colspan="2">抗 径</th> </tr> <tr> <th>1,000mm以上 2,000mm以下</th> <th>2,000mmを超え 3,000mm以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;"><del>28</del>26</td> <td style="text-align: center;"><del>46</del>44</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	諸 雑 費 率	抗 径		1,000mm以上 2,000mm以下	2,000mmを超え 3,000mm以下		<del>28</del> 26	<del>46</del> 44	記載の修正
諸 雑 費 率		抗 径																																
	1,000mm以上 2,000mm以下	2,000mmを超え 3,000mm以下																																
	28	46																																
土 質	レキ質土		砂質土		粘性土																													
	N≤50	N>50	N≤50	N>50																														
γ <sub>i</sub>	38	58	24	30	18																													
諸 雑 費 率	抗 径																																	
	1,000mm以上 2,000mm以下	2,000mmを超え 3,000mm以下																																
	<del>28</del> 26	<del>46</del> 44																																
積算上の注意事項			(控え頁)  2/6																															

改正理由	一部改正	改正 <hr/> 現行																																		
現	行	改	正																																	
		備	考																																	
<p>(1) 機械準備時間 (T<sub>1</sub>) 機械準備時間は、機械移動、機械据付及び注入後の器具洗浄時間であり、30分とする。</p> <p>(2) 注入準備時間 (T<sub>2</sub>) 注入準備時間は、三重管セット及びケーシングパイプ引抜時間であり、次式とする。 T<sub>2</sub> = γ<sub>1</sub> × l<sub>0</sub> γ<sub>1</sub>: 注入準備の単位作業時間 (min/m) l<sub>0</sub>: 閉孔長 (m)</p> <p style="text-align: center;"><b>表5.21 注入準備の単位作業時間(γ<sub>1</sub>) (min/m)</b></p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">γ<sub>1</sub></td> <td style="width: 50%; text-align: center;">2</td> </tr> </table> <p>(3) 注入時間 (T<sub>3</sub>) T<sub>3</sub> = Σ { (γ<sub>2</sub> + γ<sub>3</sub>) × l<sub>i</sub> } γ<sub>2</sub>: 各土質毎の注入の単位作業時間 (min/m) γ<sub>3</sub>: ロッド切断の単位作業時間 (min/m) l<sub>i</sub>: 各土質毎の注入長 (m)</p> <p style="text-align: center;"><b>表5.22 注入の単位作業時間(γ<sub>2</sub>) (min/m)</b></p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">土 質</th> <th colspan="3">砂 質 土</th> <th colspan="2">粘 性 土</th> </tr> <tr> <th>N ≤ 30</th> <th>30 &lt; N ≤ 50</th> <th>50 ≤ N ≤ 100</th> <th>N ≤ 3</th> <th>3 &lt; N ≤ 5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>杭径 (mm)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">2,000</td> <td style="text-align: center;">1,800</td> <td style="text-align: center;">2,000</td> <td style="text-align: center;">1,800</td> </tr> <tr> <td>γ<sub>2</sub></td> <td colspan="2" style="text-align: center;">16</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">20</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) N : 各土質毎の改良対象地盤の最大N値。</p> <p style="text-align: center;"><b>表5.23 ロッド切断の単位作業時間(γ<sub>3</sub>) (min/m)</b></p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">γ<sub>3</sub></td> <td style="width: 50%; text-align: center;">2</td> </tr> </table> <p>(4) 土被り部引抜時間 (T<sub>4</sub>) T<sub>4</sub> = γ<sub>4</sub> × l<sub>2</sub> γ<sub>4</sub>: 土被り部引抜きの単位作業時間 (min/m) l<sub>2</sub>: 土被り長 (m)</p> <p style="text-align: center;"><b>表5.24 土被り部引抜の単位作業時間(γ<sub>4</sub>) (min/m)</b></p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">γ<sub>4</sub></td> <td style="width: 50%; text-align: center;">2</td> </tr> </table> <p>5-3-3 注入材料使用量 三重管工法に必要な注入材料使用量は、次式による。 Q<sub>0</sub> = Σ { (l<sub>i</sub> × γ<sub>2</sub>) × q × (1 + K) } ……………式 5.3 Q<sub>0</sub>: 三重管工法の1本当り注入量 (m) l<sub>i</sub>: 各土質毎の注入長 (m) γ<sub>2</sub>: 各土質毎の注入の単位作業時間 (min/m) q : 三重管工法の注入材の吐出量 (ml/min) K : ロス率</p> <p style="text-align: center;"><b>表5.25 三重管工法の注入材の吐出量(q) (ml/min)</b></p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">q</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">0.18</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;"><b>表5.26 ロス率(K)</b></p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">ロス率</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">+0.06</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">II-2-⑩-31</p>	γ <sub>1</sub>	2	土 質	砂 質 土			粘 性 土		N ≤ 30	30 < N ≤ 50	50 ≤ N ≤ 100	N ≤ 3	3 < N ≤ 5	杭径 (mm)	2,000		1,800	2,000	1,800	γ <sub>2</sub>	16		20			γ <sub>3</sub>	2	γ <sub>4</sub>	2	q	0.18	ロス率	+0.06	<p>5-3-3 注入材料使用量 三重管工法に必要な注入材料使用量は、次式による。 Q<sub>0</sub> = Σ { (l<sub>i</sub> × γ<sub>2</sub>) × q × (1 + K) } ……………式 5.34 Q<sub>0</sub>: 三重管工法の1本当り注入量 (m) l<sub>i</sub>: 各土質毎の注入長 (m) γ<sub>2</sub>: 各土質毎の注入の単位作業時間 (min/m) q : 三重管工法の注入材の吐出量 (ml/min) K : ロス率</p>	→	記載の修正
γ <sub>1</sub>	2																																			
土 質	砂 質 土			粘 性 土																																
	N ≤ 30	30 < N ≤ 50	50 ≤ N ≤ 100	N ≤ 3	3 < N ≤ 5																															
杭径 (mm)	2,000		1,800	2,000	1,800																															
γ <sub>2</sub>	16		20																																	
γ <sub>3</sub>	2																																			
γ <sub>4</sub>	2																																			
q	0.18																																			
ロス率	+0.06																																			
積算上の注意事項			(控え頁)  3/6																																	

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正 現 行	備 考															
現	行	改 正	備 考															
<p>5-3-4 1日当り施工本数 三重管工法における削孔、注入の1日当り施工本数は次式とする。</p> <p>(1) 削孔  <math display="block">N_s = \frac{60 \times H}{T_s}</math>           N<sub>s</sub>: 1セット1日当り削孔施工本数 (本/日)            H: 削孔設備の1日当り実作業時間で6.7時間とする。            T<sub>s</sub>: 1本当り削孔時間 (min)</p> <p>(2) 注入  <math display="block">N_A = \frac{60 \times H}{T_A}</math>           N<sub>A</sub>: 1セット1日当り注入施工本数 (本/日)            H: 注入設備の1日当り実作業時間で6.7時間とする。            T<sub>A</sub>: 1本当り注入時間 (min)</p> <p>5-3-5 諸雑費</p> <p>(1) 削孔            三重管工法の削孔1本当り諸雑費は、工事用水中モータポンプ、水槽(一般工用)の損料及び電力に関する経費等の費用であり、労務費及び機械損料の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">表5.27 三重管工法の削孔諸雑费率 (%)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">削 孔</td> <td style="text-align: center;">11</td> </tr> </table> <p>(2) 注入            三重管工法の注入1本当り諸雑費は、付属機器固化材サイロ、集中プラントミキサ、工事用水中モータポンプ、水槽(一般工用)、グラウト流量・圧力測定装置の損料及び電力に関する経費等の費用であり、労務費、機械賃料、機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">表5.28 三重管工法の注入諸雑费率 (%)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">注 入</td> <td style="text-align: center;">24</td> </tr> </table> <p>5-3-6 損耗材料費</p> <p>(1) 削孔損耗材料費            三重管工法の削孔損耗材料費は、メタルクラウン、スタビライザ、ケーシングパイプ等の費用を計上する。</p> <p>(2) 注入損耗材料費            三重管工法の注入損耗材料費は、超高压ホース、高压圧入ホース、耐圧エアホース、三重管、スィベル、モニター、ノズル等の費用を計上する。</p> <p style="text-align: center;">II-2-⑩-32</p>	表5.27 三重管工法の削孔諸雑费率 (%)		削 孔	11	表5.28 三重管工法の注入諸雑费率 (%)		注 入	24	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>5-3-5 諸雑費</p> <p>(1) 削孔            三重管工法の削孔1本当り諸雑費は、工事用水中モータポンプ、水槽(一般工用)の損料及び電力に関する経費等の費用であり、労務費及び機械損料の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">表5.27 三重管工法の削孔諸雑费率 (%)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">削 孔</td> <td style="text-align: center;">11</td> </tr> </table> <p>(2) 注入            三重管工法の注入1本当り諸雑費は、付属機器固化材サイロ、集中プラントミキサ、工事用水中モータポンプ、水槽(一般工用)、グラウト流量・圧力測定装置の損料及び電力に関する経費等の費用であり、労務費、機械賃料、機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">表5.28 三重管工法の注入諸雑费率 (%)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">注 入</td> <td style="text-align: center;">24.33</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	表5.27 三重管工法の削孔諸雑费率 (%)		削 孔	11	表5.28 三重管工法の注入諸雑费率 (%)		注 入	24.33	記載の修正
表5.27 三重管工法の削孔諸雑费率 (%)																		
削 孔	11																	
表5.28 三重管工法の注入諸雑费率 (%)																		
注 入	24																	
表5.27 三重管工法の削孔諸雑费率 (%)																		
削 孔	11																	
表5.28 三重管工法の注入諸雑费率 (%)																		
注 入	24.33																	
積算上の注意事項			(控え頁) 4/6															

改正理由	一部改正	改正 現行																																																																																																																																																							
現 行		改 正																																																																																																																																																							
<p>(4) 三重管工法注入1本当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td><math>T_n / (6.7 \times 60) \times 1</math></td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td colspan="2">特殊作業員</td> <td></td> <td>"</td> <td><math>T_n / (6.7 \times 60) \times 1</math></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td colspan="2">普通作業員</td> <td></td> <td>"</td> <td><math>T_n / (6.7 \times 60) \times 3</math></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td colspan="2">注入材料</td> <td></td> <td>m<sup>3</sup></td> <td><math>Q_A</math></td> <td>式5.4</td> </tr> <tr> <td colspan="2">損耗材料費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">高圧噴射攪拌式地盤改良機運</td> <td>三重管専用型 11kW</td> <td>日</td> <td><math>T_n / (6.7 \times 60)</math></td> <td>表3.3 機械損料</td> </tr> <tr> <td colspan="2">"</td> <td>超高压ポンプ 圧力39.2MPa 吐出量14~70ℓ/min</td> <td>"</td> <td><math>T_n / (6.7 \times 60)</math></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td colspan="2">グラウトポンプ運転</td> <td>横型二速復動ピストン式 吐出量200ℓ/min</td> <td>"</td> <td><math>T_n / (6.7 \times 60)</math></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td colspan="2">空気圧縮機運転</td> <td>[可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・ 排出ガス対策型(第1次基準値)] 吐出量5.0m<sup>3</sup>/min 吐出圧力0.7MPa</td> <td>"</td> <td><math>T_n / (6.7 \times 60)</math></td> <td>表3.3 機械賃料</td> </tr> <tr> <td colspan="2">ラフテレーンクレーン運</td> <td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 20 t 吊</td> <td>"</td> <td><math>T_n / (6.7 \times 60)</math></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td colspan="2">諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表5.28</td> </tr> <tr> <td colspan="2">特 許 料 金</td> <td></td> <td>"</td> <td>1</td> <td>必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. <math>T_n</math>: 1本当り施工時間 (min) 2. <math>Q_A</math>: 三重管工法の1本当り注入量 (m<sup>3</sup>)</p> <p>(5) 注入設備据付・解体1現場当り及び移送1回当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表5.29</td> </tr> <tr> <td colspan="2">特殊作業員</td> <td></td> <td>"</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td colspan="2">普通作業員</td> <td></td> <td>"</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td colspan="2">ラフテレーンクレーン運</td> <td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 25 t 吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>表 5.29 機械賃料</td> </tr> <tr> <td colspan="2">諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(6) 機械運転単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空 気 圧 縮 機</td> <td>可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 吐出量5m<sup>3</sup>/min 吐出圧力0.7MPa</td> <td>機-16</td> <td>燃料消費量→47 機械賃料数量 二重管工法→1.40 三重管工法→1.75</td> </tr> <tr> <td>空 気 圧 縮 機</td> <td>可搬式・エンジン駆動・スクリュ型(低騒音型)・ 排出ガス対策型(第3次基準値)低騒音型 吐出量15m<sup>3</sup>/min 吐出圧力1.05MPa</td> <td>機-16</td> <td>燃料消費量→147 機械賃料数量→1.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>II-2-⑩-36</p>		名 称		規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役			人	$T_n / (6.7 \times 60) \times 1$	表4.1	特殊作業員			"	$T_n / (6.7 \times 60) \times 1$	"	普通作業員			"	$T_n / (6.7 \times 60) \times 3$	"	注入材料			m <sup>3</sup>	$Q_A$	式5.4	損耗材料費			式	1		高圧噴射攪拌式地盤改良機運		三重管専用型 11kW	日	$T_n / (6.7 \times 60)$	表3.3 機械損料	"		超高压ポンプ 圧力39.2MPa 吐出量14~70ℓ/min	"	$T_n / (6.7 \times 60)$	"	グラウトポンプ運転		横型二速復動ピストン式 吐出量200ℓ/min	"	$T_n / (6.7 \times 60)$	"	空気圧縮機運転		[可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・ 排出ガス対策型(第1次基準値)] 吐出量5.0m <sup>3</sup> /min 吐出圧力0.7MPa	"	$T_n / (6.7 \times 60)$	表3.3 機械賃料	ラフテレーンクレーン運		油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 20 t 吊	"	$T_n / (6.7 \times 60)$	"	諸 雑 費			式	1	表5.28	特 許 料 金			"	1	必要に応じて計上	計						名 称		規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役			人		表5.29	特殊作業員			"		"	普通作業員			"		"	ラフテレーンクレーン運		油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 25 t 吊	日		表 5.29 機械賃料	諸 雑 費			式	1		計						機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	空 気 圧 縮 機	可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 吐出量5m <sup>3</sup> /min 吐出圧力0.7MPa	機-16	燃料消費量→47 機械賃料数量 二重管工法→1.40 三重管工法→1.75	空 気 圧 縮 機	可搬式・エンジン駆動・スクリュ型(低騒音型)・ 排出ガス対策型(第3次基準値)低騒音型 吐出量15m <sup>3</sup> /min 吐出圧力1.05MPa	機-16	燃料消費量→147 機械賃料数量→1.3	<p>改 正</p> <p>現行どおり</p> <p>(6) 機械運転単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空 気 圧 縮 機</td> <td>可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 吐出量5m<sup>3</sup>/min 吐出圧力0.7MPa</td> <td>機-16</td> <td>燃料消費量→<del>47</del>42 機械賃料数量 二重管工法→1.40 三重管工法→1.75</td> </tr> <tr> <td>空 気 圧 縮 機</td> <td>可搬式・エンジン駆動・スクリュ型(低騒音型)・ 排出ガス対策型(第3次基準値)低騒音型 吐出量15m<sup>3</sup>/min 吐出圧力1.05MPa</td> <td>機-16</td> <td>燃料消費量→<del>147</del>127 機械賃料数量→1.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>記載の修正</p>		機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	空 気 圧 縮 機	可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 吐出量5m <sup>3</sup> /min 吐出圧力0.7MPa	機-16	燃料消費量→ <del>47</del> 42 機械賃料数量 二重管工法→1.40 三重管工法→1.75	空 気 圧 縮 機	可搬式・エンジン駆動・スクリュ型(低騒音型)・ 排出ガス対策型(第3次基準値)低騒音型 吐出量15m <sup>3</sup> /min 吐出圧力1.05MPa	機-16	燃料消費量→ <del>147</del> 127 機械賃料数量→1.3
名 称		規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																				
土木一般世話役			人	$T_n / (6.7 \times 60) \times 1$	表4.1																																																																																																																																																				
特殊作業員			"	$T_n / (6.7 \times 60) \times 1$	"																																																																																																																																																				
普通作業員			"	$T_n / (6.7 \times 60) \times 3$	"																																																																																																																																																				
注入材料			m <sup>3</sup>	$Q_A$	式5.4																																																																																																																																																				
損耗材料費			式	1																																																																																																																																																					
高圧噴射攪拌式地盤改良機運		三重管専用型 11kW	日	$T_n / (6.7 \times 60)$	表3.3 機械損料																																																																																																																																																				
"		超高压ポンプ 圧力39.2MPa 吐出量14~70ℓ/min	"	$T_n / (6.7 \times 60)$	"																																																																																																																																																				
グラウトポンプ運転		横型二速復動ピストン式 吐出量200ℓ/min	"	$T_n / (6.7 \times 60)$	"																																																																																																																																																				
空気圧縮機運転		[可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・ 排出ガス対策型(第1次基準値)] 吐出量5.0m <sup>3</sup> /min 吐出圧力0.7MPa	"	$T_n / (6.7 \times 60)$	表3.3 機械賃料																																																																																																																																																				
ラフテレーンクレーン運		油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 20 t 吊	"	$T_n / (6.7 \times 60)$	"																																																																																																																																																				
諸 雑 費			式	1	表5.28																																																																																																																																																				
特 許 料 金			"	1	必要に応じて計上																																																																																																																																																				
計																																																																																																																																																									
名 称		規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																				
土木一般世話役			人		表5.29																																																																																																																																																				
特殊作業員			"		"																																																																																																																																																				
普通作業員			"		"																																																																																																																																																				
ラフテレーンクレーン運		油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 25 t 吊	日		表 5.29 機械賃料																																																																																																																																																				
諸 雑 費			式	1																																																																																																																																																					
計																																																																																																																																																									
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																																																																																																						
空 気 圧 縮 機	可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 吐出量5m <sup>3</sup> /min 吐出圧力0.7MPa	機-16	燃料消費量→47 機械賃料数量 二重管工法→1.40 三重管工法→1.75																																																																																																																																																						
空 気 圧 縮 機	可搬式・エンジン駆動・スクリュ型(低騒音型)・ 排出ガス対策型(第3次基準値)低騒音型 吐出量15m <sup>3</sup> /min 吐出圧力1.05MPa	機-16	燃料消費量→147 機械賃料数量→1.3																																																																																																																																																						
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																																																																																																						
空 気 圧 縮 機	可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 吐出量5m <sup>3</sup> /min 吐出圧力0.7MPa	機-16	燃料消費量→ <del>47</del> 42 機械賃料数量 二重管工法→1.40 三重管工法→1.75																																																																																																																																																						
空 気 圧 縮 機	可搬式・エンジン駆動・スクリュ型(低騒音型)・ 排出ガス対策型(第3次基準値)低騒音型 吐出量15m <sup>3</sup> /min 吐出圧力1.05MPa	機-16	燃料消費量→ <del>147</del> 127 機械賃料数量→1.3																																																																																																																																																						
積算上の注意事項			(控え頁) 5/6																																																																																																																																																						

改正理由	一部改正	改正 現 行																																																																																						
現 行		改 正																																																																																						
<p>表7.1 三重管工法の砂質土N値・杭径表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>砂質土のN値・杭径</th> <th>入力番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>N≦30 3,000mm</td><td>①</td></tr> <tr><td>N≦30 2,500mm</td><td>②</td></tr> <tr><td>N≦50 2,300mm</td><td>③</td></tr> <tr><td>N≦10 2,000mm</td><td>④</td></tr> <tr><td>10&lt;N≦20 1,800mm</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>20&lt;N≦30 1,600mm</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>30&lt;N≦35 1,400mm</td><td>⑦</td></tr> <tr><td>35&lt;N≦40 1,200mm</td><td>⑧</td></tr> <tr><td>40&lt;N≦50 1,000mm</td><td>⑨</td></tr> <tr><td>注入無し</td><td>⑩</td></tr> </tbody> </table> <p>表7.2 三重管工法の粘性土N値・杭径表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>粘性土のN値・杭径</th> <th>入力番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>N≦3 3,000mm</td><td>①</td></tr> <tr><td>N≦3 2,500mm</td><td>②</td></tr> <tr><td>N≦5 2,300mm</td><td>③</td></tr> <tr><td>N&lt;1 2,000mm</td><td>④</td></tr> <tr><td>N=1 1,800mm</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>N=2 1,600mm</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>N=3 1,400mm</td><td>⑦</td></tr> <tr><td>N=4 1,200mm</td><td>⑧</td></tr> <tr><td>注入無し</td><td>⑨</td></tr> </tbody> </table>		砂質土のN値・杭径	入力番号	N≦30 3,000mm	①	N≦30 2,500mm	②	N≦50 2,300mm	③	N≦10 2,000mm	④	10<N≦20 1,800mm	⑤	20<N≦30 1,600mm	⑥	30<N≦35 1,400mm	⑦	35<N≦40 1,200mm	⑧	40<N≦50 1,000mm	⑨	注入無し	⑩	粘性土のN値・杭径	入力番号	N≦3 3,000mm	①	N≦3 2,500mm	②	N≦5 2,300mm	③	N<1 2,000mm	④	N=1 1,800mm	⑤	N=2 1,600mm	⑥	N=3 1,400mm	⑦	N=4 1,200mm	⑧	注入無し	⑨	<p>表7.1 三重管工法の砂質土N値・杭径表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>砂質土のN値・杭径</th> <th>入力番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>N≦30 3,000mm</td><td>①</td></tr> <tr><td>N≦30 2,500mm</td><td>②</td></tr> <tr><td>N≦50 2,300mm</td><td>③</td></tr> <tr><td>N≦10 2,000mm</td><td>④</td></tr> <tr><td>10&lt;N≦20 1,800mm</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>20&lt;N≦30 1,600mm</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>30&lt;N≦35 1,400mm</td><td>⑦</td></tr> <tr><td>35&lt;N≦40 1,200mm</td><td>⑧</td></tr> <tr><td>40&lt;N≦50 1,000mm</td><td>⑨</td></tr> <tr><td>注入無し</td><td>⑩</td></tr> </tbody> </table> <p>表7.2 三重管工法の粘性土N値・杭径表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>粘性土のN値・杭径</th> <th>入力番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>N≦3 3,000mm</td><td>①</td></tr> <tr><td>N≦3 2,500mm</td><td>②</td></tr> <tr><td>N≦5 2,300mm</td><td>③</td></tr> <tr><td>N&lt;1 2,000mm</td><td>④</td></tr> <tr><td>N=1 1,800mm</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>N=2 1,600mm</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>N=3 1,400mm</td><td>⑦</td></tr> <tr><td>N=4 1,200mm</td><td>⑧</td></tr> <tr><td>注入無し</td><td>⑨</td></tr> </tbody> </table>		砂質土のN値・杭径	入力番号	N≦30 3,000mm	①	N≦30 2,500mm	②	N≦50 2,300mm	③	N≦10 2,000mm	④	10<N≦20 1,800mm	⑤	20<N≦30 1,600mm	⑥	30<N≦35 1,400mm	⑦	35<N≦40 1,200mm	⑧	40<N≦50 1,000mm	⑨	注入無し	⑩	粘性土のN値・杭径	入力番号	N≦3 3,000mm	①	N≦3 2,500mm	②	N≦5 2,300mm	③	N<1 2,000mm	④	N=1 1,800mm	⑤	N=2 1,600mm	⑥	N=3 1,400mm	⑦	N=4 1,200mm	⑧	注入無し	⑨	備考
砂質土のN値・杭径	入力番号																																																																																							
N≦30 3,000mm	①																																																																																							
N≦30 2,500mm	②																																																																																							
N≦50 2,300mm	③																																																																																							
N≦10 2,000mm	④																																																																																							
10<N≦20 1,800mm	⑤																																																																																							
20<N≦30 1,600mm	⑥																																																																																							
30<N≦35 1,400mm	⑦																																																																																							
35<N≦40 1,200mm	⑧																																																																																							
40<N≦50 1,000mm	⑨																																																																																							
注入無し	⑩																																																																																							
粘性土のN値・杭径	入力番号																																																																																							
N≦3 3,000mm	①																																																																																							
N≦3 2,500mm	②																																																																																							
N≦5 2,300mm	③																																																																																							
N<1 2,000mm	④																																																																																							
N=1 1,800mm	⑤																																																																																							
N=2 1,600mm	⑥																																																																																							
N=3 1,400mm	⑦																																																																																							
N=4 1,200mm	⑧																																																																																							
注入無し	⑨																																																																																							
砂質土のN値・杭径	入力番号																																																																																							
N≦30 3,000mm	①																																																																																							
N≦30 2,500mm	②																																																																																							
N≦50 2,300mm	③																																																																																							
N≦10 2,000mm	④																																																																																							
10<N≦20 1,800mm	⑤																																																																																							
20<N≦30 1,600mm	⑥																																																																																							
30<N≦35 1,400mm	⑦																																																																																							
35<N≦40 1,200mm	⑧																																																																																							
40<N≦50 1,000mm	⑨																																																																																							
注入無し	⑩																																																																																							
粘性土のN値・杭径	入力番号																																																																																							
N≦3 3,000mm	①																																																																																							
N≦3 2,500mm	②																																																																																							
N≦5 2,300mm	③																																																																																							
N<1 2,000mm	④																																																																																							
N=1 1,800mm	⑤																																																																																							
N=2 1,600mm	⑥																																																																																							
N=3 1,400mm	⑦																																																																																							
N=4 1,200mm	⑧																																																																																							
注入無し	⑨																																																																																							
記載の修正																																																																																								
<p>(3) 高圧噴射攪拌工（三重管工法〔削孔工〕）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工歩掛コード</th> <th>WB223330</th> <th>施工単位</th> <th>本</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>J 1</td> <td>J 2</td> <td>J 3</td> <td>J 4</td> <td>J 5</td> </tr> <tr> <td>レキ質土 N≦50 の削孔長 (m) (実数入力)</td> <td>レキ質土 N&gt;50 の削孔長 (m) (実数入力)</td> <td>砂質土 N≦50 の削孔長 (m) (実数入力)</td> <td>砂質土 N&gt;50 の削孔長 (m) (実数入力)</td> <td>粘性土 の削孔長 (m) (実数入力)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 高圧噴射攪拌工（三重管工法〔注入工〕）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工歩掛コード</th> <th>WB223340</th> <th>施工単位</th> <th>本</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>J 1</td> <td>J 2</td> <td>J 3</td> <td>J 4</td> <td>J 5</td> <td>J 6</td> <td>J 7</td> </tr> <tr> <td>砂質土の N値・杭径 (表7.3)</td> <td>粘性土の N値・杭径 (表7.4)</td> <td>砂質土の 注入長 (m) (実数入力)</td> <td>粘性土の 注入長 (m) (実数入力)</td> <td>土盛り長 (m) (実数入力)</td> <td>ラフテレンクレーン 賃料補正係数 ①標準(1.0) ②標準以外(実数入力)</td> <td>特許料 の有無 ①無 ②有</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 本コードには、注入材の材料ロスを含む。  2. J 1 条件で④を選択した場合は、J 2 条件で③とJ 3 条件は選択できない。  3. J 2 条件で③を選択した場合は、J 4 条件は選択できない。  4. J 1 条件で④以外、J 2 条件で③以外を選択した場合は、注入材単価 (Y-0232000) [円/㎡] を単価登録すること。  5. J 7 条件で②を選択した場合は、特許料金 (Y-7550000) [円/本] を単価登録すること。  6. ラフテレンクレーン賃料補正 (夜間作業) を行った場合は、労務費調整係数を入力すること。</p> <p>表7.3 三重管工法の砂質土N値・杭径表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>砂質土のN値・杭径</th> <th>入力番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>N≦30 2,000mm</td><td>①</td></tr> <tr><td>30&lt;N≦50 2,000mm</td><td>②</td></tr> <tr><td>50&lt;N≦100 1,800mm</td><td>③</td></tr> <tr><td>注入無し</td><td>④</td></tr> </tbody> </table> <p>表7.4 三重管工法の粘性土N値・杭径表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>粘性土のN値・杭径</th> <th>入力番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>N≦3 2,000mm</td><td>①</td></tr> <tr><td>3&lt;N≦5 1,800mm</td><td>②</td></tr> <tr><td>注入無し</td><td>③</td></tr> </tbody> </table>				施工歩掛コード	WB223330	施工単位	本	施工区分	入 力 条 件			各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	レキ質土 N≦50 の削孔長 (m) (実数入力)	レキ質土 N>50 の削孔長 (m) (実数入力)	砂質土 N≦50 の削孔長 (m) (実数入力)	砂質土 N>50 の削孔長 (m) (実数入力)	粘性土 の削孔長 (m) (実数入力)	施工歩掛コード	WB223340	施工単位	本	施工区分	入 力 条 件			各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6	J 7	砂質土の N値・杭径 (表7.3)	粘性土の N値・杭径 (表7.4)	砂質土の 注入長 (m) (実数入力)	粘性土の 注入長 (m) (実数入力)	土盛り長 (m) (実数入力)	ラフテレンクレーン 賃料補正係数 ①標準(1.0) ②標準以外(実数入力)	特許料 の有無 ①無 ②有	砂質土のN値・杭径	入力番号	N≦30 2,000mm	①	30<N≦50 2,000mm	②	50<N≦100 1,800mm	③	注入無し	④	粘性土のN値・杭径	入力番号	N≦3 2,000mm	①	3<N≦5 1,800mm	②	注入無し	③																									
施工歩掛コード	WB223330	施工単位	本																																																																																					
施工区分	入 力 条 件																																																																																							
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5																																																																																			
	レキ質土 N≦50 の削孔長 (m) (実数入力)	レキ質土 N>50 の削孔長 (m) (実数入力)	砂質土 N≦50 の削孔長 (m) (実数入力)	砂質土 N>50 の削孔長 (m) (実数入力)	粘性土 の削孔長 (m) (実数入力)																																																																																			
施工歩掛コード	WB223340	施工単位	本																																																																																					
施工区分	入 力 条 件																																																																																							
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6	J 7																																																																																	
	砂質土の N値・杭径 (表7.3)	粘性土の N値・杭径 (表7.4)	砂質土の 注入長 (m) (実数入力)	粘性土の 注入長 (m) (実数入力)	土盛り長 (m) (実数入力)	ラフテレンクレーン 賃料補正係数 ①標準(1.0) ②標準以外(実数入力)	特許料 の有無 ①無 ②有																																																																																	
砂質土のN値・杭径	入力番号																																																																																							
N≦30 2,000mm	①																																																																																							
30<N≦50 2,000mm	②																																																																																							
50<N≦100 1,800mm	③																																																																																							
注入無し	④																																																																																							
粘性土のN値・杭径	入力番号																																																																																							
N≦3 2,000mm	①																																																																																							
3<N≦5 1,800mm	②																																																																																							
注入無し	③																																																																																							
積算上の注意事項			(控え頁) 6/6																																																																																					

改正理由	一部改正	改 正 現 行	備 考																														
現	行	改 正	備 考																														
<p>5-3 諸雑費</p> <p>諸雑費は、足場材（敷鉄板（中層混合処理機用・スラリープラント用））の賃料及び設置・撤去・移設に要する費用（バックホウ運転費用）、攪拌混合装置の損耗材料費（チェーン、攪拌翼、切削刃、ガイドローラ、スプロケット、アイドラーの各部品費）、空気圧縮機の賃料及び運転経費、電力に関する経費等の費用及び改良後の整地に要する費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表5.4 諸雑費率(%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>諸 雑 費 率 ( % )</th> <th>改良深度 L (m)</th> <th>諸 雑 費 率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>2 m &lt; L ≤ 5 m</td> <td>3.2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>5 m &lt; L ≤ 8 m</td> <td>2.4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>8 m &lt; L ≤ 10 m</td> <td>2.4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>10 m &lt; L ≤ 13 m</td> <td>2.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>5-4 その他</p> <p>(1) 次の条件等により攪拌翼が貫入出来ない場合は、バックホウによる先掘りを行うものとし、「第Ⅱ編第1章②土工」による。</p> <p>1) 表層に転石等が多い地盤</p> <p>2) 表層に障害物等のある地盤</p> <p>(2) 中層混合処理工は、特許を有する工法の場合もあるので、特許料が必要な場合は別途計上する。</p> <p>(3) 中層混合処理機の分解・組立及び輸送については、「第Ⅰ編第2章②間接工事費2-2 運搬費(5) 重建設機 械分解・組立」を適用する。</p> <p>(4) スラリープラントを中心に半径約200mを超える場合、揚程が5mを超える場合、又は同一現場内に施工箇所が2箇所以上あり、スラリープラントを移設しなければならない場合は、「第Ⅱ編第2章① 軟弱地盤処理工 ①-3 スラリー攪拌工」の「5-1 スラリープラント現場内移設歩掛」を適用する。</p> <p>(5) 汚泥土の処分が必要な場合は、別途計上する。</p> <p>(6) 注入材配合用水、機器洗浄等に用いる上水道等必要な場合は、別途計上する。</p> <p style="text-align: center;">Ⅱ-2-①-48</p>	諸 雑 費 率 ( % )	改良深度 L (m)	諸 雑 費 率		2 m < L ≤ 5 m	3.2		5 m < L ≤ 8 m	2.4		8 m < L ≤ 10 m	2.4		10 m < L ≤ 13 m	2.4	→	<p>5-3 諸雑費</p> <p>諸雑費は、足場材（敷鉄板（中層混合処理機用・スラリープラント用））の賃料及び設置・撤去・移設に要する費用（バックホウ運転費用）、攪拌混合装置の損耗材料費（チェーン、攪拌翼、切削刃、ガイドローラ、スプロケット、アイドラーの各部品費）、空気圧縮機の賃料及び運転経費、電力に関する経費等の費用及び改良後の整地に要する費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表5.4 諸雑費率(%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>諸 雑 費 率 ( % )</th> <th>改良深度 L (m)</th> <th>諸 雑 費 率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>2 m &lt; L ≤ 5 m</td> <td>3.2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>5 m &lt; L ≤ 8 m</td> <td style="color: red;">2.423</td> </tr> <tr> <td></td> <td>8 m &lt; L ≤ 10 m</td> <td>2.4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>10 m &lt; L ≤ 13 m</td> <td>2.4</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">} 現行どおり</p>	諸 雑 費 率 ( % )	改良深度 L (m)	諸 雑 費 率		2 m < L ≤ 5 m	3.2		5 m < L ≤ 8 m	2.423		8 m < L ≤ 10 m	2.4		10 m < L ≤ 13 m	2.4	記載の修正
諸 雑 費 率 ( % )	改良深度 L (m)	諸 雑 費 率																															
	2 m < L ≤ 5 m	3.2																															
	5 m < L ≤ 8 m	2.4																															
	8 m < L ≤ 10 m	2.4																															
	10 m < L ≤ 13 m	2.4																															
諸 雑 費 率 ( % )	改良深度 L (m)	諸 雑 費 率																															
	2 m < L ≤ 5 m	3.2																															
	5 m < L ≤ 8 m	2.423																															
	8 m < L ≤ 10 m	2.4																															
	10 m < L ≤ 13 m	2.4																															
積算上の注意事項			(控え頁) 1/2																														



工 種	中層混合処理工
-----	---------

改正理由	一部改正	改正		備考																																																		
		現	行																																																			
<p>6. 単 価 表</p> <p>(1) 中層混合処理工 100m<sup>3</sup> 当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td><math>\frac{100}{D} \times 1</math></td> <td>表4.1 表5.1</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>"</td> <td><math>\frac{100}{D} \times 1</math></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>"</td> <td><math>\frac{100}{D} \times 2</math></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>改良材料</td> <td></td> <td>t</td> <td>V × 1.00</td> <td>式5.1</td> </tr> <tr> <td>中層混合処理機運転</td> <td></td> <td>日</td> <td><math>\frac{100}{D}</math></td> <td>表3.1, 表5.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>スラリープラント運転</td> <td></td> <td>"</td> <td><math>\frac{100}{D}</math></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表5.4</td> </tr> <tr> <td>特 許 料 金</td> <td></td> <td>"</td> <td>1</td> <td>必要に応じて 計上</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D: 1日当り作業量 (m<sup>3</sup>/日) V: 1m<sup>3</sup>当りの改良材使用量 (t/m<sup>3</sup>)</p>		名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人	$\frac{100}{D} \times 1$	表4.1 表5.1	特殊作業員		"	$\frac{100}{D} \times 1$	"	普通作業員		"	$\frac{100}{D} \times 2$	"	改良材料		t	V × 1.00	式5.1	中層混合処理機運転		日	$\frac{100}{D}$	表3.1, 表5.1 機械損料	スラリープラント運転		"	$\frac{100}{D}$	"	諸 雑 費		式	1	表5.4	特 許 料 金		"	1	必要に応じて 計上	計		式	1		<p>現行</p>		
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																		
土木一般世話役		人	$\frac{100}{D} \times 1$	表4.1 表5.1																																																		
特殊作業員		"	$\frac{100}{D} \times 1$	"																																																		
普通作業員		"	$\frac{100}{D} \times 2$	"																																																		
改良材料		t	V × 1.00	式5.1																																																		
中層混合処理機運転		日	$\frac{100}{D}$	表3.1, 表5.1 機械損料																																																		
スラリープラント運転		"	$\frac{100}{D}$	"																																																		
諸 雑 費		式	1	表5.4																																																		
特 許 料 金		"	1	必要に応じて 計上																																																		
計		式	1																																																			
<p>(2) 機械運転単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中層混合処理機 トレンチャ機式</td> <td>[ベ-マシン] 20t(山積0.8m<sup>3</sup>)級ベ-ック材 【攪拌混合装置】 改良深度(標準)5m 【施工管理装置】 1t-スワ-ル用</td> <td>機-20</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→118 機械損料数量1(ベ-マシン) →1.66 機械損料数量2(攪拌混合装置) →1.66 機械損料数量3(施工管理装置) →1.66</td> </tr> <tr> <td>中層混合処理機 トレンチャ機式</td> <td>[ベ-マシン] 30t(山積1.4m<sup>3</sup>)級ベ-ック材 【攪拌混合装置】 改良深度(標準)8m 【施工管理装置】 1t-スワ-ル用</td> <td>機-20</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→195 機械損料数量1(ベ-マシン) →1.66 機械損料数量2(攪拌混合装置) →1.66 機械損料数量3(施工管理装置) →1.66</td> </tr> <tr> <td>中層混合処理機 トレンチャ機式</td> <td>[ベ-マシン] 40t(山積1.9m<sup>3</sup>)級ベ-ック材 【攪拌混合装置】 改良深度(標準)10m 【施工管理装置】 1t-スワ-ル用</td> <td>機-20</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→251 機械損料数量1(ベ-マシン) →1.66 機械損料数量2(攪拌混合装置) →1.66 機械損料数量3(施工管理装置) →1.66</td> </tr> <tr> <td>中層混合処理機 トレンチャ機式</td> <td>[ベ-マシン] 40t(山積1.9m<sup>3</sup>)級ベ-ック材(ワ キ-スワ-ル) 【攪拌混合装置】 改良深度(標準)13m 【施工管理装置】 2t-スワ-ル用</td> <td>機-20</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→251 機械損料数量1(ベ-マシン) →1.66 機械損料数量2(攪拌混合装置) →1.66 機械損料数量3(施工管理装置) →1.66</td> </tr> <tr> <td>深層混合処理機 (スラリー式)</td> <td>スラリープラント(全自動) 能力2.0m<sup>3</sup>/h</td> <td>機-25</td> <td>機械損料数量→1.66</td> </tr> </tbody> </table>		機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	中層混合処理機 トレンチャ機式	[ベ-マシン] 20t(山積0.8m <sup>3</sup> )級ベ-ック材 【攪拌混合装置】 改良深度(標準)5m 【施工管理装置】 1t-スワ-ル用	機-20	運転労務数量→1.00 燃料消費量→118 機械損料数量1(ベ-マシン) →1.66 機械損料数量2(攪拌混合装置) →1.66 機械損料数量3(施工管理装置) →1.66	中層混合処理機 トレンチャ機式	[ベ-マシン] 30t(山積1.4m <sup>3</sup> )級ベ-ック材 【攪拌混合装置】 改良深度(標準)8m 【施工管理装置】 1t-スワ-ル用	機-20	運転労務数量→1.00 燃料消費量→195 機械損料数量1(ベ-マシン) →1.66 機械損料数量2(攪拌混合装置) →1.66 機械損料数量3(施工管理装置) →1.66	中層混合処理機 トレンチャ機式	[ベ-マシン] 40t(山積1.9m <sup>3</sup> )級ベ-ック材 【攪拌混合装置】 改良深度(標準)10m 【施工管理装置】 1t-スワ-ル用	機-20	運転労務数量→1.00 燃料消費量→251 機械損料数量1(ベ-マシン) →1.66 機械損料数量2(攪拌混合装置) →1.66 機械損料数量3(施工管理装置) →1.66	中層混合処理機 トレンチャ機式	[ベ-マシン] 40t(山積1.9m <sup>3</sup> )級ベ-ック材(ワ キ-スワ-ル) 【攪拌混合装置】 改良深度(標準)13m 【施工管理装置】 2t-スワ-ル用	機-20	運転労務数量→1.00 燃料消費量→251 機械損料数量1(ベ-マシン) →1.66 機械損料数量2(攪拌混合装置) →1.66 機械損料数量3(施工管理装置) →1.66	深層混合処理機 (スラリー式)	スラリープラント(全自動) 能力2.0m <sup>3</sup> /h	機-25	機械損料数量→1.66	<p>改正</p>		<p>記載の修正</p>																										
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																			
中層混合処理機 トレンチャ機式	[ベ-マシン] 20t(山積0.8m <sup>3</sup> )級ベ-ック材 【攪拌混合装置】 改良深度(標準)5m 【施工管理装置】 1t-スワ-ル用	機-20	運転労務数量→1.00 燃料消費量→118 機械損料数量1(ベ-マシン) →1.66 機械損料数量2(攪拌混合装置) →1.66 機械損料数量3(施工管理装置) →1.66																																																			
中層混合処理機 トレンチャ機式	[ベ-マシン] 30t(山積1.4m <sup>3</sup> )級ベ-ック材 【攪拌混合装置】 改良深度(標準)8m 【施工管理装置】 1t-スワ-ル用	機-20	運転労務数量→1.00 燃料消費量→195 機械損料数量1(ベ-マシン) →1.66 機械損料数量2(攪拌混合装置) →1.66 機械損料数量3(施工管理装置) →1.66																																																			
中層混合処理機 トレンチャ機式	[ベ-マシン] 40t(山積1.9m <sup>3</sup> )級ベ-ック材 【攪拌混合装置】 改良深度(標準)10m 【施工管理装置】 1t-スワ-ル用	機-20	運転労務数量→1.00 燃料消費量→251 機械損料数量1(ベ-マシン) →1.66 機械損料数量2(攪拌混合装置) →1.66 機械損料数量3(施工管理装置) →1.66																																																			
中層混合処理機 トレンチャ機式	[ベ-マシン] 40t(山積1.9m <sup>3</sup> )級ベ-ック材(ワ キ-スワ-ル) 【攪拌混合装置】 改良深度(標準)13m 【施工管理装置】 2t-スワ-ル用	機-20	運転労務数量→1.00 燃料消費量→251 機械損料数量1(ベ-マシン) →1.66 機械損料数量2(攪拌混合装置) →1.66 機械損料数量3(施工管理装置) →1.66																																																			
深層混合処理機 (スラリー式)	スラリープラント(全自動) 能力2.0m <sup>3</sup> /h	機-25	機械損料数量→1.66																																																			
<p>積算上の注意事項</p>		<p>II-2-⑩-49</p>		<p>(控え頁)</p> <p>2/2</p>																																																		

現行どおり

(2) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
中層混合処理機 トレンチャ機式	[ベ-マシン] 20t(山積0.8m <sup>3</sup> )級ベ-ック材 【攪拌混合装置】 改良深度(標準)5m 【施工管理装置】 1t-スワ-ル用	機-20	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <del>118</del> 113 機械損料数量1(ベ-マシン) →1.66 機械損料数量2(攪拌混合装置) →1.66 機械損料数量3(施工管理装置) →1.66
中層混合処理機 トレンチャ機式	[ベ-マシン] 30t(山積1.4m <sup>3</sup> )級ベ-ック材 【攪拌混合装置】 改良深度(標準)8m 【施工管理装置】 1t-スワ-ル用	機-20	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <del>195</del> 183 機械損料数量1(ベ-マシン) →1.66 機械損料数量2(攪拌混合装置) →1.66 機械損料数量3(施工管理装置) →1.66
中層混合処理機 トレンチャ機式	[ベ-マシン] 40t(山積1.9m <sup>3</sup> )級ベ-ック材 【攪拌混合装置】 改良深度(標準)10m 【施工管理装置】 1t-スワ-ル用	機-20	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <del>251</del> 233 機械損料数量1(ベ-マシン) →1.66 機械損料数量2(攪拌混合装置) →1.66 機械損料数量3(施工管理装置) →1.66
中層混合処理機 トレンチャ機式	[ベ-マシン] 40t(山積1.9m <sup>3</sup> )級ベ-ック材(ワ キ-スワ-ル) 【攪拌混合装置】 改良深度(標準)13m 【施工管理装置】 2t-スワ-ル用	機-20	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <del>251</del> 233 機械損料数量1(ベ-マシン) →1.66 機械損料数量2(攪拌混合装置) →1.66 機械損料数量3(施工管理装置) →1.66
深層混合処理機 (スラリー式)	スラリープラント(全自動) 能力2.0m <sup>3</sup> /h	機-25	機械損料数量→1.66

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																										
現	行	改 正	備 考																										
<p>(4) 諸雑費 二重管ストレーナ工法の1本当り諸雑費は、グラウト流量・圧力測定装置、薬液ミキサ、グラウトミキサ、送水ポンプ、送液ポンプ、貯水槽、貯液槽の損料及び電力に関する経費等の費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額（水ガラス積算流量計は除く）に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;"><b>表5.4 二重管ストレーナ工法の諸雑費率</b> (%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>工 法</th> <th>セット数</th> <th>諸雑費率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">単 相 方 式</td> <td>2</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">複 相 方 式</td> <td>2</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table>	工 法	セット数	諸雑費率	単 相 方 式	2	20	4	19	複 相 方 式	2	21	4	20	<p>(4) 諸雑費 二重管ストレーナ工法の1本当り諸雑費は、グラウト流量・圧力測定装置、薬液ミキサ、グラウトミキサ、送水ポンプ、送液ポンプ、貯水槽、貯液槽の損料及び電力に関する経費等の費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額（水ガラス積算流量計は除く）に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;"><b>表5.4 二重管ストレーナ工法の諸雑費率</b> (%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>工 法</th> <th>セット数</th> <th>諸雑費率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">単 相 方 式</td> <td>2</td> <td style="color: red;">2019</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td style="color: red;">1918</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">複 相 方 式</td> <td>2</td> <td style="color: red;">2120</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td style="color: red;">2019</td> </tr> </tbody> </table>	工 法	セット数	諸雑費率	単 相 方 式	2	2019	4	1918	複 相 方 式	2	2120	4	2019	<p>→</p> <p>現行どおり</p>	<p>記載の変更</p>
工 法	セット数	諸雑費率																											
単 相 方 式	2	20																											
	4	19																											
複 相 方 式	2	21																											
	4	20																											
工 法	セット数	諸雑費率																											
単 相 方 式	2	2019																											
	4	1918																											
複 相 方 式	2	2120																											
	4	2019																											
<p>5-2 二重管ダブルバックー工法 (1) 1本当り削孔施工時間 (T<sub>0</sub>) 二重管ダブルバックー工法における1本当り削孔施工時間は、次式による。 <math>T_0 = T_1 + T_2 + T_3</math> T<sub>0</sub>: 二重管ダブルバックー工法1本当り削孔時間 (min) T<sub>1</sub>: 機械準備時間 (min) T<sub>2</sub>: 削孔時間 (min) T<sub>3</sub>: 薬液注入管準備時間 (min)</p> <p>1) 機械準備時間 (T<sub>1</sub>) 機械準備時間は、機械移動、機械据付及び器具洗浄時間であり14分とする。 なお、打設間隔は1mを標準とする。</p> <p>2) 削孔時間 (T<sub>2</sub>) 各土質における削孔時間は、次式とする。 <math>T_2 = \sum (\gamma_i \times \theta_i)</math> <math>\gamma_i</math>: 各土質毎の削孔の単位作業時間 (min/m) <math>\theta_i</math>: 各土質毎の削孔長 (m)</p> <p style="text-align: center;"><b>表5.5 削孔の単位作業時間(γ<sub>i</sub>)</b> (min/m)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>土 質</th> <th>レキ質土</th> <th>砂質土</th> <th>粘性土</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>γ<sub>i</sub></td> <td style="text-align: center;">6.0</td> <td style="text-align: center;">5.0</td> <td style="text-align: center;">3.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>3) 薬液注入管準備時間 (T<sub>3</sub>) 薬液注入管準備時間は、グラウト注入、薬液注入管建込及びケーシング引抜時間であり、次式とする。 <math>T_3 = \gamma_2 \times L</math> γ<sub>2</sub>: 薬液注入管準備の単位作業時間 (min/m) L: 削孔長 (m)</p> <p style="text-align: center;"><b>表5.6 薬液注入管準備の単位作業時間(γ<sub>2</sub>)</b> (min/m)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tbody> <tr> <td>γ<sub>2</sub></td> <td style="text-align: center;">3.0</td> </tr> </tbody> </table>	土 質	レキ質土	砂質土	粘性土	γ <sub>i</sub>	6.0	5.0	3.0	γ <sub>2</sub>	3.0	<p>(2) 1本当り一次注入施工時間 (T<sub>n</sub>) 二重管ダブルバックー工法における一次注入の1本当り注入施工時間は、次式による。 <math>T_n = T_1 + T_2 + T_3</math> T<sub>n</sub>: 二重管ダブルバックー工法一次注入の1本当り注入時間 (min) T<sub>1</sub>: 機械準備時間 (min) T<sub>2</sub>: 注入時間 (min) T<sub>3</sub>: 土盛り部引抜時間 (min)</p> <p>1) 機械準備時間 (T<sub>1</sub>) 機械準備時間は、機械移動、機械据付及び器具洗浄時間であり13分とする。</p> <p style="text-align: center;">II-2-⑫-5</p>																		
土 質	レキ質土	砂質土	粘性土																										
γ <sub>i</sub>	6.0	5.0	3.0																										
γ <sub>2</sub>	3.0																												
積算上の注意事項			(控え頁) 1/4																										

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正 現 行	備 考																	
	<p style="text-align: center;">現 行</p> <p>2) 一次注入材料  <math>Q_{P1} = V \times \lambda \times 1,000</math>……式 5.3  <math>Q_{P1}</math> : 二重管ダブルパッカー工法の一次注入の1本当り注入量 (ℓ)  <math>V</math> : 二重管ダブルパッカー工法の一次注入の1本当り注入対象土量 (m<sup>3</sup>)  <math>\lambda</math> : 注入率</p> <p>3) 二次注入材料  <math>Q_{P2} = V \times \lambda \times 1,000</math>……式 5.4  <math>Q_{P2}</math> : 二重管ダブルパッカー工法の二次注入の1本当り注入量 (ℓ)  <math>V</math> : 二重管ダブルパッカー工法の二次注入の1本当り注入対象土量 (m<sup>3</sup>)  <math>\lambda</math> : 注入率</p> <p>(5) 1日当り施工本数            二重管ダブルパッカー工法における削孔、一次注入、二次注入の1日当り施工本数は、次式とする。</p> <p>1) 削孔  <math>N = 60 \times H / T_0 \times 2</math>  <math>N</math> : 1 (2) セット1日当り削孔施工本数 (本/日)  <math>H</math> : 削孔設備の1日当り実作業時間で、6.5時間とする。  <math>T_0</math> : 1本当り削孔時間 (min)</p> <p>2) 一次注入  <math>N = 60 \times H / T_{P1} \times 4</math>  <math>N</math> : 4セット1日当り注入施工本数 (本/日)  <math>H</math> : 注入設備の1日当り実作業時間で、7.3時間とする。  <math>T_{P1}</math> : 1本当り注入時間 (min)</p> <p>3) 二次注入  <math>N = 60 \times H / T_{P2} \times 4</math>  <math>N</math> : 4セット1日当り注入施工本数 (本/日)  <math>H</math> : 注入設備の1日当り実作業時間で、7.3時間とする。  <math>T_{P2}</math> : 1本当り注入時間 (min)</p> <p>(6) 諸雑費            二重管ダブルパッカー工法削孔時の諸雑費は、グラウトポンプ・グラウトミキサ・送水ポンプ・貯水槽の損料及び電力に関する経費等の費用であり、一次注入及び二次注入時の諸雑費は、グラウト流量・圧力測定装置、グラウトミキサ・パッカー加圧ポンプ・送水ポンプ・送液ポンプ、貯水槽・貯液槽の損料及び電力に関する経費等の費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額（水ガラス積算流量計は除く）に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表5.12 二重管ダブルパッカー工法の諸雑費率 (%)</caption> <thead> <tr> <th>条 件</th> <th>セット数</th> <th>諸雑費率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">削 孔</td> <td>1</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>一 次 注 入</td> <td>4</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>二 次 注 入 有 機 系</td> <td>4</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>二 次 注 入 無 機 系</td> <td>4</td> <td>21</td> </tr> </tbody> </table>	条 件	セット数	諸雑費率	削 孔	1	9	2	6	一 次 注 入	4	27	二 次 注 入 有 機 系	4	26	二 次 注 入 無 機 系	4	21	改 正	
条 件	セット数	諸雑費率																		
削 孔	1	9																		
	2	6																		
一 次 注 入	4	27																		
二 次 注 入 有 機 系	4	26																		
二 次 注 入 無 機 系	4	21																		
	<p style="text-align: center;">改 正</p> <p>(6) 諸雑費            二重管ダブルパッカー工法削孔時の諸雑費は、グラウトポンプ・グラウトミキサ・送水ポンプ・貯水槽の損料及び電力に関する経費等の費用であり、一次注入及び二次注入時の諸雑費は、グラウト流量・圧力測定装置、グラウトミキサ・パッカー加圧ポンプ・送水ポンプ・送液ポンプ、貯水槽・貯液槽の損料及び電力に関する経費等の費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額（水ガラス積算流量計は除く）に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表5.12 二重管ダブルパッカー工法の諸雑費率 (%)</caption> <thead> <tr> <th>条 件</th> <th>セット数</th> <th>諸雑費率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">削 孔</td> <td>1</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>一 次 注 入</td> <td>4</td> <td>2726</td> </tr> <tr> <td>二 次 注 入 有 機 系</td> <td>4</td> <td>2625</td> </tr> <tr> <td>二 次 注 入 無 機 系</td> <td>4</td> <td>2120</td> </tr> </tbody> </table>	条 件	セット数	諸雑費率	削 孔	1	9	2	6	一 次 注 入	4	2726	二 次 注 入 有 機 系	4	2625	二 次 注 入 無 機 系	4	2120	現 行	備 考
条 件	セット数	諸雑費率																		
削 孔	1	9																		
	2	6																		
一 次 注 入	4	2726																		
二 次 注 入 有 機 系	4	2625																		
二 次 注 入 無 機 系	4	2120																		
積算上の注意事項	II-2-03-7	記載の変更	(控え頁) 2/4																	

改正理由	一部改正		改正 現 行																																																																																																
現 行			改 正		備 考																																																																																														
<p>(2) 注入設備移設歩掛 注入範囲が注入設備を中心に半径 50m を超える場合、又は同一現場内に施工箇所が 2 箇所以上あり、注入設備を移設しなければならない場合は次表を標準とする。</p> <p><b>表 5. 18 注入設備移設歩掛</b> (1 回当り)</p> <table border="1" data-bbox="230 480 945 660"> <thead> <tr> <th rowspan="3">名 称</th> <th rowspan="3">規格</th> <th rowspan="3">単 位</th> <th colspan="2">二重管ストレーナ工法</th> <th colspan="3">二重管ダブルバックカー工法</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">2 セット</th> <th rowspan="2">4 セット</th> <th colspan="3">削 孔</th> </tr> <tr> <th>1 セット</th> <th>2 セット</th> <th>4 セット</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.3</td> <td>2.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>5.5</td> <td>8.5</td> <td>3.0</td> <td>4.0</td> <td>7.5</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>2.2</td> <td>3.5</td> <td>1.0</td> <td>1.5</td> <td>2.5</td> </tr> <tr> <td>トラック (クレーン装置付)</td> <td>ベストラック 4 ～ 4.5 t 積・吊能 力 2.9 t</td> <td>h</td> <td>8</td> <td>11</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table> <p>5-5 排水汚泥土処理費 注入排水、排土などのための処理設備が必要な場合は、次表を標準とする。</p> <p><b>表 5. 19 排水汚泥土処理費</b> (1 日当り)</p> <table border="1" data-bbox="255 735 920 895"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>規 格</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td></td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>工事用水中モータポンプ</td> <td>日</td> <td>普通型(潜水ポンプ) 口径 50 mm 全揚程 20m</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>アルカリ水中和装置</td> <td>h</td> <td>炭酸ガス式 処理量 6m<sup>3</sup>/h</td> <td>6.8</td> </tr> <tr> <td>水槽</td> <td>供用日</td> <td>5 m<sup>3</sup></td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>諸雑費率</td> <td>%</td> <td></td> <td>22</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 本工程以外における工事で濁水処理施設を設け、かつ、その施設で本工程で発生した削孔水等の濁水を処理する場合は計上しない。 2. 諸雑費は電力に関する経費等の費用であり、労務費及び機械損料の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 3. 現場における中和剤材料費、排泥運搬のための汚泥吸排車及び処理費は、別途計上する。 4. 上表は二重管ストレーナ工法 4 セットまで、二重管ダブルバックカー工法削孔 2 セット、注入 4 セットまでとする。</p> <p>5-6 足場工 足場が必要な場合は、別途計上する。</p> <p>5-7 その他 (1) 本工法は、特許を有する工法の場合もあるので、特許料が必要な場合は別途計上する。 (2) 用水費については、現場条件を確認の上、必要に応じて別途計上する。</p>	名 称	規格	単 位	二重管ストレーナ工法		二重管ダブルバックカー工法			2 セット	4 セット	削 孔			1 セット	2 セット	4 セット	土木一般世話役		人	1.3	2.0	1.0	1.0	2.0	特殊作業員		人	5.5	8.5	3.0	4.0	7.5	普通作業員		人	2.2	3.5	1.0	1.5	2.5	トラック (クレーン装置付)	ベストラック 4 ～ 4.5 t 積・吊能 力 2.9 t	h	8	11	4	4	12	名 称	単 位	規 格	数 量	普通作業員	人		0.8	工事用水中モータポンプ	日	普通型(潜水ポンプ) 口径 50 mm 全揚程 20m	1.0	アルカリ水中和装置	h	炭酸ガス式 処理量 6m <sup>3</sup> /h	6.8	水槽	供用日	5 m <sup>3</sup>	1.5	諸雑費率	%		22	<p>II-2-⑫-10</p>	<p>現行どおり</p> <p>5-5 排水汚泥土処理費 注入排水、排土などのための処理設備が必要な場合は、次表を標準とする。</p> <p><b>表 5. 19 排水汚泥土処理費</b> (1 日当り)</p> <table border="1" data-bbox="1122 735 1787 895"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>規 格</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td></td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>工事用水中モータポンプ</td> <td>日</td> <td>普通型(潜水ポンプ) 口径 50 mm 全揚程 20m</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>アルカリ水中和装置</td> <td>h</td> <td>炭酸ガス式 処理量 6m<sup>3</sup>/h</td> <td>6.8</td> </tr> <tr> <td>水槽</td> <td>供用日</td> <td>5 m<sup>3</sup></td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>諸雑費率</td> <td>%</td> <td></td> <td>22.20</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 本工程以外における工事で濁水処理施設を設け、かつ、その施設で本工程で発生した削孔水等の濁水を処理する場合は計上しない。 2. 諸雑費は電力に関する経費等の費用であり、労務費及び機械損料の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 3. 現場における中和剤材料費、排泥運搬のための汚泥吸排車及び処理費は、別途計上する。 4. 上表は二重管ストレーナ工法 4 セットまで、二重管ダブルバックカー工法削孔 2 セット、注入 4 セットまでとする。</p> <p>現行どおり</p>	名 称	単 位	規 格	数 量	普通作業員	人		0.8	工事用水中モータポンプ	日	普通型(潜水ポンプ) 口径 50 mm 全揚程 20m	1.0	アルカリ水中和装置	h	炭酸ガス式 処理量 6m <sup>3</sup> /h	6.8	水槽	供用日	5 m <sup>3</sup>	1.5	諸雑費率	%		22.20	<p>記載の変更</p>
名 称				規格	単 位	二重管ストレーナ工法		二重管ダブルバックカー工法																																																																																											
						2 セット	4 セット	削 孔																																																																																											
	1 セット	2 セット	4 セット																																																																																																
土木一般世話役		人	1.3	2.0	1.0	1.0	2.0																																																																																												
特殊作業員		人	5.5	8.5	3.0	4.0	7.5																																																																																												
普通作業員		人	2.2	3.5	1.0	1.5	2.5																																																																																												
トラック (クレーン装置付)	ベストラック 4 ～ 4.5 t 積・吊能 力 2.9 t	h	8	11	4	4	12																																																																																												
名 称	単 位	規 格	数 量																																																																																																
普通作業員	人		0.8																																																																																																
工事用水中モータポンプ	日	普通型(潜水ポンプ) 口径 50 mm 全揚程 20m	1.0																																																																																																
アルカリ水中和装置	h	炭酸ガス式 処理量 6m <sup>3</sup> /h	6.8																																																																																																
水槽	供用日	5 m <sup>3</sup>	1.5																																																																																																
諸雑費率	%		22																																																																																																
名 称	単 位	規 格	数 量																																																																																																
普通作業員	人		0.8																																																																																																
工事用水中モータポンプ	日	普通型(潜水ポンプ) 口径 50 mm 全揚程 20m	1.0																																																																																																
アルカリ水中和装置	h	炭酸ガス式 処理量 6m <sup>3</sup> /h	6.8																																																																																																
水槽	供用日	5 m <sup>3</sup>	1.5																																																																																																
諸雑費率	%		22.20																																																																																																
積算上の注意事項				(控え頁) 3/4																																																																																															

改正理由	一部改正	改正 現行																																																																																																																																		
現 行		改 正																																																																																																																																		
<p>(5) 注入設備据付・解体1現場当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">施工歩掛コード</th> <th>WB223750</th> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表 5.17</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>トラック(クレーン装置付)運 転</td> <td>ベーストラック 4～4.5t積・ 吊能力2.9t</td> <td>h</td> <td></td> <td>表 5.17 機械損料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 計</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(6) 注入設備移設1回当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">施工歩掛コード</th> <th>WB223760</th> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表 5.18</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>トラック(クレーン装置付)運 転</td> <td>ベーストラック 4～4.5t積・ 吊能力2.9t</td> <td>h</td> <td></td> <td>表 5.18 機械損料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 計</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(7) 排水汚泥土処理1日当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">施工歩掛コード</th> <th>WB223770</th> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.8</td> <td>表 5.19</td> </tr> <tr> <td>工事中水モータポンプ</td> <td>普通型(潜水ポンプ) 口径50mm 全揚程20m</td> <td>日</td> <td>1.0</td> <td>表 5.19 機械損料</td> </tr> <tr> <td>アルカリ水中和装置</td> <td>炭酸ガス式 処理量6m<sup>3</sup>/h</td> <td>h</td> <td>6.8</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>水槽(一般工事中)</td> <td>鋼板製簡易水槽5m<sup>2</sup></td> <td>供用日</td> <td>1.5</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 計</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表 5.19</td> </tr> </tbody> </table> <p>(8) 機械運転単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ボーリングマシン</td> <td>ロータリーパーカッション式 クローラ型 81kw級</td> <td>機-12</td> <td>燃料消費量 → 81ℓ/日</td> </tr> <tr> <td>トラック(クレーン装置付)運 転</td> <td>ベーストラック4～4.5t 積・吊能力2.9t</td> <td>機-1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				施工歩掛コード		WB223750	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人		表 5.17	特殊作業員		人		〃	普通作業員		人		〃	トラック(クレーン装置付)運 転	ベーストラック 4～4.5t積・ 吊能力2.9t	h		表 5.17 機械損料	諸 雑 費 計		式	1				施工歩掛コード		WB223760	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人		表 5.18	特殊作業員		人		〃	普通作業員		人		〃	トラック(クレーン装置付)運 転	ベーストラック 4～4.5t積・ 吊能力2.9t	h		表 5.18 機械損料	諸 雑 費 計		式	1				施工歩掛コード		WB223770	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	普通作業員		人	0.8	表 5.19	工事中水モータポンプ	普通型(潜水ポンプ) 口径50mm 全揚程20m	日	1.0	表 5.19 機械損料	アルカリ水中和装置	炭酸ガス式 処理量6m <sup>3</sup> /h	h	6.8	〃	水槽(一般工事中)	鋼板製簡易水槽5m <sup>2</sup>	供用日	1.5	〃	諸 雑 費 計		式	1	表 5.19	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	ボーリングマシン	ロータリーパーカッション式 クローラ型 81kw級	機-12	燃料消費量 → 81ℓ/日	トラック(クレーン装置付)運 転	ベーストラック4～4.5t 積・吊能力2.9t	機-1		<p>現行どおり</p> <p>(8) 機械運転単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ボーリングマシン</td> <td>ロータリーパーカッション式 クローラ型 81kw級</td> <td>機-12</td> <td>燃料消費量 → <del>81</del>78ℓ/日</td> </tr> <tr> <td>トラック(クレーン装置付)運 転</td> <td>ベーストラック4～4.5t 積・吊能力2.9t</td> <td>機-1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	ボーリングマシン	ロータリーパーカッション式 クローラ型 81kw級	機-12	燃料消費量 → <del>81</del> 78ℓ/日	トラック(クレーン装置付)運 転	ベーストラック4～4.5t 積・吊能力2.9t	機-1		<p>記載の変更</p>
		施工歩掛コード		WB223750																																																																																																																																
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																
土木一般世話役		人		表 5.17																																																																																																																																
特殊作業員		人		〃																																																																																																																																
普通作業員		人		〃																																																																																																																																
トラック(クレーン装置付)運 転	ベーストラック 4～4.5t積・ 吊能力2.9t	h		表 5.17 機械損料																																																																																																																																
諸 雑 費 計		式	1																																																																																																																																	
		施工歩掛コード		WB223760																																																																																																																																
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																
土木一般世話役		人		表 5.18																																																																																																																																
特殊作業員		人		〃																																																																																																																																
普通作業員		人		〃																																																																																																																																
トラック(クレーン装置付)運 転	ベーストラック 4～4.5t積・ 吊能力2.9t	h		表 5.18 機械損料																																																																																																																																
諸 雑 費 計		式	1																																																																																																																																	
		施工歩掛コード		WB223770																																																																																																																																
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																
普通作業員		人	0.8	表 5.19																																																																																																																																
工事中水モータポンプ	普通型(潜水ポンプ) 口径50mm 全揚程20m	日	1.0	表 5.19 機械損料																																																																																																																																
アルカリ水中和装置	炭酸ガス式 処理量6m <sup>3</sup> /h	h	6.8	〃																																																																																																																																
水槽(一般工事中)	鋼板製簡易水槽5m <sup>2</sup>	供用日	1.5	〃																																																																																																																																
諸 雑 費 計		式	1	表 5.19																																																																																																																																
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																																																																																	
ボーリングマシン	ロータリーパーカッション式 クローラ型 81kw級	機-12	燃料消費量 → 81ℓ/日																																																																																																																																	
トラック(クレーン装置付)運 転	ベーストラック4～4.5t 積・吊能力2.9t	機-1																																																																																																																																		
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																																																																																	
ボーリングマシン	ロータリーパーカッション式 クローラ型 81kw級	機-12	燃料消費量 → <del>81</del> 78ℓ/日																																																																																																																																	
トラック(クレーン装置付)運 転	ベーストラック4～4.5t 積・吊能力2.9t	機-1																																																																																																																																		
積算上の注意事項	II-2-⑫-13		(控え頁) 4/4																																																																																																																																	

工 種	アンカー工(ロータリーパーカッション式)
-----	----------------------

改正理由	一部改正		改正	備考																																																																																							
	現	行	現行																																																																																								
<p>3-5 足場 (アンカー)</p> <p>(1) 条件区分 足場 (アンカー) における積算条件区分はない。 積算単位は、空 m<sup>3</sup> とする。 (注) 1. アンカー施工時の足場の設置・撤去作業の他、パイプ、クランプ、足場板、ベース等、 その他の施工に要する全ての機械・労務・材料費 (損料を含む) を含む。 2. 作業面の足場幅は、4.5m を標準とする。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <table border="1"> <caption>表3.12 足場(アンカー) 代表機材規格一覧</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 25t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>とび工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-6 アンカー (材料費)</p> <p>(1) 条件区分 アンカー (材料費) における積算条件区分はない。 積算単位は、式とする。</p>	項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 25t 吊	賃料	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	とび工		R 2	普通作業員		R 3	土木一般世話役		R 4	—		材料	Z 1	—		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		<p>現行どおり</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <table border="1"> <caption>表3.12 足場(アンカー) 代表機材規格一覧</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 25t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>とび工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td><del>普通作業員</del>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td><del>土木一般世話役</del>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>記載の変更</p>	項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 25t 吊	賃料	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	とび工		R 2	<del>普通作業員</del> 土木一般世話役		R 3	<del>土木一般世話役</del> 普通作業員		R 4	—		材料	Z 1	—		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		<p>現行</p>	
項目	代表機材規格		備考																																																																																								
機械	K 1	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 25t 吊	賃料																																																																																								
	K 2	—																																																																																									
	K 3	—																																																																																									
労務	R 1	とび工																																																																																									
	R 2	普通作業員																																																																																									
	R 3	土木一般世話役																																																																																									
	R 4	—																																																																																									
材料	Z 1	—																																																																																									
	Z 2	—																																																																																									
	Z 3	—																																																																																									
	Z 4	—																																																																																									
市場単価	S	—																																																																																									
項目	代表機材規格		備考																																																																																								
機械	K 1	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 25t 吊	賃料																																																																																								
	K 2	—																																																																																									
	K 3	—																																																																																									
労務	R 1	とび工																																																																																									
	R 2	<del>普通作業員</del> 土木一般世話役																																																																																									
	R 3	<del>土木一般世話役</del> 普通作業員																																																																																									
	R 4	—																																																																																									
材料	Z 1	—																																																																																									
	Z 2	—																																																																																									
	Z 3	—																																																																																									
	Z 4	—																																																																																									
市場単価	S	—																																																																																									
積算上の注意事項				<p>(控え頁)</p> <p>1/1</p>																																																																																							